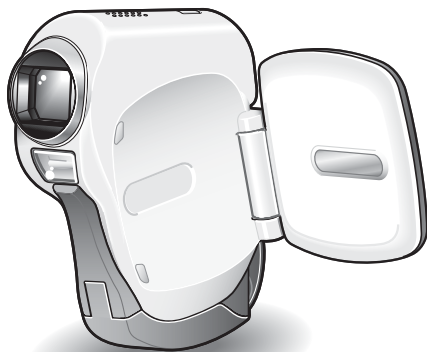
取扱説明書

デジタルムービーカメラ
品番 DMX-CA6

Xacti

準　備 ▶

基本操作 ▶

撮影設定 ▶

再生設定 ▶

オプション設定 ▶

他の機器との接続 ▶

CD-ROMを使う ▶

付　録 ▶

リチウムイオン電池は
リサイクルへ

この商品はリチウムイオン
電池を使用しています。
リチウムイオン電池のリサ
イクルにご協力ください。

このたびは、本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
別冊の**「安全上のご注意」**は必ずお読みください。また、後々のために「保証書」とともに大切に保管してください。

● 取扱説明書、本体、定格板には色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している品番の(　)内の記号が色記号です。

本書の読みかた

本書は、本製品の使いかたを以下のように分類して説明しています。

撮影をするまでに、しなければならないことや、ぜひ知っておいていただきたいことを説明しています。

撮影と再生の基本操作を説明しています。

撮影に関する、さまざまな設定のしかたを説明しています。

再生に関する、さまざまな設定のしかたを説明しています。

モニターの表示や操作音、さらにカメラの動作に関する設定のしかたを説明しています。

パソコンやプリンタ、テレビへの接続のしかたを説明しています。

付属のCD-ROM(SANYO Software Pack)の使いかたを説明しています。

カメラを使っていて困った状態になった時や仕様の詳細、アフターサービスについてお知りになりたい時に、お読みください。

この説明書では、次の記号でお知らせします。

もう少し詳しい説明や、操作上の注意事項

特に注意していただきたい事項

[P　] 参照ページ

i 操作中に疑問に感じたり故障かな?と思った時は、「よくある質問 [P176]」と「困った状態になった時 [P181]」をご参照ください。

撮る・見る そして保存する

電池とカードをセットする

1 電池を入れる

①開ける

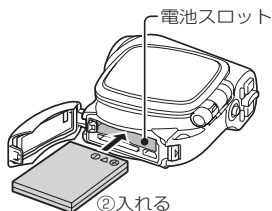
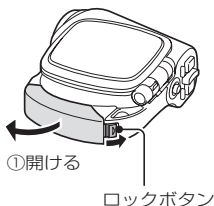
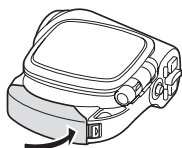
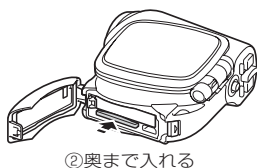
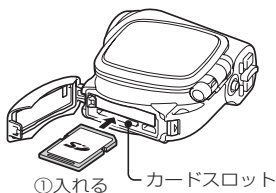
ロックボタン

電池スロット

②入れる

2 カードを入れる

①入れる

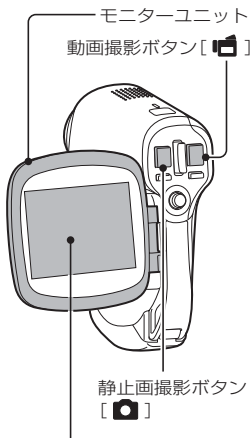
カードスロット

②奥まで入れる

撮影する

動画クリップ撮影

1 モニターユニットを開ける

- 電源が入ります。

2 動画撮影ボタン［ ］を押す

- 録画が始まります。
- もう一度動画撮影ボタンを押すと、録画を終了します。

静止画撮影

1 モニターユニットを開ける

- 電源が入ります。

2 静止画撮影ボタン［ ］を押す

- 撮影します。

再生する

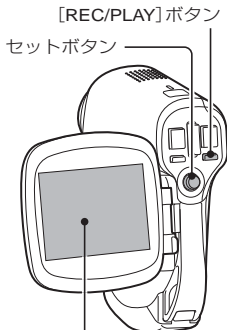
動画クリップ再生

1 [REC/PLAY] ボタンを押す

- 再生画面に切り替わります。
- セットボタンを左右に押して、再生する動画クリップを出してください。
- 動画クリップには、画面上下に動画クリップマークが出ます。

2 セットボタンを押す

- 動画クリップの再生を開始します。

<例：動画クリップ撮影後>

動画クリップマーク

静止画再生

1 [REC/PLAY] ボタンを押す

- 再生画面に切り替わります。
- セットボタンを左右に押すと、他の画像が見れます。

<撮影画面に戻るには>

- [REC/PLAY]ボタンを押してください。

使い終わったら・・

電源ボタン[⏻]を押して電源を切ってください。

撮る・見る そして保存する(つづき)

撮影した動画クリップをDVDに書き込む(Windows XPの場合)

付属の CD-ROM(SANYO Software Pack:サンヨーソフトウェアパック)を使うと、撮影した画像をパソコンに取り込んだり、DVD に書き込むことができます。なお、SANYO Software Pack の詳しい紹介は、156 ページに掲載しております。

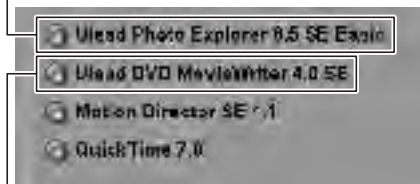
アプリケーションプログラムをインストールする

1 付属の CD-ROM(SANYO Software Pack)をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

- インストール画面が出ます。

2 インストールするアプリケーションプログラムをクリックする

画像をパソコンに取り込むアプリケーションプログラム(フォトエクスプローラ)をインストールします。

Ulead Photo Explorer 8.5 SE Basic
Ulead DVD MovieWriter 4.0 SE
Motion Director SE ^1
QuickTime 7.0

画像をDVDに書き込むアプリケーションプログラム(ムービーライター)をインストールします。

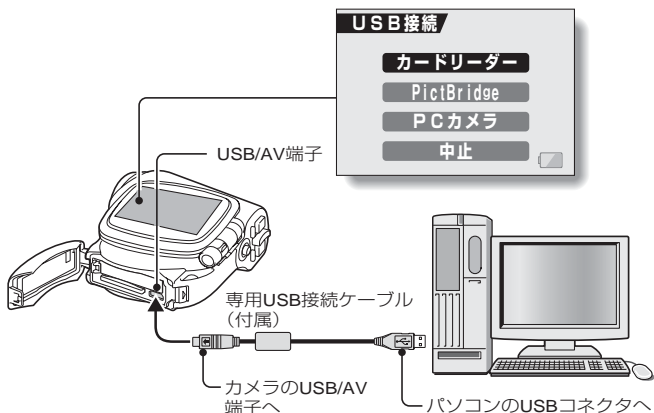
- クリックした後は、画面表示に従ってインストールしてください。
- インストールが終わると製品登録の画面が出ますが、クローズボックスをクリックして閉じてください。

3 インストール画面の [終了] をクリックし、パソコンの CD-ROM ドライブから CD-ROM を取り出す

コダック
＜ Kodak オンラインサービスについて＞

- インストール画面が閉じると、Kodakオンラインサービスを紹介するホームページに接続するダイアログが出ます。[あとでおすすめ情報を見る] オプションボタンをON にして、[OK]ボタンをクリックしてください。

カメラをパソコンに接続する

付属の専用 USB 接続ケーブルで、カメラをパソコンに接続してください [P139]。

動画クリップをパソコンにコピーする

フォトエクスプローラを起動してカメラ内のデータの場所(コピー元)を設定し、動画クリップをパソコンにコピーしてください [P162]。

動画クリップを DVD に書き込む

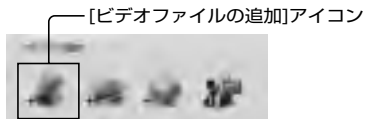
1 デスクトップの [Ulead DVD MovieWriter 4.0 Launcher for SANYO] アイコンをクリックし、MovieWriter（ムービーライター） を起動する

- MovieWriterの初期画面が出ます。
- 商品の登録画面が出た場合は、[後で登録する]を選んでください。

2 [ビデオ DVD の作成] をクリックし、続いて [DVD-Video DVD+VR の新規作成] をクリックする

- [メディアを追加/編集]ウィンドウが開きます。

3 [ビデオファイルを追加] アイコンをクリックする

[ビデオファイルの追加]アイコン

- [ビデオ ファイルを開く]ダイアログが開きます。
- ファイルがあるフォルダ(My Documents￥SANYO_PEX￥日付フォルダー)を開いてください。

4 DVD に書き込む動画クリップファイルを指定する

- DVDに書き込むファイルをクリックして選んでください。
- 複数のファイルを個別に指定する場合は、[Ctrl]ボタンを押しながらファイルをクリックしてください。先頭のファイルを選び、[Shift]ボタンを押しながら最後のファイルをクリックすると、先頭から最後までのファイルを選ぶことができます。

5 [開く] ボタンをクリックする

<動画クリップを1個選んだ場合>
- [ビデオ ファイルを開く]ダイアログが閉じます。

<複数の動画クリップを選んだ場合>
- [クリップの並べ替え]ダイアログが開きます。
- クリップファイル名をドラッグすると、動画クリップの再生順序を変えることができます。
- [OK]ボタンをクリックすると、[クリップの並べ替え]ダイアログが閉じます。

- 操作4で選んだファイルが、[メディアを追加/編集]ウィンドウに出ます。

6 [次へ>] ボタンをクリックする

- 作成するDVDのタイトル画面を編集する画面が出ます。

7 お好みに応じてタイトル画面を設定し、[次へ＞] ボタンをクリックする

● タイトル画面を確認する画面が出ます。

8 [次へ＞] ボタンをクリックする

● 画像データをDVDに書き込む[出力]ウィンドウが出ます。

9 パソコンに DVD のブランクディスクをセットし、[書き込み] アイコンをクリックする

● 書き込みを実行する確認画面が出ます。

撮る・見る そして保存する(つづき)

10 [OK] ボタンをクリックする

- 書き込みを開始します。
- 書き込みが終わったら、書き込みの完了を示すダイアログが出ます。

11 [OK] ボタンをクリックする

- DVDがドライブから出てきます。

＜プロジェクトの保存について＞

- 書き込みが終わったら、プロジェクト保存のダイアログが出ます。今回、設定した情報を次回以降にも利用する場合は保存してください。利用しない場合は、保存する必要はありません。

12 [OK] ボタンをクリックする

- MovieWriterの初期画面に戻ります。

ムービーライター
13 MovieWriter の終了ボタン [×] をクリックする

- DVDが完成しました。
- MovieWriterが終了します。

いかがでしたか？このカメラは撮影した画像をすぐに見ることができるばかりではなく、パソコンに取り込んだりオリジナルの DVD を作成することができる便利なソフトウェアを備えております。以降の説明をお読みになり、このカメラを使いこなして、デジタルムービーライフをお楽しみください。

重要！ 生活防水機能について

このカメラは、ぬれた手で触ったりシャワーの水がかかる程度は大丈夫ですが、水の中に沈めることはできません。下記の注意をよくお読みの上お使いください。

- このカメラは、「JIS保護等級4」相当の生活防水機能を備えておりますが、水中では使用できません。
- 生活防水機能は真水にのみ対応しており、塩水や洗剤、薬品などの飛まつには対応しておりません。飛まつがかかった時は、すみやかにふき取ってください。
- 付属品は生活防水に対応しておりませんので、ご注意ください。
- 以下の注意事項を守らずに故障や事故が起こった場合は、保証の対象外になりますのでご注意ください。

⚠ 注意

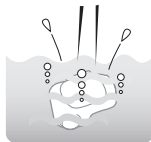
■水で洗わない

- カメラに水をかけて洗ったり、水の中に浸けて洗わないでください。
- カメラが汚れた場合は、真水を含ませた布で拭き取ってください。

禁　止

■水の中に落とさない

- 水辺で使用する場合は、水の中に落とさないように注意してください。
- 万一、水の中に落としたり、カメラ内部に水が入った場合はすみやかに使用を中止し、お買上げ販売店にご相談ください。

禁　止

■水中撮影はしない

- このカメラの防水機能は真水の飛まつに対応していますが、水中での使用や塩水の飛まつには対応していません。

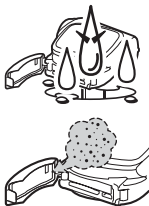
禁　止

⚠ 注意

■海水などの塩水をかけない

- 塩水が付着すると、故障の原因になります。
- 海水などの塩水がかからないように、注意してください。

■スロットカバーの内部をぬらさない

- 感電や火災の原因になります。
- カードや電池の脱着など、スロットカバー内部に触れる操作は、乾いた手で行なってください。
- スロットカバーを閉じる時は、スロットカバーのシール部分に砂や髪の毛やほこりなど異物を挟み込まないように注意し、確実に閉じてください。
- スロットカバーを完全に閉じていないと、浸水の原因になります。スロットカバーは確実に閉じてください。

「JIS保護等級4」とは

JIS-C0920 4級のことです。あらゆる方向からの水の飛まつに対し、有害な影響を受けないことを意味します。

もくじ

■撮影設定

もくじ(つづき)

■オプション設定

■他の機器との接続

■CD-ROMを使う

■付録

使いかた早見もくじ

このカメラには、便利な機能があります。「思いどおりの写真を撮りたい」「いろいろな方法で画像を見たい」という時には、このもくじを参考にして目的の操作を探してください。

撮影/録音

基本的な使いかた	便利な機能	さらに使うには
動きの速い被写体を撮影する ►シーンセレクト機能を設定する(スポーツモード)[P65]		
暗い場所で撮影する ►露出を補正する[P55]　►フラッシュを設定する[P68] ►シーンセレクト機能を設定する(夜景ポートレートモード・花火モード・ランプモード)[P65]	**カメラの感度を上げる** ►ＩＳＯ感度を設定する[P78]	
人物を撮影する ►シーンセレクト機能を設定する(ポートレートモード・夜景ポートレートモード)[P65] ►フィルターを設定する(コスメフィルター)[P67]		
風景を撮影する ►シーンセレクト機能を設定する(風景モード)[P65]		
自分も撮影する ►セルフタイマーを設定する[P70]		
	明るく/暗く撮影する ►露出を補正する[P55]	**一部分の明るさだけを測って撮影する** ►測光方式を設定する[P77] **カメラの感度を調整する** ►ＩＳＯ感度を設定する[P78]
	色を変えて撮影する ►フィルターを設定する(モノクロフィルター・セピアフィルター)[P67]	**白を自然に撮影する** ►ホワイトバランスを設定する[P79]

使いかた早見もくじ(つづき)

再生

基本的な使いかた	便利な機能	さらに使うには
とりあえず再生をする ►動画クリップ再生をする[P39]	**スピーカーの音量を調整する** ►再生音量を設定する[P89]	**滑らかに再生する** ►スムーズ再生する[P112]
►静止画再生をする[P44]	**画像/音声データを探す** ►9画面マルチ再生[P45] ►アートモード再生[P46] **画像の一部を大きく表示する** ►拡大(ズーム)表示をする[P48]	**表示の角度を変える** ►画像を回転表示する[P100]
►音声データを再生する[P52]	**スピーカーの音量を調整する** ►再生音量を設定する[P89]	

連続再生をする
►再生方式を設定する[P85]
►スライドショーを設定する[P87]

モニターの表示を明るく/暗くする
►モニターの明るさを設定する[P127]

テレビで再生する ►テレビに接続する[P146]	**TV方式を設定する** ►TV方式を設定する[P128]

データの管理/加工

基本的な使いかた	便利な機能	さらに使うには

画像/音声データを探す
►9画面マルチ再生[P45]
►アートモード再生[P46]

いらないデータを消す
►データを消去する[P92]

大切な画像を保護する
►プロテクト(消去禁止)を設定する[P90]

カードをフォーマットする
►カードをフォーマット(初期化)する[P134]

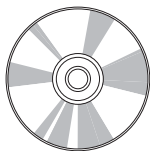
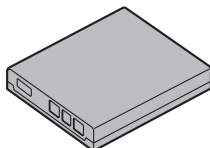
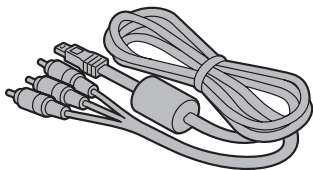
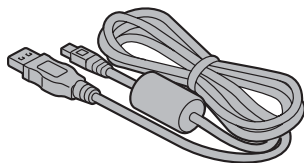
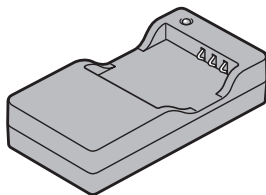
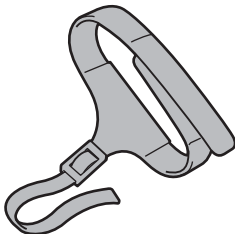
赤く写った目を修正する
►赤目現象を補正する[P102]

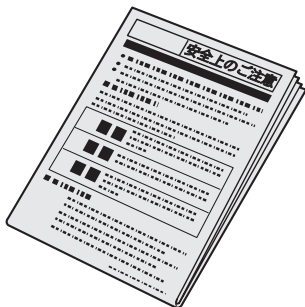
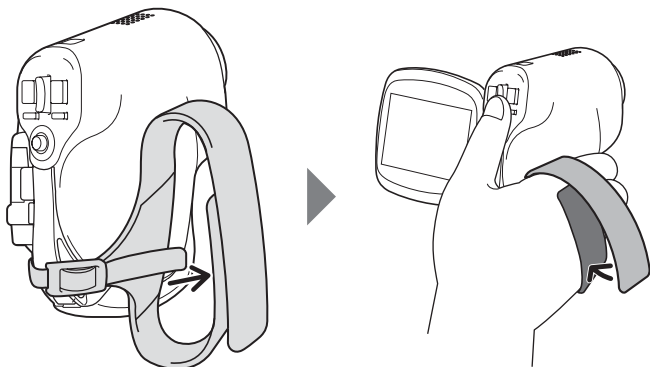
動画クリップの一部を削除したり、つなぎ合わせたりする
►動画クリップを編集する[P105]

印刷枚数やインデックス印刷、日付印刷の予約をする
►プリントを予約する[P94]

撮影/録音した時の情報を見る
►画像情報を表示する(インフォ画面)[P113]

付属品を確認する

●CD-ROM(SANYO Software Pack[P156]):1枚

●リチウムイオン電池[P21・23]：1個

●専用AV接続ケーブル[P146]:1本

●専用USB接続ケーブル[P141・147・171]:1本

●充電器[P21]

●グリップベルト[P13]

●かんたん操作ガイド

●安全上のご注意(安全注意説明書)
※必ずお読みください。

グリップベルトの取り付けかた

別売品

- **リチウムイオン電池(品番:DB-L20)**
  付属品と同じ、リチウムイオン電池です。
- **ACアダプター(品番：VAR-G8)**
  本機に接続できる専用のACアダプターです。
- **DCアダプター(品番：VAR-A2)**
  カメラの電池スロットに取り付けて、ACアダプターを接続します。

本機で使えるカードについて

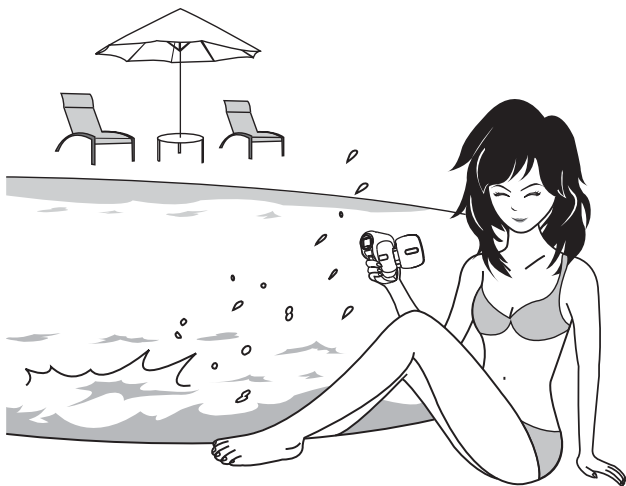
このカメラに装着し、使用できるカードは以下のとおりです。

- **SDメモリーカード**

このカメラの特徴

このカメラは、動画クリップはもちろん、静止画や音声も記録できるデジタルムービーカメラです。
動画クリップ撮影をしながら静止画撮影をしたり、音声のみを記録することもできます。

生活防水対応

濡れた手で操作をしても大丈夫。多少の水がかかっても故障しません。プールサイドなど、水辺での撮影も安心です。

動画クリップを撮りながら静止画を撮る[P49]

動画クリップ撮影中、静止画で残しておきたいシーンがあったら、動画クリップ撮影を続けたまま静止画を撮影することができます。

このカメラの特徴（つづき）

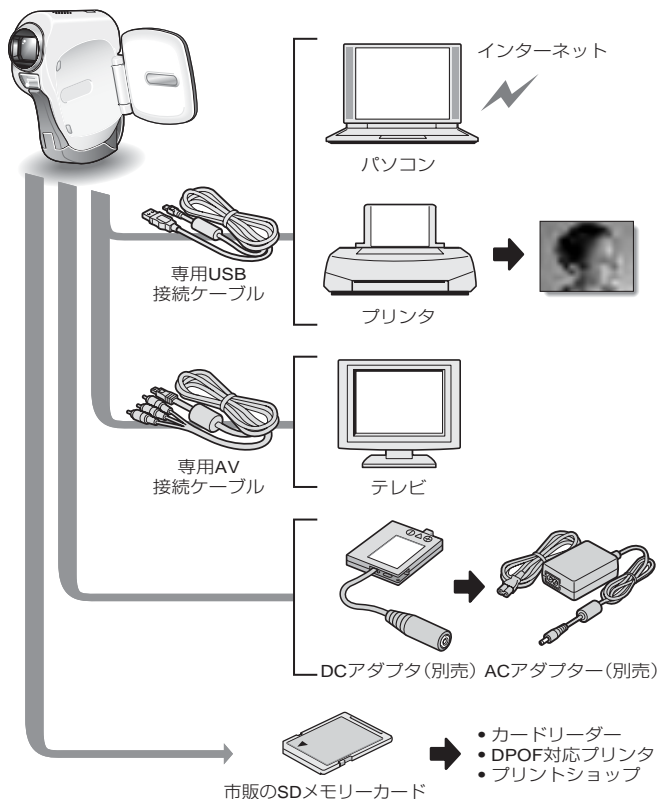
豊富な付属品で、撮った画像を有効利用[P18]

付属のケーブル類を使うと、撮った画像をテレビやパソコンで見ることができます。また、直接プリンタに接続して静止画を印刷することもできます。さらに、付属のCD-ROM（SANYO Software Pack）に格納しているソフトを使うと、オリジナルのDVDやCDを作成することができます。

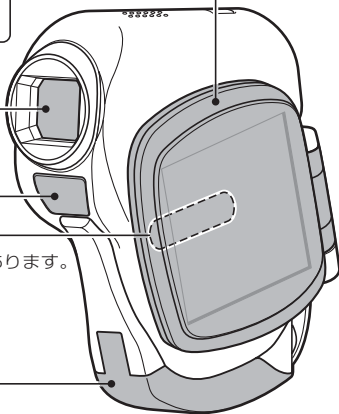
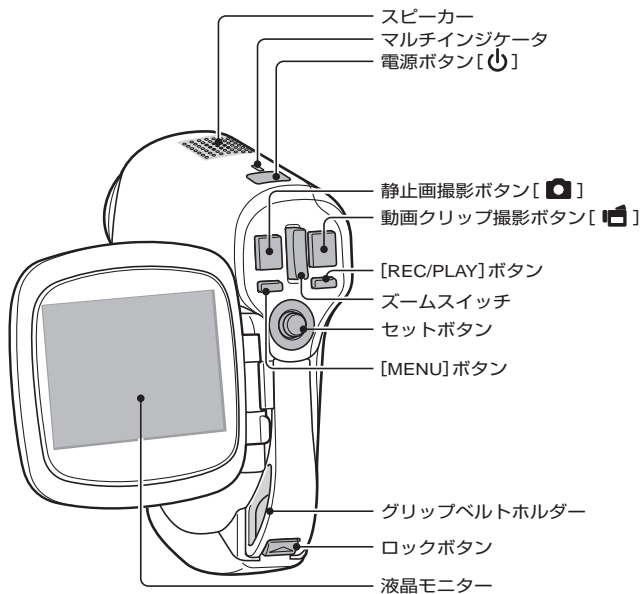
システムマップ

このカメラは、さまざまな機器に接続することで、さらに楽しくお使いいただくことができます。

各部の名前

前面

モニターユニット
モニターユニットの開けかた
<注意>
・モニターユニットは、縦方向には回転しません。
レンズ
フラッシュ発光部
ステレオマイク
・モニターユニットの裏にあります。
スロットカバー

後面

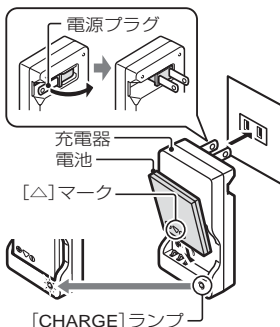
スピーカー
マルチインジケータ
電源ボタン[ ]
静止画撮影ボタン[ ]
動画クリップ撮影ボタン[ ]
[REC/PLAY]ボタン
ズームスイッチ
セットボタン
[MENU]ボタン
グリップベルトホルダー
ロックボタン
液晶モニター

電池を充電する

付属の電池を充電します。

1 電池を充電器の電池取り付け部に装着する

- 電池の[△]マークの方向に取り付けます。

2 充電器の電源プラグを起こし、電源コンセント(AC100V)に差し込む

- 充電が始まります。
- 充電中、[CHARGE]ランプは赤色で点灯します。

3 [CHARGE] ランプが消灯したら充電器から電池をはずす

- 充電器は、使い終わったら電源コンセントから抜いてください。

- カメラがぬれている場合は、カメラに付いた水分を乾いた布でよく拭き取ってから電池を取りはずし、充電してください。
- 充電時間は約90分です。

電池の充電について

付属または別売の電池は、ご使用の前に必ず充電してください。
電池の充電には、付属の充電器を使います。
電池を初めて使う場合や、電池残量が少なくなったときは、充電してください(「電池残量をチェックする」[P138])。

- 充電中、充電器や電池が温かくなることがありますが、異常ではありません。

充電中、テレビやラジオに雑音が入るときは?
- テレビやラジオから離れた場所で充電してください。

充電時の周囲温度について
- 充電時の周囲温度は、約0℃～40℃に保たれていることをおすすめします。約0℃以下では、電池の特性により、十分に充電ができない場合があります。

次のような電池も充電してから使用してください
- 長期間使用していない電池
- 新しい電池の使い始め

リサイクルについて

リチウムイオン電池はリサイクルへ

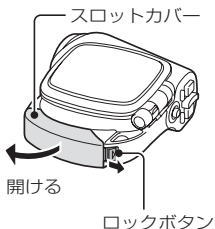
- このカメラには、リチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。リチウムイオン電池の交換および、ご使用済み商品の廃棄に際しては、リサイクルにご協力ください。
- ご使用済みのリチウムイオン電池は、短絡防止のため、端子に絶縁テープを張って、リサイクルにご協力ください。

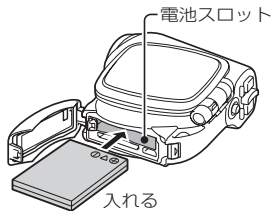
電池とカードを装着する

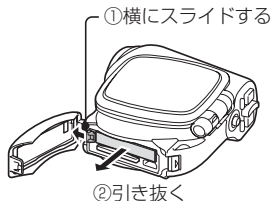
カードは、このカメラで初期化(フォーマット)[P134] してから使用してください。
電池やカードは向きに注意して装着してください。

電池を装着する

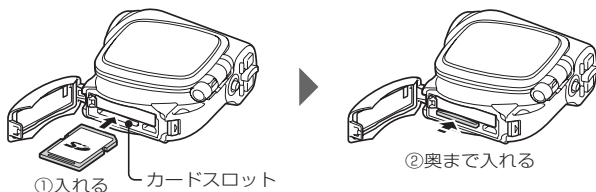
1 スロットカバーを開ける

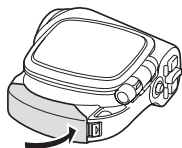
- ロックボタンを横にスライドさせて、スロットカバーを開けてください。

2 電池を入れる

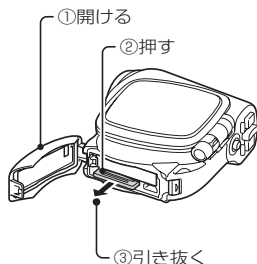
- 電池の向きに注意し、ロックレバーが電池を固定するまでしっかりと入れてください。

<電池を取りはずす時は･･･>

- 電池を固定しているロックレバーを横にスライドさせて、引き抜いてください。

カードを装着する

3 カードを入れる

- カチッと音がするまで、しっかりと入れてください。

4 スロットカバーを閉じる

- ロックボタンがスロットカバーを固定するまで、しっかりと閉じてください。

<カードを取りはずす時は…>

- カードを取りはずす時は、カードを押してください。カードを押すと、カードが少し出ますので、そのまま引き抜いてください。

電池とカードを装着する(つづき)

注意!

カードは無理に抜かないでください。

- マルチインジケータが赤色で点滅している時は、絶対にカードを取りはずさないでください。カード内のデータを破損するおそれがあります。

スロットカバーは確実に閉じてください

- スロットカバーを閉じていなかったり、閉じかたが不十分な場合、カメラの防水機能が働きません。スロットカバーを閉じる時は、髪の毛やほこりなどを挟み込まないよう、必ず確実に閉じてください。

ヒント

内蔵バックアップ用電池について

- このカメラは、日付･時刻や撮影の設定など、カメラの設定を保持しておくための電池を内蔵しています。この電池を充電するため、電池は約2日間装着した状態にしてください。内蔵バックアップ用電池は、満充電状態で約7日間、カメラの設定を保持します。

長期間使用しないときは電池を取りはずす

- 電池は、電源が切れている状態でもわずかずつ消耗しますので、カメラを長期間使用しないときは電池を取りはずしておくことをおすすめします。ただし電池を取りはずすと、日付・時刻や他の設定をしている場合は設定をクリアすることがありますので、ご使用の前にカメラの設定を確認してください。

専用USB接続ケーブルや専用AV接続ケーブルを接続している時は･･･

- カメラに専用USB接続ケーブルまたは専用AV接続ケーブルを接続していると、電池の交換が困難な構造になっております。この場合、電池を交換はカメラに専用USB接続ケーブルまたは専用AV接続ケーブルをはずしてから行なってください。

電源を入れる／切る

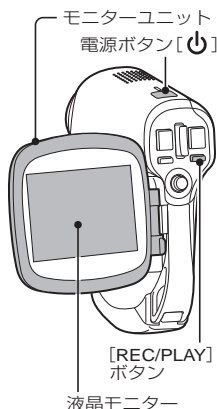
電源の入れかた

撮影する時(撮影モード)

1 **モニターユニットを開けるか、電源ボタン[⏻]を押す**

再生する時(再生モード)

1 **[REC/PLAY] ボタンを約 1 秒間押す**

- モニターユニットを開けるか電源ボタンを押した後、[REC/PLAY]ボタンを押しても、再生モードで電源が入ります。

パワーセーブ(スリープ)状態から電源を入れる

電源の切り忘れなどによる電池の消耗を防ぐため、電源が入った状態で操作を行わないまま放置(撮影時：約 1 分間、再生時：約 5 分間(工場出荷時の設定))すると、自動的に電源が切れる「パワーセーブ(スリープ)機能」が備わっています。

- パワーセーブ状態になった場合は、以下の操作をすると電源が入ります。
  - **電源ボタンを押す**
  - **静止画/動画撮影ボタンを押す**
  - **モニターユニットを開けるなど**
  - **セットボタンを押す**
- パワーセーブ状態になって約1時間以上経過するか、モニターユニットを閉じると電源が切れます。
- 録画、録音中はパワーセーブモードになりません。
- パワーセーブ状態になるまでの時間は、変更することができます[P129]。
- 専用USB接続ケーブルでカメラとパソコンまたはプリンタを接続している時は、パワーセーブ状態にならず、約12時間後に電源が切れます。

電源を入れる／切る（つづき）

電源の切りかた

1 電源ボタン[⏻]を約 1 秒間押す

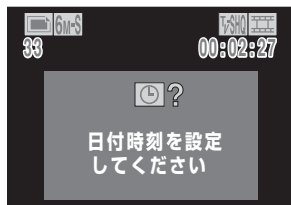
- 電源が切れます。
- 撮影モードまたはパワーセーブ状態から電源を切る場合は、液晶モニターを閉じるか、電源ボタンを約1秒以上押してください。

ヒント

すぐにパワーセーブ状態にするには
- 電源ボタンを短く押すと、パワーセーブ状態になります。

日付・時刻を設定している場合[P30]
- カメラの電源を入れた時に現在の時刻をモニターに表示します。

注意!

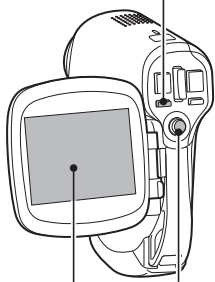
⏲?アイコンが出る？
- このカメラは、撮影時に撮影年月日を撮影画像に記録する機能を持っています。日付・時刻の設定[P30]を行っていないと、撮影画像に撮影年月日を記録できないため電源を入れた直後に「日付時刻を設定してください」というメッセージが、撮影画面には⏲?アイコンが出ます。撮影画像に撮影年月日を記録する場合は、撮影の前に日付時刻の設定を行ってください。

ボタン操作をマスターする

設定の変更や画像の選択は、モニターの表示を見ながら、セットボタンを操作して行います。頻繁に行う操作なので、マスターしておきましょう。

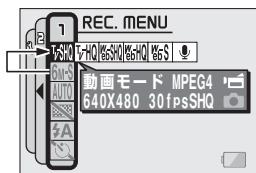
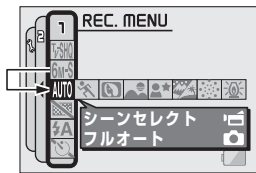
1 電源を入れる [P26]

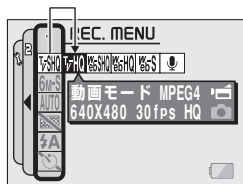
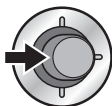
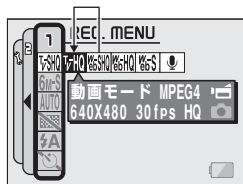
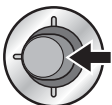
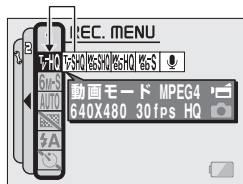
2 [MENU] ボタンを押す

● メニュー画面が出ます。

[MENU]ボタン

セットボタン

<上下のアイコンを選ぶ>

上のアイコンを選ぶ：
セットボタンを上側に押す

下のアイコンを選ぶ：
セットボタンを下側に押す

<左右のアイコンを選ぶ>

右のアイコンを選ぶ：
セットボタンを右側に押す

左のアイコンを選ぶ：
セットボタンを左側に押す

<選んだアイコンを確定する>
セットボタンを押します。選んでいたアイコンが、一番左側に移動します。

日付・時刻を設定する

このカメラは撮影/録音時の日付・時刻を記録し、再生時に表示する時計機能を内蔵しています。撮影前には、日付・時刻が正しく設定できているか、確認してください。

[例]：2006年12月24日午後7時30分に合わせる場合

1 電源を入れ [P26]、[MENU] ボタンを押す

- REC.またはPLAY MENUが出ます。

2 セットボタンを左側に2回押して OPTION MENU を出す

- OPTION　MENUは、[MENU] ボタンを押すと消えます。

<OPTION MENU>

3 日付時刻アイコン[⏲]を選び、セットボタンを押す

- 日付時刻画面が出ます。
- この状態で、現在の設定内容が確認できます。
- 再生時の撮影日表示、日付表示順序・日付・時刻合わせなどを設定するときは、以降の操作をしてください。
- OPTION MENUに戻るときは、[MENU]ボタンを押します。

日付・時刻を設定する（つづき）

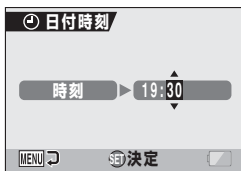
4 日付を設定する

❶[日付]を選ぶ
❷セットボタンを押す
・日付設定画面が出ます。
❸日付を「2006年12月24日」に合わせる
・「年」設定→「月」設定→「日」設定の順に合わせます。
・セットボタンを左右に押す：「年」、「月」、「日」が選べます。
　セットボタンを上下に押す：数値が増減します。
❹セットボタンを押す

日付時刻
日付 ▶ 2006/12/24
MENU　SET 決定

5 時計を設定する

❶[時刻]を選ぶ
❷セットボタンを押す
・時刻設定画面が出ます。
❸時計を「19時30分」に合わせる
・「時」設定→「分」設定の順に合わせます。
・「時」は24時間表示です。
❹セットボタンを押す

日付時刻
時刻 ▶ 19:30
MENU　SET 決定

6 再生時の日付表示順序を設定する

❶[表示]を選ぶ
❷セットボタンを押す
・日付表示順序を設定する画面が出ます。
❸セットボタンを上または下側に押す

● 上側に押すと、日付表示順序が以下のように変わります。
→年/月/日→月/日/年→日/月/年 ┐

下側に押すと、逆に切り替わります。

❹セットボタンを押す

7 [MENU] ボタンを押す

- 日付·時刻の設定が終わり、OPTION MENUに戻ります。
- 撮影または再生画面に戻るには、[MENU]ボタンを押してください。

日付・時刻設定のバックアップについて

- このカメラは電池を交換するときに内部時計をバックアップしますが、電池の使用時間によっては、時刻·日付の設定をクリアする場合があります。（バックアップ時間は最長で約7日間）電池交換後や撮影前は念のため、時計表示を確認されることをおすすめします(操作1〜3)。

日付·時刻を修正するには

- 操作1〜3の後、修正したい行を選びます。修正したい表示を選び、表示を修正してください。

撮影年月日表示を設定する

再生時、撮影年月日を表示するかしないかを設定します。

1 OPTION MENU を出す

- 30ページの操作1・2を行ってください。

2 画面表示アイコン [画面表示] を選び、セットボタンを押す

- 画面表示画面が出ます。

3 セットボタンを上または下側に押して、設定を選ぶ

[日付]：撮影年月日を表示します。動画クリップ再生中は、常時日付けを表示します。

[OFF]：撮影年月日を表示しません。

4 セットボタンを押す

- 撮影年月日表示を設定しました。

ヒント

- 画面表示を[日付]に設定すると、再生時に日付が出ます。
- 日付時刻[P30]を設定していない場合、画面表示を[日付]に設定しても、再生画面に日付は出ません。

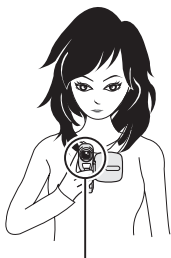
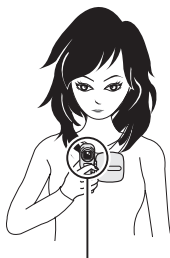
撮影の前に

上手に撮影するために

カメラをしっかり持って、脇をしめ、カメラがぐらぐらしないように構えてください。

良い例

悪い例

指がレンズまたはフラッシュ発光部にかかっている

<グリップベルトを使わない場合>

・右手の人差し指をレンズの上にかけ、小指から中指でカメラを包むように握ってください。

<グリップベルトを使う場合>

・右手の小指から人差し指をグリップベルトに通して、小指から中指でカメラを包むように握ってください。

レンズやフラッシュ発光部に、指やクリップベルトがかからないように注意してください。

※縦位置で静止画を撮る場合は、縦位置撮影を設定することができます[P64]。

オートフォーカス（自動ピント合わせ）機能について

このカメラのオートフォーカス機能は、ほとんどの被写体に対して正常に動作しますが、苦手な被写体もあります。ここでは、オートフォーカス機能でのピント合わせがしにくい被写体を、うまく撮影する方法を紹介します。オートフォーカス機能でピントが合わない場合は、フォーカスレンジを設定して撮影してください[P74]。

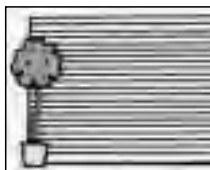
■オートフォーカスの苦手な被写体

次のような条件では、オートフォーカス機能でのピント合わせが正常に動作しないことがあります。

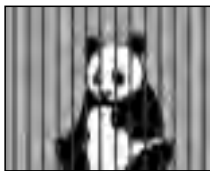
- **コントラストのない被写体や画面中央に極端に明るいものがある被写体、または、被写体や撮影場所が暗い**

  撮影のしかた：被写体と同じ距離にある、コントラストのはっきりしたものでフォーカスロックした後、構図を決めて撮影してください。

- **縦線のない被写体**

  撮影のしかた：カメラを縦位置に構えてフォーカスロックした後、構図を横位置に戻して撮影してください。

次のような被写体では、オートフォーカス機能が動作してもピントが合わないときがあります。

- **遠いものと近いものが共存する被写体**

  撮影のしかた：ピントを合わせたい被写体と同じ距離にあるものにフォーカスロックした後、構図を決めて撮影してください。（モニターでピントを確認してください。）

- **動きの速い被写体**

  撮影のしかた：撮影したい被写体と同じ距離の被写体であらかじめフォーカスロックした後、構図を決めて撮影してください。

- 静止画は、再生時に回転することができます[P100]。
- 静止画撮影ボタンを半分押したときに、モニターの画像が上下に動くことがあります。これは画像処理の関係によるもので、故障ではありません。なお、この時の画像の揺れは記録しませんので、再生時には現れません。
- 光学ズーム使用時やオートフォーカス動作中に、画面が揺れる場合がありますが、故障ではありません。

撮影の前に（つづき）

撮影のヒント

操作音を消したい

● 静止画撮影ボタンや[MENU]ボタン、セットボタンなどを押した時に鳴る音や、モードを切り替えた時に出る音声ガイダンスを消すことができます[P117]。

撮影した画像や録音した音声の保存先は？

● すべて、カメラに装着したカードに保存します。

逆光で撮影すると…

● 逆光で撮影した時は、レンズの特性上、光の筋（スミア）やゴースト模様（フレア現象）が現れることがあります。このような時は、逆光を避けて撮影してください。

撮影データの記録中は…

● マルチインジケータが赤色で点滅している間は画像の記録中で、次の撮影はできません。赤色点滅が消えれば撮影できます。ただし、赤色で点滅している間でも、カメラ内部メモリーの空き容量の状態により、撮影後約2秒で次の撮影ができる場合があります。

動画クリップ撮影・再生をする

動画クリップ撮影をする

1 電源を入れる [P26]

2 動画撮影ボタン[ ]を押す

- 録画が始まります。
- シャッターボタンを押し続ける必要はありません。
- 撮影可能時間が少なくなると、残りの撮影可能時間が出ます。

3 撮影を終了する

- もう一度動画撮影ボタンを押すと、録画を終了します。

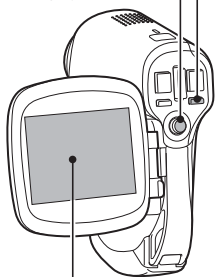
動画クリップ撮影・再生をする(つづき)

動画クリップ再生をする

4 [REC/PLAY] ボタンを押す

- 先ほど撮影した動画クリップが、モニターに出ます。

5 セットボタンを押す

- 動画クリップの再生を開始します。

<動画クリップを消去するには>

- 消去する動画クリップを出してセットボタンを上側に押すと、消去確認の画面が出ます。[消去]を選んでセットボタンを押すと消去できます。

<撮影画面に戻るには>

- [REC/PLAY]ボタンを押してください。

<table>
<tr><th colspan="2">こうするには</th><th>こうします</th></tr>
<tr><td colspan="2">順方向再生</td><td>セットボタンを押す</td></tr>
<tr><td colspan="2">再生中止</td><td>再生中にセットボタンを下に押す</td></tr>
<tr><td colspan="2">一時停止</td><td>再生中にセットボタンを押す、またはセットボタンを上に押す
倍速再生中はセットボタンを上に押す</td></tr>
<tr><td rowspan="2">コマ送り再生</td><td>順方向</td><td>一時停止中に、セットボタンを右に押す</td></tr>
<tr><td>逆方向</td><td>一時停止中に、セットボタンを左に押す</td></tr>
<tr><td rowspan="2">スロー再生</td><td>順方向</td><td>一時停止中に、セットボタンを右に押し続ける</td></tr>
<tr><td>逆方向</td><td>一時停止中に、セットボタンを左に押し続ける</td></tr>
<tr><td rowspan="2">倍速再生</td><td>順方向</td><td>順方向再生中にセットボタンを右に押す
※セットボタンを右に押すたびに、再生速度が以下のように変わります。
通常速度→2倍速→5倍速→10倍速→15倍速
セットボタンを左に押すと、再生速度が元に戻ります。</td></tr>
<tr><td>逆方向</td><td>順方向再生中にセットボタンを左に押す
※セットボタンを左に押すたびに、再生速度が以下のように変わります。
15倍速←10倍速←5倍速
セットボタンを右に押すと、再生速度が元に戻ります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">通常再生に戻す</td><td>セットボタンを押す</td></tr>
<tr><td colspan="2">音量調整</td><td>大きくする:再生中にズームスイッチを[T]側に押す
小さくする:再生中にズームスイッチを[W]側に押す</td></tr>
</table>

操作が終わったら

- 電源ボタンを押して電源を切ってください。

ヒント

モニターの明るさを変えることができます

- 撮影画面が出ている時に[MENU]ボタンを約1秒以上押すと、モニターの明るさを設定する画面が出ます。

フォーカスロックできます

- セットボタンにショートカット機能[P125]を割り当てると、オートフォーカスを固定することができます。オートフォーカスを固定すると、モニターにAFアイコンが出ます。
- フォーカスレンジの設定[P74]を変更すると、フォーカスロックを解除します。

動画クリップは、データ量が多くなります

- 撮影したデータをパソコンにダウンロードして再生した時、ご使用になるパソコンによっては、画像処理能力が追いつかない場合があります。このため、再生画像がスムーズに動かないなどの現象になります(カメラのモニターやテレビでは、正常に再生できます)。

動画クリップの再生位置を表示できます

- 動画クリップ再生中に[MENU]ボタンを約1秒以上押すと、現在の再生位置を示すバーが出ます。
- 再生位置を示すバーは、再度[MENU]ボタンを約1秒以上押すと消えます。

注意!

動画クリップ再生時に動作音がする?

- 撮影時に光学ズームの動作音やオートフォーカスの動作音を録音したもので、故障ではありません。

音声が出ない?

- コマ送り、倍速再生および逆方向再生時、音声は再生しません。

静止画撮影・再生をする

静止画撮影をする

1 電源を入れる[P26]

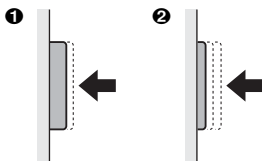
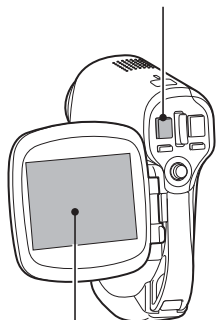
[P26]

2 静止画撮影ボタン[ ]を押す

❶静止画撮影ボタンを半分押す

- オートフォーカスが働き、ピントが合います(フォーカスロック)。

❷さらに静止画撮影ボタンを押す

- シャッターが切れます。
- このまま、静止画撮影ボタンを押したままにしていると、撮影した画像をモニターで確認することができます(ポストビュー[P119])。

ヒント

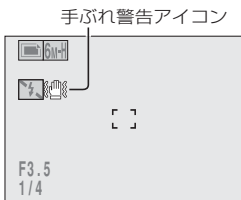
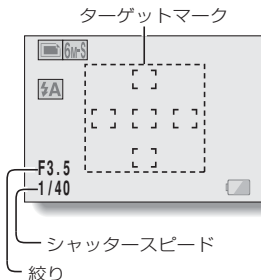
どこにピントが合ってるの？

- ピントが合った位置には、ターゲットマーク⛶が出ます。
- ピントを合わせる位置は、撮影範囲の5箇所のフォーカスポイントからカメラが自動的に判断します。ターゲットマークが、目的でない位置に出た場合は、カメラアングルを変更するなどして、ピントを合わせ直してください。
- 画面中央の広い範囲にピントが合った場合は､大きなターゲットマークが出ます。

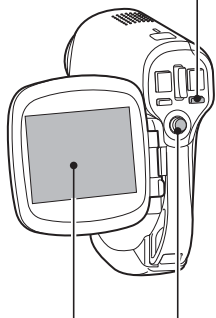
シャッタースピードと絞り値が出ます

- ピントが合ってターゲットマークが出ると、同時にシャッタースピードと絞り値が出ます。撮影の参考にしてください。

手ぶれ警告アイコン が出たら？

- 静止画撮影時、シャッタースピードが遅くなり手ぶれの可能性が高くなると、モニターに手ぶれ警告アイコンが出ます。このような時は、カメラを固定して撮影時にカメラがぶれないようにするか、フラッシュ動作モードを自動発光[P68]に設定してください。
- シーンセレクト機能の花火モード撮影時、常に手ぶれアイコンが出ますが、異常ではありません。

静止画再生をする

3 [REC/PLAY] ボタンを押す

- 先ほど撮影した静止画が、モニターに出ます。

4 再生する画像を選択する

1つ前の画像を表示する：セットボタンを左側に押す

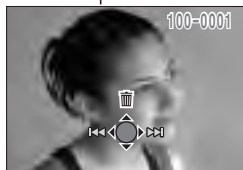
1つ後の画像を表示する：セットボタンを右側に押す

- 目的の画像を表示してください。

<静止画を消去するには>

- 消去する静止画を出してセットボタンを上側に押すと、消去確認の画面が出ます。[消去]を選んでセットボタンを押すと消去できます。

<撮影画面に戻るには>

- [REC/PLAY]ボタンを押してください。

静止画撮影・再生をする(つづき)

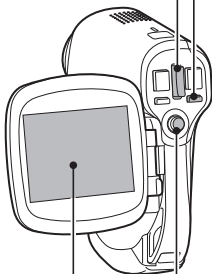
9画面マルチ再生

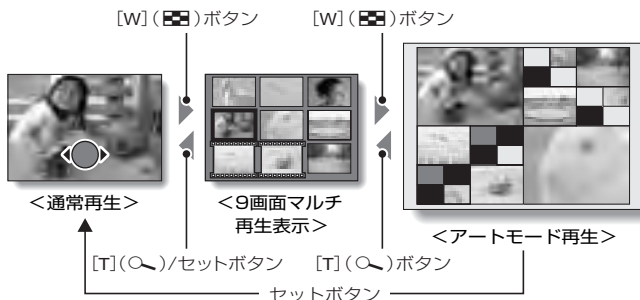
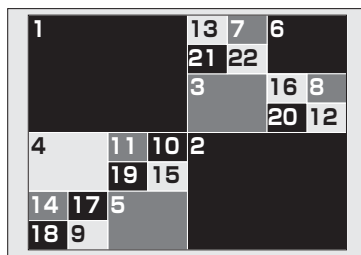
1 [REC/PLAY] ボタンを押して再生画面を出す

2 ズームスイッチを [W] ([▦])側に押す

- 9画面マルチ再生表示になります。

3 再生する

- セットボタンを上下左右に押し、再生する画像にオレンジ色の枠を合わせ、セットボタンを押すと、通常再生になります。
- ズームスイッチを[W]([▦])側に押すと、アートモード再生[P46]になります。

アートモード再生

通常表示で表示中または、9 画面マルチ表示で選んでいる画像以降の画像を 22 個単位で表示します。通常表示で表示中または 9 画面マルチ表示で選んでいる画像とその次の画像を大きく表示し、以降の画像は順次小さく表示します。

画像の表示順序は、以下のとおりです。

※画像の数が足りない部分は、色つきの長方形表示になります。

静止画撮影・再生をする(つづき)

1 一番大きく表示する画像を通常表示する [P39・44]、または９画面マルチ表示でオレンジ色の枠を合わせる [P45]

2 通常表示からの場合はズームスイッチの [W] (▦)を２回、９画面マルチ表示からの場合は１回押す

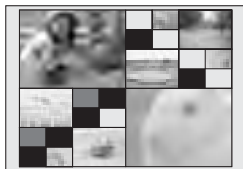
- ●アートモード再生になります。

<アートモード再生画面での操作>

セットボタンを押す：「1」の画像をモニターいっぱいに表示する

[MENU]ボタンを押す：「1」の画像をモニターいっぱいに表示し、PLAY MENUを出す

セットボタンを右または左側に押す：前後の画像をランダムに表示する

ズームスイッチを[T]([🔍])側に押す：9画面マルチ表示になる

拡大(ズーム)表示をする

1 画像を表示する

- 動画クリップの場合は、拡大表示する位置で、一時停止してください。

2 ズームスイッチを [T]([ ])側に押す

- 拡大表示画面になります。
- 画像の中央部分を中心に、拡大表示します。
- セットボタンを上下左右に押すと、表示部分が移動できます。

拡大する：ズームスイッチを[T]([ ])側に押すごとに倍率が上がります。

元に戻す：ズームスイッチを[W]([ ])側に押すごとに倍率が下がります。

- セットボタンを押すと、通常表示(100%)の画面に戻ります。

ヒント

拡大した画像が保存できます

- 拡大表示している時に静止画撮影ボタンを押すと、拡大表示状態の画像を静止画として保存できます。

動画クリップ撮影中に静止画撮影をする

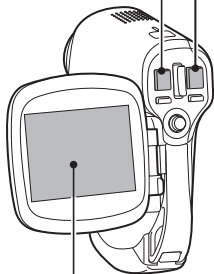
動画クリップ撮影中に、静止画撮影ができます。

1 電源を入れる [P26]

2 動画撮影ボタン[ ]を押す

3 静止画撮影のチャンスになったら、静止画撮影ボタン[ ]を押す

4 撮影を終了する

- 動画撮影ボタンを押すと、撮影が終了します。

- 動画クリップ撮影中の静止画撮影の場合、フラッシュは発光しません。
- 静止画撮影をすると撮影画像が一瞬止まり、静止画撮影が終わったら動画クリップ撮影に戻ります。
- 静止画モードを10Mまたは3Mに設定している場合は、自動的に6M-Sに変更して撮影します。
- 動画クリップの撮影可能時間が10秒以下になると、静止画撮影はできません。

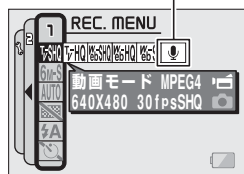
音声を録音・再生する

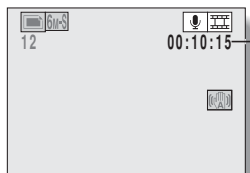
音声のみを録音・再生することができます。

録音する

1 電源を入れる [P26]

2 [MENU] ボタンを押す

- メニュー画面が出ます。

3 動画モードメニューから音声メモアイコン を選び、セットボタンを押す

- 録音可能状態になります。
- メニュー画面は[MENU]ボタンを押すと消えます。

音声を録音・再生する(つづき)

4 動画撮影ボタン[ ]を押す

- 録音を開始します。録音中は、モニターに 表示が出ます。動画撮影ボタンを押し続ける必要はありません。
- 最大連続録音時間は、約13時間です。

5 録音を終了する

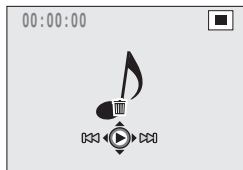
- もう一度動画撮影ボタンを押すと、録音が終了します。

録音中に静止画撮影ができます

- 録音中に静止画撮影ボタンを押すと、静止画を撮影することができます。ただし、静止画モードを10Mまたは3Mに設定している場合は、自動的に6M-Sに変更して撮影します。

音声データを再生する

6 [REC/PLAY] ボタンを押す

● 先ほど録音した音声の再生画面が出ます。

7 再生する

順方向再生を開始する：セットボタンを押す

一時停止する：再生中にセットボタンを押す、またはセットボタンを上側に押す
早送り/早戻し中はセットボタンを上側に押す

再生を中止する：再生中にセットボタンを下側に押す

早送り/早戻しする：
・早送り/早戻しには2倍速(順方向再生のみ)、5倍速、10倍速、15倍速再生があります。
・再生中にセットボタンを右または左側に押すと、早送り/早戻しをします。
・セットボタンを右または左側に押すと、倍速速度が変わります。

早送り(セットボタンを右側に押す)：
2倍速→5倍速→10倍速→15倍速
※速度を元に戻すには、セットボタンを左側に押します。

早戻し(セットボタンを左側に押す)：
15倍速←10倍速←5倍速
※速度を元に戻すには、セットボタンを右側に押します。

音量調整：
大きくする：再生中にズームスイッチを[T]側に押す
小さくする：再生中にズームスイッチを[W]側に押す

<音声データを消去するには>
・消去する音声データを出してセットボタンを上側に押すと、消去確認の画面が出ます。[消去]を選んでセットボタンを押すと消去できます。

<録音画面に戻るには>

- [REC/PLAY]ボタンを押してください。

注意!

音声が出ない?

- 早送りおよび早戻し時、音声は再生しません。

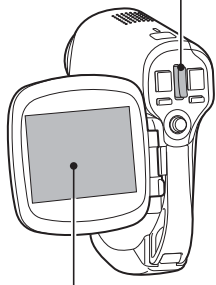
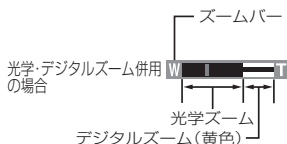
ズーム撮影をする

ズーム機能には光学ズームとデジタルズームがあります。
デジタルズームは、使うか使わないかを設定することができます [P124]。

1 被写体にレンズを向ける

2 ズームスイッチを[T]または[W]側に押して、構図を決める

[T]：望遠画面になります。
[W]：広角画面になります。

- ズーム動作に入ると、モニターにズームバーが出ます。
- 光学ズームが最大倍率になると、ズーム動作がいったん止まります。再度ズームスイッチを[T]側に押すと、デジタルズームに切り替わり、ズーム動作が再開します。

3 撮影する

動画クリップ撮影→[P38]
静止画撮影→[P42]

露出を補正する

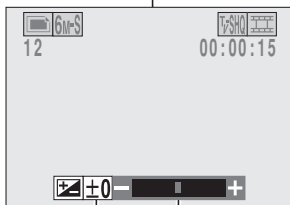
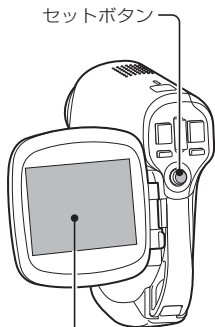
セットボタンにショートカット機能 [P125] で露出補正を割り当てると、明るさを変えて撮影することができます。

1 ショートカット機能を設定する [P125]

2 ショートカット機能を設定した方向へ、セットボタンを押す

- 露出補正バーが出ます。

3 セットボタンを右または左側に押し、露出を補正する

- 露出補正値は、露出補正バーの左側に出ます。
- 露出は－1.8EV～＋1.8EVの範囲で補正することができます。
- 露出補正バーは、[MENU]ボタンまたはセットボタンを押すと消えます。

以下の操作をすると、露出補正の設定を解除します

- ポインタを中央にする
- 電源を切る
- 再生モードにする

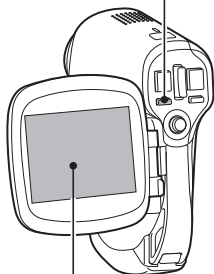
REC.（レック） MENU（メニュー） を出す

撮影の設定は、REC. MENU で行います 。
REC. MENU には**ページ 1** と**ページ 2** があります。カメラの設定を行う画面(OPTION MENU[P114]) も、REC. MENU から出します。

1 電源を入れる [P26]

- 撮影モードで電源を入れてください。

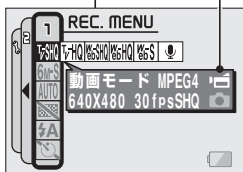
2 [MENU] ボタンを押す

- REC. MENUが出ます。
- REC. MENUは、[MENU]ボタンを押すと消えます。

ヘルプ表示について

REC. MENU のアイコンを選ぶと、選んだアイコンの機能と使用可能な撮影モード(ヘルプ表示)が出ます。

<動画クリップ撮影モードで使える場合>

<静止画撮影モードで使える場合>

<両方の撮影モードで使える場合>

ページの切り替えかた

REC. MENU の**ページ 1** と**ページ 2** を切り替えます。

1 REC. MENU を出す [P57]

2 セットボタンを左側に押す

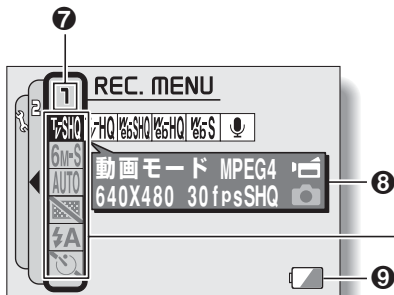
- REC.　MENUのページが切り替わります。
- セットボタンを左側に押すたびに、

→ページ2→OPTION MENU→ページ1

の順に、画面表示が変わります。

REC. MENUを出す（つづき）

REC. MENUの紹介

ページ 1

❶ ❷ ❸ ❹ ❺ ❻

❶動画モードメニュー[P63]
- TvSHQ：640×480ピクセル、30フレーム/秒、高ビットレートで撮影します。
- TvHQ：640×480ピクセル、30フレーム/秒、標準ビットレートで撮影します。
- WebSHQ：320×240ピクセル、30フレーム/秒で撮影します。
- WebHQ：320×240ピクセル、15フレーム/秒で撮影します。
- WebS：176×144ピクセル、15フレーム/秒で撮影します。
- 🎤：音声を録音します。

❷静止画モードメニュー[P64]
- 6M-S：2,816×2,112ピクセル（600万画素）、標準圧縮率で撮影します。
- 10M：3,680×2,760ピクセル（1,000万画素）で撮影します。
- 6M-H：2,816×2,112ピクセル（600万画素）、低圧縮率で撮影します。
- 3M▯：1,536×2,048ピクセル（300万画素、縦位置）で撮影します。
- 2M：1,600×1,200ピクセル（200万画素）で撮影します。
- 0.3M：640×480ピクセル（30万画素）で撮影します。

❸シーンセレクトメニュー[P65]
- AUTO：フルオートで撮影します。
- ：スポーツモードで撮影します。
- ：ポートレートモードで撮影します。
- ：風景モードで撮影します。
- ：夜景ポートレートモードで撮影します。
- ：スノー＆ビーチモードで撮影します。
- ：花火モードで撮影します。
- ：ランプモードで撮影します。

❹フィルターメニュー[P67]
- ：フィルターを使わずに撮影します。
- ：コスメフィルターで撮影します。
- ：モノクロフィルターで撮影します。
- ：セピアフィルターで撮影します。

❺フラッシュメニュー[P68]
- ⚡A：自動発光します。
- ⚡：強制発光します。
- ：フラッシュを使いません。

❻セルフタイマーメニュー[P70]
- ：セルフタイマーを使いません。
- 2：静止画撮影または動画撮影ボタンを押した後、2秒後に撮影します。
- 10：静止画撮影または動画撮影ボタンを押した後、10秒後に撮影します。

❼ページ表示[P58]

❽ヘルプ表示[P57]

❾電池残量表示[P138]

※同時に設定できない機能を設定した場合は、後から設定した機能を優先し、他方の設定を自動的に変更します。

REC. MENUを出す（つづき）

ページ 2

❶手ぶれ補正メニュー[P72]

- [A]：動画画角表示で撮影します。
- [B]：静止画画角表示で撮影します。
- [OFF]：手ぶれを補正しません。

❷フォーカスメニュー[P74]

- [全域]：全域モードで撮影します。
- [ノーマル]：ノーマルモードで撮影します。
- MF：マニュアルモードで撮影します。
- [マクロ]：スーパーマクロモードで撮影します。

❸フォーカス方式メニュー[P76]

- 5-AF：5点測距フォーカスに設定します。
- S-AF：スポットフォーカスに設定します。

❹測光方式メニュー[P77]

- [多分割]：多分割測光になります。
- [中央重点]：中央重点測光になります。
- [スポット]：スポット測光になります。

❺ISO感度メニュー[P78]

- ISO-A：自動的に感度を設定します（ISO50～200(動画撮影時：ISO450～3,600)相当)。
- 50：感度をISO50(動画撮影時：ISO450)相当に設定します。
- 100：感度をISO100(動画撮影時：ISO900)相当に設定します。
- 200：感度をISO200(動画撮影時：ISO1,800)相当に設定します。
- 400：感度をISO400(動画撮影時：ISO3,600)相当に設定します。

❻ホワイトバランスメニュー[P79]

- AWB：撮影現場の天候や照明をカメラが判別し、自動的にホワイトバランスを調整します。
- [晴天]：晴天時の設定です。
- [曇天]：曇天時の設定です。
- [蛍光灯]：蛍光灯による照明時の設定です。
- [白熱灯]：白熱灯による照明時の設定です。
- [マニュアル]：より正確にホワイトバランスを設定します。

❼ページ表示[P58]

❽ヘルプ表示[P57]

❾電池残量表示[P138]

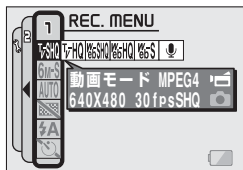
※ 同時に設定できない機能を設定した場合は、後から設定した機能を優先し、他方の設定を自動的に変更します。

画質を設定する

動画モード(画質)を設定する

動画クリップのピクセル数とフレームレートは、数値が大きいほどきめ細かく滑らかな撮影が可能ですが、ファイルサイズが大きくなります。画像の使用目的に応じた画質に設定してください。

1 REC. MENU(ページ1)を出す[P58]

2 動画モードメニューを選ぶ

- TV SHQ:640×480ピクセル、30フレーム/秒、高ビットレートで撮影します。
- TV HQ:640×480ピクセル、30フレーム/秒、標準ビットレートで撮影します。
- Web SHQ:320×240ピクセル、30フレーム/秒で撮影します。
- Web HQ:320×240ピクセル、15フレーム/秒で撮影します。
- Web S:176×144ピクセル、15フレーム/秒で撮影します。
- [マイク]:音声を録音します。

3 動画モードメニューから目的のアイコンを選び、セットボタンを押す

- 動画モードの設定ができました。

注意!

動画クリップを編集する場合

- 動画クリップをつなぎ合わせる[P106・110]場合は、同じ動画モードで撮影してください。
- 異なる動画モードで撮影した動画クリップは、つなぎ合わせることができません。

静止画モード(画質)を設定する

静止画の解像度(ピクセル数)は、数値が大きいほどきめ細かな撮影が可能ですが、ファイルサイズが大きくなります。画像の使用目的に応じた画質に設定してください。

1 REC. MENU(ページ1)を出す[P58]

2 静止画モードメニューを選ぶ

- 6M-S：2,816×2,112ピクセル(600万画素)、標準圧縮率で撮影します。
- 10M：3,680×2,760ピクセル(1,000 万画素)で撮影します。
- 6M-H：2,816×2,112ピクセル(600 万画素)低圧縮率で撮影します。
- 3M：1,536×2,048ピクセル(300万画素、縦位置)で撮影します。
- 2M：1,600×1,200ピクセル(200万画素)で撮影します。
- 0.3M：640×480ピクセル(30万画素)で撮影します。

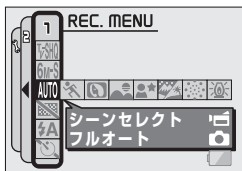
3 静止画モードメニューから目的のアイコンを選び、セットボタンを押す

- 静止画モードの設定ができました。

シーンセレクト機能を設定する

撮影条件に応じたさまざまな設定(絞りやシャッタースピードなど)を登録済みの設定から選んで撮影することができます。

1 REC. MENU(ページ1)を出す [P58]

2 シーンセレクトメニューを選ぶ

AUTO：カメラが最適な状態に設定します(フルオート)。

[スポーツ]：動きの速い被写体の一瞬を捉えることができます(スポーツモード)。

[ポートレート]：背景をぼかして、人物を引き立てた雰囲気のある撮影ができます(ポートレートモード)。

[風景]：遠くの風景がきれいに撮影できます(風景モード)。

[夜景ポートレート]：バックの夜景を活かしながら、人物の撮影ができます(夜景ポートレートモード)。

[スノー&ビーチ]：スキー場などの雪景色や砂浜など、明るい風景を撮影します(スノー&ビーチモード)。

[花火]：打ち上げ花火を撮影します(花火モード)。

[ランプ]：小さな光だけで撮影します(ランプモード)。

3 シーンセレクトメニューから目的のアイコンを選び、セットボタンを押す

- シーンセレクトの設定ができました。

4 撮影をする

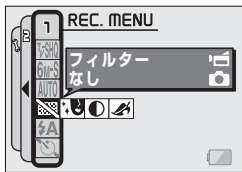
動画クリップ撮影→[P38]
静止画撮影→[P42]

- 通常の撮影に戻す場合は、シーンセレクトメニューのAUTOを選び、セットボタンを押してください。

- ランプモード、花火モードや夜景ポートレートモードで撮影する場合は、手ぶれを防ぐためにカメラを固定してください。
- AUTO以外のシーンセレクト機能を設定した場合の制限事項については、187ページを参照してください。

フィルターを設定する

フィルターは、色調などを変えて、撮影画像に特殊な効果を与える機能です。

1 REC. MENU（ページ1）を出す [P58]

2 フィルターメニューを選ぶ

- ：フィルターを使わずに撮影します（なし）。
- ：人物を撮影する時に、お肌をきれいに撮影できます（コスメフィルター）。
- ：モノクロ撮影ができます（モノクロフィルター）。
- ：色調をセピアカラーにした撮影ができます（セピアフィルター）。

3 フィルターメニューから目的のアイコンを選び、セットボタンを押す

- フィルターの設定ができました。

4 撮影をする

動画クリップ撮影→[P38]
静止画撮影→[P42]

- 通常の撮影に戻す場合は、フィルターメニューのを選び、セットボタンを押してください。

- 以外のフィルターを設定した場合の制限事項については、188ページを参照してください。

フラッシュを設定する

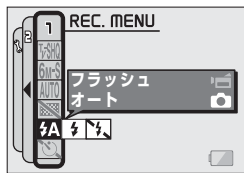
フラッシュは暗い場所での撮影だけでなく、被写体が影になっている時や逆光の場合などでも役に立ちます。
フラッシュには､3つの動作(自動発光 / 強制発光 / 発光禁止)があります。状況に応じて使い分けてください。フラッシュを使って撮影できるのは静止画撮影のみです。

1 REC.MENU(ページ1)を出す [P58]

2 フラッシュメニューを選ぶ

[⚡A]：被写体の明るさを判断し、必要な場合は自動的にフラッシュが発光します。また、逆光で画面中央が極端に暗い場合は逆光と判断し、発光します(自動発光)。

[⚡]：被写体の明るさに関わらずフラッシュが発光します。逆光などで被写体が影になっていたり、蛍光灯などの照明で撮影する時に使います(強制発光)。

[⚡禁止]：暗い場所でもフラッシュは発光しません。フラッシュが使えない場所や、夜景を撮影する時などに使います（発光禁止）。

フラッシュを設定する（つづき）

3 フラッシュメニューから目的のアイコンを選び、セットボタンを押す

- フラッシュの設定ができました。

4 撮影する

- 静止画撮影→[P42]

注意！

フラッシュ発光部に触れたままフラッシュ撮影をしない

- フラッシュ発光部が高温になり、触れるとやけどをする場合があります。フラッシュ発光部には、触れないようにしてください。

ヒント

- 動画クリップ撮影中、フラッシュは使えません。
- セットボタンにショートカット機能[P125]を割り当てると、撮影画面からフラッシュの設定を変えることができます。

セルフタイマーを設定する

1 REC. MENU（ページ1）を出す [P58]

2 セルフタイマーメニューを選ぶ

- ：セルフタイマーを使いません。
- ：静止画撮影または動画撮影ボタンを押した後、2秒後に撮影します。
- ：静止画撮影または動画撮影ボタンを押した後、10秒後に撮影します。

3 セルフタイマーメニューから目的のアイコンを選び、セットボタンを押す

- セルフタイマーの設定ができました。

4 撮影をする

動画クリップ撮影→[P38]
静止画撮影→[P42]

セルフタイマーを設定する(つづき)

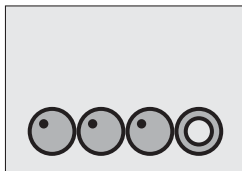
ヒント

- セットボタンにショートカット機能[P125]を割り当てると、撮影画面からセルフタイマーを設定することができます。

セルフタイマー撮影を中断/中止するには

- セルフタイマー撮影を中断する時は、シャッターが切れる前に、もう一度静止画撮影または動画撮影ボタンを押します。再度セルフタイマー撮影をする時は、静止画/動画撮影ボタンを押します。
- セルフタイマー撮影を中止する時は、セルフタイマーメニューのアイコンを選び、セットボタンを押してください。
- セルフタイマー撮影が終わると、セルフタイマーを使わない設定になります。

アイコンを選んだ場合は

- 静止画撮影または動画撮影ボタンを押すとマルチインジケータが約10秒間点滅した後、撮影を開始します。また撮影を開始する4秒前になるとモニターに右の表示が出て、撮影のタイミングをお知らせします。

手ぶれ補正を設定する

撮影時の手ぶれを補正し、手ぶれの少ない撮影を可能にします（動画クリップのみ）。

1 REC. MENU（**ページ2**）を出す [P58]

2 手ぶれ補正メニューを選ぶ

[A]：動画クリップ撮影時の手ぶれを補正します。動画クリップ撮影ボタンを押した際に画角が変わらないため、動画クリップを中心に撮影する際に便利です（動画画角表示）。

[B]：動画クリップ撮影時の手ぶれを補正します。静止画撮影ボタンを押した際に画角が変わらないため、静止画を中心に撮影する際に便利です（静止画画角表示）。

[OFF]：手ぶれを補正しません（OFF）。

3 手ぶれ補正メニューから目的のアイコンを選び、セットボタンを押す

- 手ぶれ補正の設定ができました。

ヒント

手ぶれ補正が効かない？
- 機構上の特性により、激しい手ぶれは補正できない場合があります。
- デジタルズーム[P124]使用時は、倍率が大きいため被写体によっては手ぶれ補正が効きにくくなることがあります。
- カメラを固定して撮影する場合は、手ぶれ補正をしない設定[OFF]にしてください。手ぶれ補正を設定して撮影すると、不自然な画像になる場合があります。

手ぶれ補正を設定する(つづき)

<手ぶれ補正設定時の画角変化について>

- 手ぶれ補正をONに設定すると、撮影待機画面と撮影画面の画角が以下のように変わります。
- 手ぶれ[(B)]設定時、撮影待機画面には動画クリップ撮影範囲を示すフレームが出ます。

- 静止画撮影の設定を解像度[0.3M]、シーンセレクト機能を[AUTO]・[スポーツ]・[ポートレート]・[風景][P65]にしている場合、動画クリップ撮影中に撮影した静止画像は、動画クリップの画像と同じ画角になります。

フォーカスレンジを設定する

カメラから被写体までの距離によってフォーカスレンジを設定すると、ピントが合いやすくなります。

1 REC.MENU(**ページ 2**)を出す [P58]

2 フォーカスメニューを選ぶ

- ：Wide端：10cm～∞m Tele端：80cm～∞m(全域モード)
- ：80cm～∞m(標準モード)
- MF：焦点距離を1cmから8mの間で設定でき、∞に設定することもできます(マニュアルフォーカス)。
- ：1cm～80cm(スーパーマクロモード：Wide端のみ)

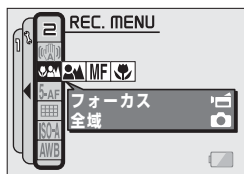
- マニュアルフォーカスMFを選ぶ場合は、「マニュアルフォーカスの使いかた[P75]」を参照してください。

3 フォーカスメニューから目的のアイコンを選び、セットボタンを押す

- フォーカスレンジの設定ができました。

4 撮影する

動画クリップ→[P38]
静止画撮影→[P42]

ヒント

- セットボタンにショートカット機能[P125]を割り当てると、撮影画面の状態からフォーカスレンジの設定を変えたり、フォーカスをロックすることができます。
- スーパーマクロに設定すると、いったんズームをWide端にします。

フォーカスレンジを設定する(つづき)

マニュアルフォーカスの使いかた

1 **フォーカスメニューからマニュアルフォーカスアイコン MF を選び[P75]、セットボタンを2回押す**

- 焦点距離を設定するバーが出ます。

2 **セットボタンを右または左側に押して、焦点距離を選び、セットボタンを押す**

- 焦点距離を設定し、撮影画面に戻ります。

ヒント

- 中・遠景を撮影する場合、[山]に設定するとフォーカスが合いやすくなり、フォーカスが合うまでの時間も短くなります。

焦点距離について

- 焦点距離の表示は、レンズ面からの距離です。
- マニュアルフォーカスで設定する焦点距離の数値と実際の被写体までの距離に、多少の相違が出る場合があります。

マニュアルフォーカス使用時のズーム動作について

- 焦点距離を70cm以下に設定すると、ズーム位置は焦点距離に適合した最大の位置になります。
- 焦点距離を70cm以下に設定している場合、ズームはピントが合う範囲でのみ動作します。

フォーカスエリアを設定する

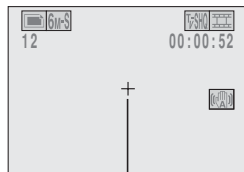
静止画撮影時のオートフォーカス(ピント合わせ)の方式は、以下の 2 種類から選べます。
5点測距フォーカス：撮影画面全体から被写体とのフォーカスを分割して測定します。
スポットフォーカス：モニターの中央部分の被写体にフォーカスを合わせます。

1 REC. MENU(ページ2)を出す [P58]

2 フォーカス方式メニューからフォーカス方式を選び、セットボタンを押す

5-AF：5点測距フォーカスになります。

S-AF：スポットフォーカスになります。

- スポットフォーカスに設定した場合は、モニター中央にフォーカスマーク+が出ます。

フォーカスマーク

測光方式を設定する

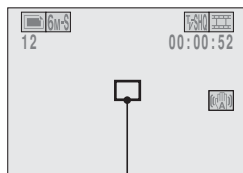
カメラの測光方式は、以下の 3 種類から選べます。
多分割測光　：撮影画面全体の光量を分割して調光します。
中央重点測光：撮影画面の中央付近の光量に重点をおいて、撮影画像全体を調光します。
スポット測光：モニターの中央部分の光量だけを重点的に調光してから構図を決め、撮影することができます。

1 REC. MENU（**ページ2**）を出す［P58］

2 測光方式メニューから測光方式を選ぶ

：多分割測光になります。
：中央重点測光になります。
：スポット測光になります。

3 セットボタンを押す

- 測光方式の設定ができました。
- スポット測光に設定した場合は、モニター中央に測光スポットマーク□が出ます。

測光スポットマーク

ISO感度を設定する

初期設定では、自動的に被写体の明るさに応じてISO感度を設定するようになっていますが、ISO感度を固定することができます。

1 REC. MENU(ページ2)を出す[P58]

2 ISO感度メニューを選ぶ

ISO-A：自動的に感度を設定します(ISO50〜200(動画撮影時：ISO450〜3,600)相当)。

50：感度をISO50(動画撮影時：ISO450)相当に設定します。

100：感度をISO100(動画撮影時：ISO900)相当に設定します。

200：感度をISO200(動画撮影時：ISO1,800)相当に設定します。

400：感度をISO400(動画撮影時：ISO3,600)相当に設定します。

3 ISO感度メニューから目的のアイコンを選び、セットボタンを押す

- ISO感度の設定ができました。

- ISO感度を高く設定するほど、速いシャッタースピードでの撮影や暗い場所での撮影が可能になりますが、撮影画像にノイズが増える場合があります。

注意!

動画クリップ撮影でフリッカー(画面のちらつき)が発生する？
- ISO感度を400に設定し、蛍光灯照明の下で動画クリップ撮影をすると、撮影画像に激しいフリッカーが発生する場合があります。

ホワイトバランスを設定する

このカメラは、光源の色が変化しても、撮影画像の色が変化しないように調整するホワイトバランス自動調整機能を搭載しています。特に光源を指定する場合は、ホワイトバランスの設定をしてください。

1 REC. MENU(ページ2)を出す[P58]

2 ホワイトバランスメニューを選ぶ

AWB：撮影現場の天候や照明をカメラが判別し、自動的にホワイトバランスを調整します。

☼：晴天時の設定です。

☁：曇天時の設定です。

蛍光灯：蛍光灯による照明時の設定です。

白熱灯：白熱灯による照明時の設定です。

ワンプッシュ：現在の光源で、より正確にホワイトバランスをとる時の設定です(ワンプッシュ)。光源が特定できない場合などに使用してください。

[設定のしかた]

❶ワンプッシュアイコンを選び、セットボタンを押す

・ワンプッシュアイコンが左に移動します。

❷白色の紙を画面いっぱいに表示して、セットボタンを押す

3 ホワイトバランスメニューから目的のアイコンを選び、セットボタンを押す

- ホワイトバランスの設定ができました。
- [✐]アイコンで設定したホワイトバランスは、他の設定（AWB、[☼]、[☁]、[蛍光灯]、[電球]）にしても、記憶しています。他の設定に変更した場合は、[✐]アイコンを選んでセットボタンを押すと、設定した[✐]アイコンのホワイトバランスに戻すことができます。

ホワイトバランスの設定を解除するには

- 操作1を行い、AWBアイコンを選んでセットボタンを押します。

PLAY MENU を出す

（ルビ：プレイ メニュー）

再生の設定は、PLAY MENU で行います 。
PLAY MENU には**ページ 1** と**ページ 2** があります。カメラの設定を行う画面(OPTION MENU[P114])も、PLAY MENU から出します。

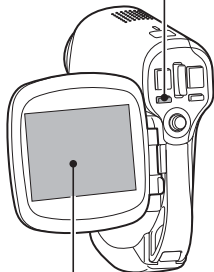
1 電源を入れる[P26]

- 再生モードで電源を入れてください。

2 [MENU]ボタンを押す

- PLAY MENUが出ます。
- PLAY MENUは、[MENU]ボタンを押すと消えます。

ヘルプ表示について

PLAY MENU のアイコンを選ぶと、選んだアイコンの機能(ヘルプ表示）が出ます。

ページの切り替えかた

PLAY MENU の**ページ 1** と**ページ 2** を切り替えます。

1 PLAY MENU を出す [P81]

2 セットボタンを左側に押す

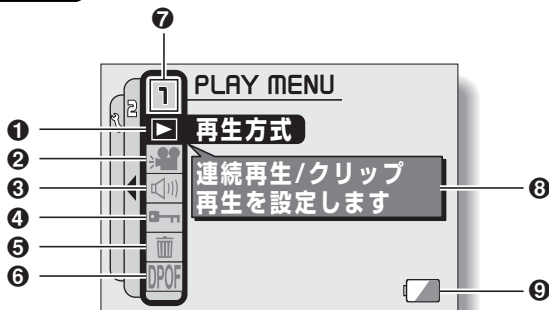
- PLAY MENUのページが切り替わります。
- セットボタンを左側に押すたびに、

→ページ2→OPTION MENU→ページ1→

の順に、画面表示が変わります。

PLAY MENUを出す(つづき)

PLAY MENUの紹介

ページ 1

❶再生方式アイコン[P85]
- 連続再生するか、1データごとに再生するかを設定します。

❷スライドショーアイコン[P87]
- スライドショーの設定と再生を行います。

❸再生音量アイコン[P89]
- 動画クリップや音声データの再生音量を設定します。

❹プロテクトアイコン[P90]
- データにプロテクト(消去禁止)を設定します。

❺消去アイコン[P92]
- データを消去します。

❻プリント予約アイコン[P94]
- プリント予約(DPOF設定)を行います。

❼ページ表示[P82]

❽ヘルプ表示[P81]

❾電池残量表示[P138]

ページ2

❶回転アイコン[P100]
- 静止画を回転表示します。

❷リサイズアイコン[P101]
- 静止画の解像度を下げます。

❸赤目補正アイコン[P102]
- 赤く写った目を自然な状態に補正します。

❹静止画抜き出しアイコン[P104]
- 動画クリップから静止画を抜き出します。

❺動画編集アイコン[P105]
- 動画クリップを編集します。

❻スムーズ再生アイコン[P112]
- 動画クリップを滑らかに再生します。

❼ページ表示[P82]

❽ヘルプ表示[P81]

❾電池残量表示[P138]

再生方式を設定する

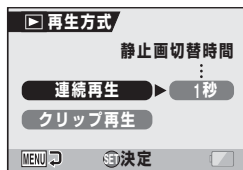
データを連続して再生する(連続再生)か、選んだデータだけを再生する(クリップ再生)かを設定します。

1 PLAY MENU(ページ1)を出す [P82]

2 再生方式アイコン [▶] を選び、セットボタンを押す

- 再生方式画面が出ます。

[連続再生]：データを連続して再生します。

[クリップ再生]：選んだデータだけを再生します[P39・44・52]。

3 再生方式を選ぶ

<[連続再生]を選んだ場合>

❶セットボタンを右側に押して静止画切替時間を選ぶ
❷セットボタンを上または下側に押して、静止画切替時間を設定する
❸セットボタンを押す

4 セットボタンを押す

- 再生方式を設定し、PLAY MENUに戻ります。

連続再生のしかた

- 再生モードにして[SET]ボタンを押すと、連続再生ができます。

連続再生とスライドショー[P87]の違いは？

- 連続再生では連続再生の一時停止、動画クリップの一時停止・早送り/早戻しなどの操作が可能です。ただし、再生画面にキー操作のガイド表示や撮影年月日が出て再生操作(一時停止や倍速再生など)ができます。一方、スライドショーは、スライドショーを止める以外の操作はできません。ただし、キー操作のガイド表示や撮影年月日が出ないため、画像が見やすくなっています。また、連続再生では表示中のデータから後の画像を再生して最後の画像を再生後に終了するのに対し、スライドショーでは表示中の画像からすべての画像を再生します。目的に応じて、使い分けると便利です。

スライドショーを設定する

画像や音声を連続して再生する「スライドショー」の設定をします。静止画のスライドショーでは、切り替え時間や切り替え効果を設定することができます。

1 PLAY MENU(ページ1）を出す [P82]

2 スライドショーアイコン を選び、セットボタンを押す

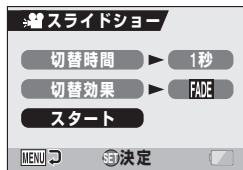
- スライドショー画面が出ます。

[切替時間]：静止画再生時、次の画像を再生するまでの時間を設定します。

[切替効果]：静止画再生時、画面が切り替わる時の画面効果を設定します。

[スタート]：スライドショーを開始します。

＜切替時間または切替効果の設定を変更する場合＞

❶[切替時間]または[切替効果]表示を選び、セットボタンを押す
❷セットボタンを上または下側に押し、設定を選ぶ
❸セットボタンを押す

3 [スタート] を選び、セットボタンを押す

- スライドショーを開始します。
- 再生中にセットボタンまたは [MENU] ボタンを押すと、スライドショーを中止します。

再生音量を設定する

動画クリップや音声データの再生音量を設定します。

1 PLAY MENU(ページ1)を出す [P82]

2 再生音量アイコン[🔈]を選び、セットボタンを押す

- 音量バーが出ます。

3 セットボタンを右または左側に押して音量を設定し、セットボタンを押す

- 再生音量を設定し、PLAY MENUに戻ります。

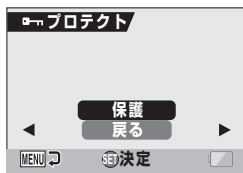
- 動画クリップまたは音声再生中にズームスイッチを押すと音量バーが出て、音量を設定することができます。

プロテクト(消去禁止)を設定する

画像や音声データにプロテクト(消去禁止)を設定します。

1 プロテクトを設定するデータを表示し、PLAY MENU(**ページ1**)を出す [P82]

2 プロテクトアイコン [鍵] を選び、セットボタンを押す

- プロテクト画面が出ます。

3 セットボタンを上または下側に押して[保護]を選び、セットボタンを押す

- データにプロテクトを設定しました。
- プロテクトを設定したデータには、プロテクトマーク[鍵]が付きます。
- PLAY MENUに戻る場合は、[MENU]ボタンを押します。

プロテクト(消去禁止)を設定する(つづき)

注意!

● プロテクトをかけたデータでも、カードをフォーマットすると消えます[P134]。

操作2・3の画面で、他の画像を選ぶには

● セットボタンを右または左側に押します。

プロテクトを解除するには

● プロテクトを解除するデータを表示し、操作1・2を行い、3で[解除]を選んでセットボタンを押してください。プロテクトマークが消え、プロテクトを解除します。

データを消去する

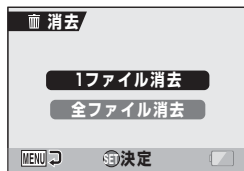
データの消去方法には、選んだデータを 1 つずつ消去する方法と、すべてのデータを一括して消去する方法があります。

1 PLAY MENU(ページ1)を出す [P82]

2 消去アイコン[🗑]を選び、セットボタンを押す

- 消去方法を選ぶ画面が出ます。

[1ファイル消去]：表示しているデータを消去します。

[全ファイル消去]：
すべてのデータを消去します。

3 セットボタンを上または下側に押して消去方法を選び、セットボタンを押す

- データ消去を確認するメッセージが出ます。

＜[1ファイル消去]を選んだ場合＞

- セットボタンを右または左側に押して、消去するデータを選んでください。

＜[全ファイル消去]を選んだ場合＞

- セットボタンを右または左側に押して、すべてのデータを消去しても良いか確認してください。

4 セットボタンを上側に押して[消去]を選び、セットボタンを押す

<[1ファイル消去]を選んだ場合>

- 表示中の画像を消去します。
- 続けてデータを消去する場合は、データを選んで[消去]を選び、セットボタンを押してください。

<[全ファイル消去]を選んだ場合>

- 再度、消去を確認する画面が出ます。消去しても良ければ[はい]を選んでセットボタンを押してください。消去が終わると、[画像がありません]表示が出ます。

注意!

- プロテクトがかかっている画像は、消去できません。消去する場合は、プロテクトを解除してから消去してください[P90]。

ヒント

- 再生画面でセットボタンを上側に押すと、1ファイル消去の確認画面を出すことができます。

プリントを予約する

静止画は、プリンタで印刷することはもちろん、従来の写真のようにデジタルプリント取扱店でプリントができます。またこのカメラは DPOF 規格を採用しており、プリントする枚数や日付けプリントの有無、さらにインデックスプリントを予約することもできます。

プリント予約画面を出す

1 PLAY MENU(ページ1)を出す [P82]

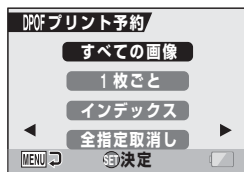
2 プリント予約アイコン DPOF を選び、セットボタンを押す

- プリント予約画面が出ます。

[すべての画像]：
カード内のすべての画像にプリントの予約を行います。

[1枚ごと]：
画像1枚ごとにプリントの予約を行います。

[インデックス]：
すべての静止画を小さな画像で一覧表示用としてプリントします。

[全指定取消し]：
プリント指定の内容をすべて取り消します。プリントを予約していない場合は選べません。

プリントを予約する(つづき)

ヒント

動画クリップの1コマは

- 動画クリップの画像をプリンタで印刷したりプリントサービスに出す場合は、静止画として画像を抜き出してから[P104]プリントの予約をしてください。

DPOF規格について

- DPOFは、プリントオーダー規格の1つです。カメラでプリント内容を予約することで、効率よくプリントができます。DPOF規格に対応したプリンタにカメラを直接つないで印刷することもできます。またプリント予約をすると、予約画像印刷[P153]で一度に印刷することもできます。

プリントの仕上がりについて

- 回転表示[P100]した画像は、元の画像の状態でプリントします。
- プリントの仕上がりは、プリントサービスやプリンタの仕様によって異なります。

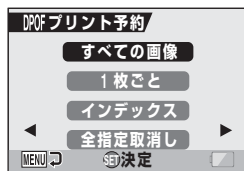
日付・プリント枚数を予約する

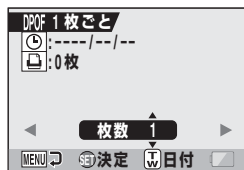
1 画像ごとに個別に予約する方法(1 枚ごと)と、カード内の画像すべてに同じ予約をする方法(すべての画像)があります。

1 プリント予約画面を出す [P94]

2 [すべての画像]または[1枚ごと]を選ぶ

[すべての画像]：
カード内のすべての静止画に、同じプリント予約をします。

[1枚ごと]：
表示している画像にプリント予約をします。

3 セットボタンを押す

- 日付・プリント枚数予約画面が出ます。
- [1 枚ごと]を選んだ場合はセットボタンを右または左側に押して、プリント予約をする画像を表示してください。
- 日付・プリント枚数予約画面には、表示中の画像のプリント予約が出ます。
  セットボタンを右または左側に押すと、各画像のプリント予約が確認できます。

プリントを予約する(つづき)

4 日付プリントまたはプリント枚数を予約する

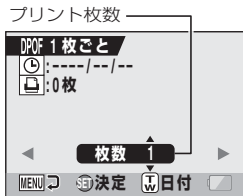
プリント枚数
DPOF 1枚ごと
:----/--/--
:0枚
枚数 1
MENU SET決定 T/W日付

＜プリント枚数を予約する＞

- セットボタンを上または下側に押す
  - ・枚数表示が変わります。
  - ・希望の枚数を表示してください。

＜日付プリントを予約する＞

- ズームスイッチを[T]または[W]側に押す
  - ・ズームスイッチを押すたびに、日付表示が出たり消えたりします。
  - ・日付・時刻[P30]を設定しないで撮影した画像の場合、日付表示は「--/--/--」になり、日付プリントはできません。

日付をプリントする
：日付表示を出す
日付をプリントしない
：日付表示を消す

5 セットボタンを押す

- プリント枚数および日付プリントを予約しました。

6 [MENU] ボタンを押す

- プリント予約画面に戻ります。

インデックスプリントをする

一覧表示用として、小さな画像をたくさん印刷することを「インデックスプリント」といいます。撮影した画像の一覧を作成する場合に便利です。

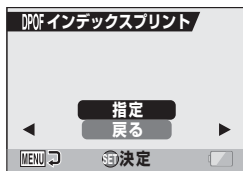
1 プリント予約画面を出す [P94]

2 [インデックス]を選ぶ

3 セットボタンを押す

- インデックスプリント画面が出ます。

  [指定]：インデックスプリント予約をします。

  [戻る]：予約を中止して、プリント予約画面に戻ります。

4 [指定]を選び、セットボタンを押す

- インデックスプリントの予約をし、プリント予約画面に戻ります。

ヒント

インデックスプリントの予約を解除するには

- 操作1・2を行い、操作3で[解除]を選んでセットボタンを押してください。

プリントを予約する(つづき)

すべての画像のプリント予約を取り消す

画像のプリント予約をすべて取り消します。

1 プリント予約画面を出す[P94]

2 [全指定取消し]を選ぶ

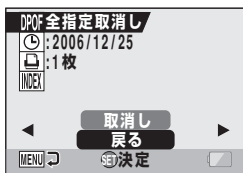
3 セットボタンを押す

- 全指定取消し確認画面が出ます。

[取消し]：すべての画像のプリント予約を取り消します。

[戻る]：プリント予約の取り消しを中止して、プリント予約画面に戻ります。

4 [取消し]を選び、セットボタンを押す

- すべての画像のプリント予約を取り消して、プリント予約画面に戻ります。

画像を回転表示する

静止画を回転して見ることができます。

1 回転する静止画を表示し、PLAY MENU(ページ2)を出す[P82]

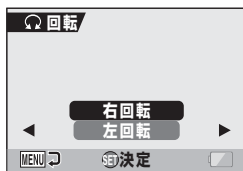
2 回転アイコン[回転アイコン]を選び、セットボタンを押す

- 回転画面が出ます。

[右回転]：右方向に90°回転します(時計回り)。

[左回転]：左方向に90°回転します(反時計回り)。

3 [右回転] または [左回転] を選び、セットボタンを押す

- セットボタンを押すごとに、画像が90°回転します。

画像のサイズを変える(リサイズ)

解像度が [2M] 以上の静止画のサイズを 1600 × 1200 ピクセルまたは 640 × 480 ピクセルに変えて、新しく静止画像を作ることができます。

1 サイズを変える静止画を表示し、PLAY MENU (ページ2)を出す [P82]

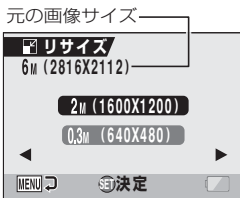
2 リサイズアイコン [リサイズアイコン] を選び、セットボタンを押す

- リサイズ画面が出ます。

3 セットボタンを上または下側に押して、変更後の画像サイズを選ぶ

[2M (1600×1200)]：1600×1200ピクセルにします。
[0.3M (640×480)]：640×480ピクセルにします。

4 セットボタンを押す

- サイズ変更を開始します。

リサイズできない？

- 変更後の画像サイズより小さい画像をリサイズすることはできません。

赤目現象を補正する

人物を撮影した際に、目が赤く写ることがあります(赤目現象)。赤く写ってしまった目を自然な状態に近づけることができます(赤目補正)。

1 赤目補正する画像を表示し、PLAY MENU(ページ2)を出す [P82]

2 赤目補正アイコン を選び、セットボタンを押す

- 赤目補正画面が出ます。

[補正]：赤目現象を補正します。

[戻る]：PLAY MENUに戻ります。

3 [補正] を選び、セットボタンを押す

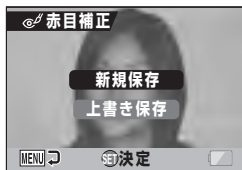
- 赤目補正を実行します。
- 赤目補正処理中は、「処理中」表示が出ます。
- 赤目補正の処理が終わると、処理後の画像が出ます。補正の状態を確認してください。

赤目現象を補正する(つづき)

4 静止画撮影ボタンを押す

- 元の画像を保存するか、しないかを選ぶ画面が出ます。

[新規保存]：赤目補正した画像を新たな画像として保存します。

[上書き保存]：元のファイルを削除して赤目補正後の静止画だけを保存します。

5 保存方法を選び、セットボタンを押す

- 赤目補正をした画像を保存し、赤目補正画面に戻ります。

「赤目補正できません」表示が出る？
- 赤目現象を補正することができませんでした。
- このカメラの赤目補正機能は、カメラが赤目現象と認識した部分を自動補正します。このため、目が赤く写っていても補正できなかったり、赤く写った目以外の部分を赤目現象と認識し補正する場合があります。

保存した画像の撮影年月日と更新日時について
- 保存した画像の撮影年月日(Exif情報)は、元の画像のままです。ただし、パソコンで見た場合のファイルの更新日は保存した日付になります。

動画クリップから静止画を抜き出す

動画クリップ撮影した画像の 1 コマを、1 枚の静止画として保存することができます(元の画像はそのまま残ります)。

1 動画クリップを再生し、静止画にする位置で、一時停止する

2 PLAY MENU(ページ2)を出す [P82]

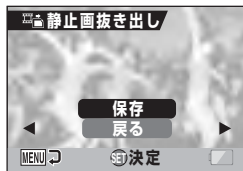
3 静止画抜き出しアイコン を選び、セットボタンを押す

- 静止画抜き出し画面が出ます。

[保存]：表示中の画像を静止画として保存します。

[戻る]：PLAY MENUに戻ります。

4 [保存] を選び、セットボタンを押す

- 静止画抜き出しを実行します。

操作3で他の画像(コマ)を選ぶには

- セットボタンを左または右側に押します。

動画クリップを編集する

動画クリップの前部分または後ろ部分を削除することができます(動画クリップの部分削除)。削除するポイントは任意に設定することができます。
また、動画クリップをつなぎ合わせて、新しい動画クリップファイルとして保存することができます。(動画クリップのつなぎ合わせ)

注意!

電池残量に注意してください

- 長時間撮影した動画クリップ編集では、大きなサイズのデータを処理するため、処理時間が長くなります。カメラで動画クリップを編集する時は、処理中に電池がなくならないよう、十分に充電した電池を装着してください。
- 長時間撮影した動画クリップの編集は、パソコンで行うことをおすすめします。

動画クリップの部分削除の操作手順

動画クリップを再生し、削除するポイントで一時停止する

▼

一時停止した位置から前部分を削除するか、後ろ部分を削除するかを指定する

▼

指定した部分を削除する

- 動画クリップの部分削除ができました。 ••

- 元の動画クリップはそのまま残ります。 ••
（保存時に消去することもできます。）

動画クリップのつなぎ合わせの操作手順

前部分になる動画クリップを表示する

▼

後ろ部分になる(つなぎ合わせる)
動画クリップを選ぶ

▼

動画クリップをつなぎ合わせる
(セットボタンを押す)

● 動画クリップのつなぎ合わせができました。

● 元の動画クリップはそのまま残ります。
(保存時に消去することもできます。)

注意!

動画クリップ編集時のご注意

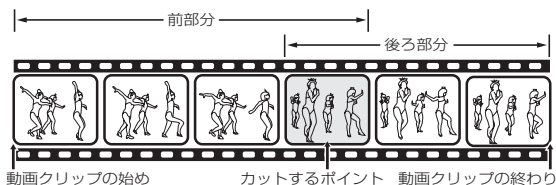
- 動画クリップ編集処理中は、電源を切らないでください。電源を切ると、編集処理が正常に終了しないばかりではなく、編集元の画像まで消えてしまうことがあります。
- 部分保存とつなぎ合わせをくり返すことにより、希望の動画クリップを作ることができます。ただし、動画クリップが増えて、カードの空き容量がなくなると、編集はできなくなります。このような時は、不要なファイルを消去[P92]するか、編集時に上書き保存[P109･111]を行ってください。
- 再生時に表示する編集後の動画クリップの日付表示は、編集して保存した日付になります。

動画クリップを編集する(つづき)

動画クリップの部分削除

1 部分削除する動画クリップを表示する

2 削除したい希望のシーンを表示する

- 希望のシーンより、前部分または、後ろ部分を削除します。

- 希望のシーンをすばやくさがす時は、動画クリップの「早送り再生(逆方向の再生)」→「一時停止」→「コマ送り」の操作をすると便利です[P40]。
- 削除するポイントは、表示した希望のシーンより多少前後する場合があります。

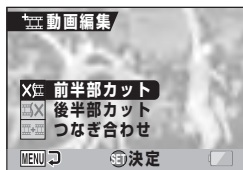
3 PLAY MENU(ページ 2)を出す[P82]

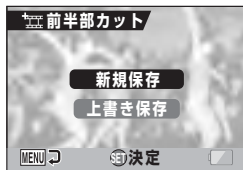
4 動画編集アイコン[icon]を選び、セットボタンを押す

- 動画編集画面が出ます。

5 セットボタンを上または下側に押して、削除する部分を選ぶ

[前半部カット]：
前部分を削除します。

[後半部カット]：
後ろ部分を削除します。

6 セットボタンを押す

- 編集後の動画クリップを新しいファイルとして保存するか、元のファイルを削除して編集後の動画クリップだけを保存するかを選ぶ画面が出ます。

7 編集と同時に元の動画クリップを消去する/しないを選ぶ

[新規保存]：編集後の動画クリップを新しいファイルとして保存します。

[上書き保存]：元のファイルを削除して編集後の動画クリップだけを保存します。

8 セットボタンを押す

- 編集を開始します。
- 編集が終わると、PLAY MENUに戻ります。

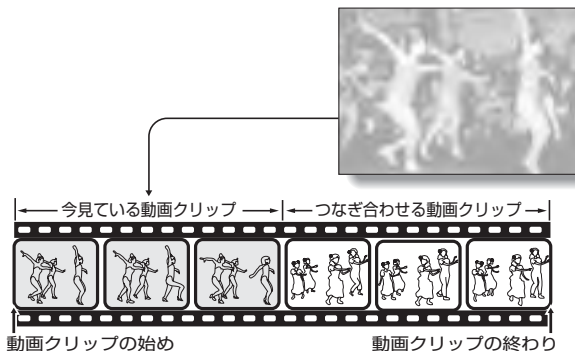
ヒント

- 元の動画クリップにプロテクトをかけている場合は、操作7・8で[上書き保存]を選んでセットボタンを押しても、元の動画クリップを消去しません。消去するときは、操作の前にプロテクトを解除してください[P90]。

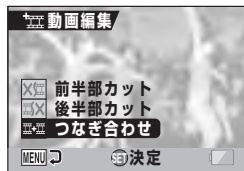
動画クリップのつなぎ合わせ

注意!

- 異なる動画モードで撮影した動画クリップは、つなぎ合せることができません。

1 編集する動画クリップを表示する

2 PLAY MENU(**ページ 2**)を出す [P82]

3 動画編集アイコン を選んで、セットボタンを押す

- 動画編集画面が出ます。

4 つなぎ合わせアイコン を選ぶ

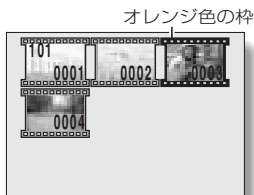
動画クリップを編集する(つづき)

5 セットボタンを押す

- 動画クリップの9画面マルチ再生画面になります。

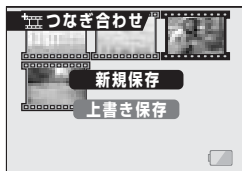
オレンジ色の枠

101 0001 0002 0003 0004

6 つなぎ合わせる動画クリップにオレンジの枠を合わせる

7 セットボタンを押す

8 編集と同時に元の動画クリップを消去する/しないを選ぶ

[新規保存]：編集後の動画クリップを新しいファイルとして保存します。

[上書き保存]：元のファイルを削除して編集後の動画クリップだけを保存します。

9 セットボタンを押す

- 編集を開始します。
- 選んだ動画クリップをつなぎ合わせて、新しい動画クリップとして保存しました。
- 編集が終わると、PLAY MENUに戻ります。

ヒント

- 元の動画クリップにプロテクトをかけている場合は、操作8で[上書き保存]を選んでセットボタンを押しても、元の動画クリップを消去しません。消去するときは、操作の前にプロテクトを解除してください[P90]。

スムーズ再生する

カメラを速く動かして撮影した動画クリップを再生した際などのちらつきを抑えることができます。

1 PLAY MENU(ページ2)を出す [P82]

2 スムーズ再生アイコン を選び、セットボタンを押す

- スムーズ再生画面が出ます。

[ON]：スムーズ再生します。

[OFF]：スムーズ再生しません。

3 [ON] を選び、セットボタンを押す

- スムーズ再生の設定ができました。

- 撮影条件によっては、効果がない場合もあります。

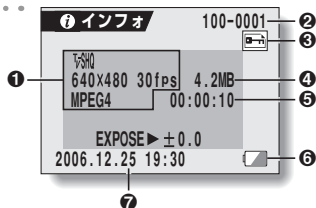
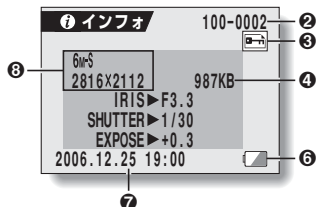
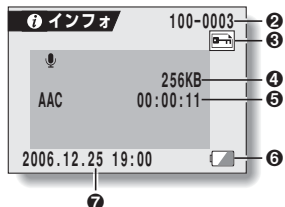
画像情報を表示する(インフォ画面)

撮影画像の情報を表示(インフォ画面)することができます。

1 情報を表示する画像を表示する

2 [MENU]ボタンを約 1 秒間押す

- インフォ画面が出ます。
- インフォ画面は、再度[MENU]ボタンを押すと消えます。

❶動画モードの設定
❷画像または音声番号
❸プロテクトの設定
❹ファイルサイズ
❺撮影または録音時間
❻電池残量表示
❼撮影年月日、時刻
❽静止画モードの設定

<動画クリップの場合>

<静止画の場合>

<音声データの場合>

OPTION MENUを出す

カメラの設定は、OPTION MENU で行います。

1 電源を入れ [P26]、[MENU] ボタンを押す

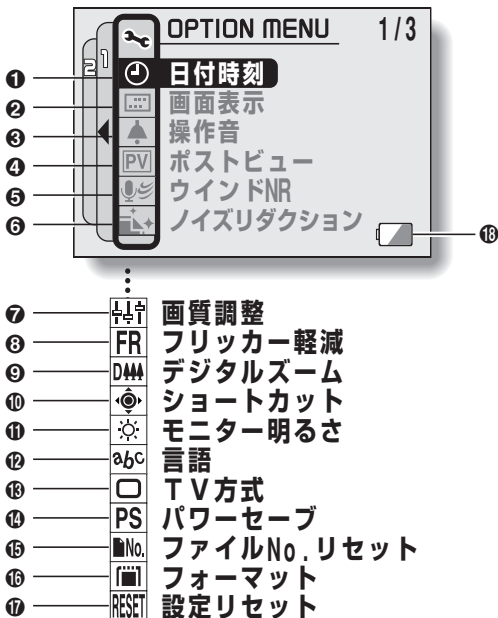
- REC. またはPLAY MENUが出ます。

2 セットボタンを左側に2 回 押 し て OPTION MENU を出す

- OPTION MENUは、[MENU] ボタンを押すと消えます。

<OPTION MENU>

オプション メニュー
OPTION MENUを出す（つづき）

OPTION MENUの紹介

❶日付時刻アイコン[P30]
- カメラの内蔵時計を設定します。

❷画面表示アイコン[P33]
- 撮影日時の表示を設定します。

❸操作音アイコン[P117]
- カメラのボタンを押した時に鳴る音や音量を設定します。

❹ポストビューアイコン[P119]
- 静止画撮影ボタンを押した後、撮影した画像がモニターに出る時間を設定します。

❺ウィンドNRアイコン[P120]
- ウィンドノイズリダクション機能のON/OFFを設定します。

❻ノイズリダクションアイコン[P121]
- ノイズリダクション機能のON/OFFを設定します。

❼画質調整アイコン[P122]
- カメラが撮影する時の画質を調整します。

❽フリッカー軽減メニュー[P123]
- フリッカー軽減機能のON/OFFを設定します。

❾デジタルズームアイコン[P124]
- デジタルズームのON/OFFを設定します。

❿ショートカットアイコン[P125]
- 撮影画面表示状態で、セットボタンを上下左右に押した時の機能を割り当てます。

⓫モニター明るさアイコン[P127]
- モニターの明るさを設定します。

⓬言語アイコン
- このカメラは、日本語のみの表示です。他の言語には設定できません。

⓭TV方式アイコン[P128]
- カメラのUSB/AV端子から出力する映像信号の方式を設定します。

⓮パワーセーブアイコン[P129]

⓯ファイルNo.リセットアイコン[P131]
- ファイルNo.リセット機能を設定します。

⓰フォーマットアイコン[P134]
- カメラにセットしたカードをフォーマットします。

⓱設定リセットアイコン[P136]
- 各設定画面で変更した設定を工場出荷時の設定に戻します。

⓲電池残量表示[P138]

※❼～⓱のアイコンは、セットボタンを上下に押して、画面をスクロールすると出ます

操作音を設定する

カメラの起動/終了時に鳴る音や音声ガイド、カメラのボタン（静止画撮影ボタン、セットボタンや [MENU] ボタンなど）を押した時に鳴る操作音（確認音）や音量が設定できます。

1 OPTION MENU を出す [P114]

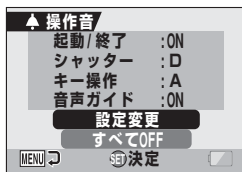
2 操作音アイコン［▲］を選び、セットボタンを押す

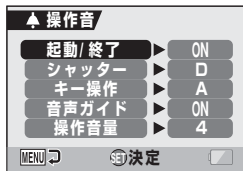
- 操作音画面が出ます。
- 操作音画面には、現在の操作音の設定が出ます。
- [すべてOFF]を選んでセットボタンを押すと、すべての音を出しません。

[起動/終了]：
カメラの電源をON/OFFした時に出る音です。

[シャッター]：
静止画撮影ボタンを押した時に出る音です。

[キー操作]：
カメラのボタン（セットボタン、[MENU]ボタンなど）を押した時に出る音です。

[音声ガイド]：
カメラの操作を音声でお知らせする機能です。

3 [設定変更]を選び、セットボタンを押す

● 設定をする画面が出ます。

4 セットボタンを上または下側に押して、設定する項目を選び、セットボタンを押す

● 操作音選択画面が出ます。

〈[起動/終了][音声ガイド]を選んだ場合〉

・起動/終了音または音声ガイドを鳴らすか鳴らさないかを選ぶ画面が出ます。
・上側または下側に押してどちらかを選び、セットボタンを押してください。
[ON]：音が鳴ります。　**[OFF]**：音が鳴りません。

〈[シャッター][キー操作]を選んだ場合〉

・操作音を選ぶ画面が出ます。
・AからHの8種類の音があります。
・静止画撮影ボタンを押すと、選んでいる操作音を聞くことができます。
・[OFF]を選ぶと、操作音は鳴りません。
・上側または下側に押して操作音を選び、セットボタンを押してください。

〈[操作音量]を選んだ場合〉

・操作音量を選ぶ画面が出ます。
・操作音量は、1(最小)から7(最大)までの範囲で選べます。
・セットボタンを上または下側に押して音量を選び、セットボタンを押してください。

5 [MENU] ボタンを押す

● 操作音を設定しました。

● [MENU]ボタンを押した状態で電源を入れると、操作音のON/OFF画面が出ます。操作音を出したくない場所で操作音を消す場合に便利です。

ポストビューを設定する

静止画撮影ボタンを押した後、撮影した画像がモニターに出る(ポストビュー)時間を設定します。

1 OPTION MENU を出す [P114]

2 ポストビューアイコン PV を選び、セットボタンを押す

- ポストビュー画面が出ます。

[1秒]：ポストビューを1秒間出します。

[2秒]：ポストビューを2秒間出します。

[OFF]：ポストビューを出しません。

3 目的の設定を選び、セットボタンを押す

- ポストビューを設定しました。

ウインドノイズリダクション機能を設定する

風の強い場所で動画クリップを撮影したり、音声を録音した場合に発生するノイズを軽減する機能(ウインドノイズリダクション機能)のON/OFFを設定します。

1 OPTION MENU を出す [P114]

2 ウインドNRアイコン[]を選び、セットボタンを押す

- ウインドNR画面が出ます。

[ON]：ウインドノイズリダクション機能をONにします。

[OFF]：ウインドノイズリダクション機能をOFFにします。

3 目的の設定を選び、セットボタンを押す

- ウインドノイズリダクション機能を設定しました。

ヒント

- 通常は、ウィンドNRの設定を[OFF]にして使用してください。ノイズがない場所で撮影や録音したとき、不自然な音声になります。

ノイズリダクション機能を設定する

静止画撮影時のノイズを軽減し、クリアな撮影を可能にします。

1 OPTION MENU を出す [P114]

2 ノイズリダクションアイコン を選び、セットボタンを押す

- ノイズリダクション画面が出ます。

[ON]：ノイズを軽減します。

[OFF]：ノイズを軽減しません。

3 目的の設定を選び、セットボタンを押す

- ノイズリダクションの設定ができました。

ヒント

- ノイズリダクション機能は、シャッタースピードが1/4より遅い時に動作します。
- 通常の撮影に比べ、撮影後の画像処理に若干の時間がかかります。

画質を調整する

カメラが撮影する時の画質を調整します。

1 OPTION MENU を出す [P114]

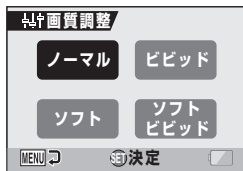
2 画質調整アイコン [icon] を選び、セットボタンを押す

● 画質調整画面が出ます。

[ノーマル]：通常の画質で撮影します。

[ビビッド]：
彩度を上げて撮影します。

[ソフト]：
シャープネスを弱くしてソフトに撮影します。

[ソフトビビッド]：
シャープネスを弱くしてソフトにし、彩度を上げて撮影します。

3 目的の設定を選び、セットボタンを押す

● 画質の調整を設定しました。

フリッカー軽減機能を設定する

フリッカーとは、蛍光灯の下で動画クリップ撮影をしたときに発生する画面のちらつきのことで、このカメラはこのちらつきを抑えるフリッカー軽減機能を搭載しています。この機能は、電源周波数が50Hzの地域のフリッカーに対して効果があります。

1 OPTION MENU を出す [P114]

2 フリッカー軽減アイコン FR を選び、セットボタンを押す

- フリッカー軽減画面が出ます。

[ON]：フリッカー軽減機能をONにします。

[OFF]：フリッカー軽減機能をOFFにします。

3 目的の設定を選び、セットボタンを押す

- フリッカー軽減機能の設定ができました。

- よく晴れた屋外でフリッカー軽減機能を使うと、ハレーション（強い光が当った部分の周囲が白くぼやけて写る現象）を起こす場合があります。

デジタルズームを設定する

撮影時にデジタルズームを使う / 使わないを設定することができます。

1 OPTION MENU を出す [P114]

2 デジタルズームアイコン D⁴⁴⁴ を選び、セットボタンを押す

- デジタルズーム画面が出ます。

[ON]：デジタルズームを使います。

[OFF]：デジタルズームを使いません。

3 目的の設定を選び、セットボタンを押す

- デジタルズームを設定しました。

デジタルズームが使えない？

- 静止画モードを 10M に設定していると、デジタルズームが使えません。

セットボタンに機能を割り当てる

撮影画面表示状態で、セットボタンを上下左右に押した時の機能(ショートカット機能)を割り当てます。

1 OPTION MENU を出す [P114]

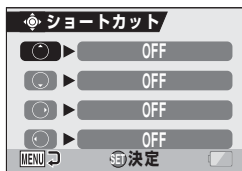
2 ショートカットアイコン [◈] を選び、セットボタンを押す

- ショートカット画面が出ます。

[○]：セットボタンを上に押した時の機能を割り当てます。

[○]：セットボタンを下に押した時の機能を割り当てます。

[○]：セットボタンを右に押した時の機能を割り当てます。

[○]：セットボタンを左に押した時の機能を割り当てます。

3 機能を割り当てるキーを選び、セットボタンを押す

<[○]を選んだ場合>

- キーに割り当てる機能を選ぶ画面が出ます。

[OFF]：ショートカット機能を割り当てません。

[AF🔒 AFロック]：フォーカスをロック[P41]します。

[🌷 フォーカス]：フォーカスレンジを設定します[P74]（○○にのみ割り当て可能)。

[⚡ フラッシュ]：フラッシュ動作を設定します[P68]

[☒ 露出補正]：露出を補正します[P55]

[◷ セルフタイマー]：セルフタイマーを設定します[P70]

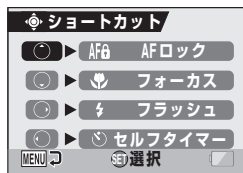
4 セットボタンを上または下側に押す

- キーに割り当てる機能を表示してください。

5 セットボタンを押す

- キーに機能を割り当て、割り当て、ショートカット画面に戻ります。
- 他のキーに機能を割り当てる場合は、操作3〜5を繰り返してください。

<ショートカットの設定を確認するには>

- 操作2の画面で[MENU]ボタンを押すと、ショートカット設定の確認画面が出ます。

モニターの明るさを設定する

カメラのモニターの明るさを設定します。周囲の明るさによって、モニターの表示が見づらい場合は、モニターの明るさを設定してください。

1 OPTION MENU を出す [P114]

2 モニター明るさアイコン ☼ を選び、セットボタンを押す

- モニターの明るさ画面が出ます。

3 セットボタンを右または左側に押して、明るさを設定し、セットボタンを押す

- モニターの明るさを設定しました。

ヒント

- 撮影画面で[MENU]ボタンを約1秒以上押すと、操作2の画面が出てモニターの明るさを設定することができます。

TV方式を設定する

カメラのUSB/AV 端子から出力する映像信号の方式を設定します。

1 OPTION MENU を出す[P114]

2 TV方式アイコン[□]を選び、セットボタンを押す

- TV方式画面が出ます。

[NTSC]：NTSC方式の映像信号を出力します(日本・北米など)。

[PAL]：PAL方式の映像信号を出力します(ヨーロッパなど)。

3 目的の設定を選び、セットボタンを押す

- TV方式を設定しました。

画像がテレビに映らない？

- TV方式の設定が、接続する機器の信号方式に合っていないと、テレビで画像を見ることができません。

[PAL]に設定し、付属の専用AV接続ケーブルを接続[P146]した場合の表示について

撮影する時：モニターにのみ画像が出ます。テレビには画像が出ません。
再生する時：テレビにのみ画像が出ます。モニターには画像が出ません。

パワーセーブ機能を設定する

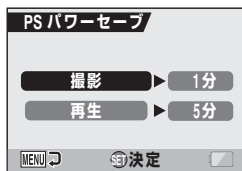
このカメラには、カメラを使用しない時に電池の消耗をおさえたり電源の切り忘れを防ぐため、操作しない状態が続くと自動的に省電力状態になるパワーセーブ機能があります。
パワーセーブ状態になるまでの時間（待機時間）を設定することができます。

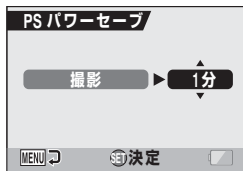
1 OPTION MENU を出す [P114]

2 パワーセーブアイコン PS を選び、セットボタンを押す

- パワーセーブ画面が出ます。

[撮影]：撮影モードでの待機時間を設定します。

[再生]：再生モードでの待機時間を設定します。

3 設定する項目を選び、セットボタンを押す

- 待機時間の設定画面が出ます。

<例：[撮影]を選んだ場合>

4 セットボタンを上または下側に押し、待機時間を設定する

上側に押す： 待機時間が増えます。
下側に押す： 待機時間が減ります。

5 セットボタンを押す

- 待機時間を設定し、パワーセーブ画面に戻ります。

ファイルNo.リセット機能を設定する

初期化したカードを使うと、撮影した画像のファイル名(画像番号)は自動的に 0001 から始まります。再度初期化したり、別の初期化したカードを使うと、ファイル名は再び 0001 から始まります。これはファイル No. リセット機能が入 [ON] になっているためですが、この場合複数のカードに同じファイル名が存在することになり、パソコンに保存する時など、誤って上書きしてしまう可能性があります。ファイル No. リセット機能を切 [OFF] にすると、カードを初期化したり交換しても、ファイル名の番号を継続して付けることができます。

〈ファイルNo.リセット機能　入[ON]〉

	ファイル名(画像番号)
カードA	0001、0002……0012、0013

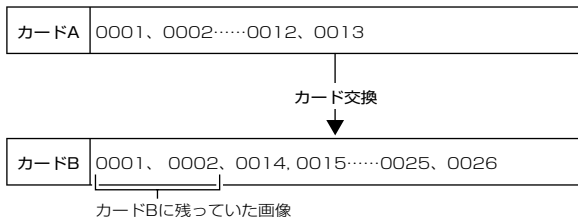
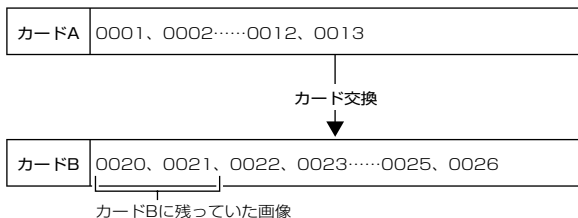
カードB	0001、0002……0012、0013

〈ファイルNo.リセット機能　切[OFF]〉

	ファイル名(画像番号)
カードA	0001、0002……0012、0013

カードB	0014、0015……0025、0026

●交換したカードに画像が残っていた場合、撮影した画像のファイル名は次のようになります。

交換前に撮影した画像番号より小さいファイル名の画像が残っていた：撮影中のファイル名を継続した番号になります。

交換前に撮影した画像番号より大きいファイル名の画像が残っていた：最後のファイル名からの連番になります。

ファイルNo.リセット機能を設定する（つづき）

1 OPTION MENU を出す [P114]

2 ファイル No. リセットアイコン [No.] を選ぶ

3 セットボタンを押す

- ファイルNo.リセット画面が出ます。

[ON]：
ファイルNo.リセット機能をONにします。

[OFF]：
ファイルNo.リセット機能をOFFにします。

4 [OFF] を選び、セットボタンを押す

- ファイルNo.リセット機能を切に設定しました。

- ファイルNo.リセット機能は、ONにするまでファイル名が連番となります。撮影の区切りがついたら、ONに戻すことをおすすめします。

カードをフォーマット（初期化）する

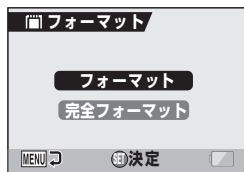
・購入後、初めて使うカード
・パソコンや他のカメラで初期化したカードは、必ずこのカメラで初期化（フォーマット）してからご使用ください。
カードのロックスイッチを「LOCK」の位置にしている場合は、初期化できません。ロックスイッチをロック解除の位置にしてから、初期化をしてください。

1 OPTION MENU を出す [P114]

2 フォーマットアイコン [▦] を選び、セットボタンを押す

- フォーマットの方法を選ぶ画面が出ます。
- 普段の使用で、完全フォーマットをする必要はありません。しかし、通常のフォーマットをしてもカードに関するエラーが出る場合は、完全フォーマットを行ってください。

[フォーマット]：
通常のフォーマットを行います。

[完全フォーマット]：
物理フォーマットを行います（電池残量が少ない場合は、選択できません）。

カードをフォーマット(初期化)する(つづき)

3 フォーマットの方法を選び、セットボタンを押す

- 確認画面が出ます。

4 [はい]を選び、セットボタンを押す

- 初期化が始まります。
- 初期化中は、[フォーマット中　電源を切らないでください]表示が出ます。

注意!

初期化中のご注意

- 初期化中は、カメラの電源を切ったり、カードを取り出したりしないでください。

初期化をすると、データが消えます

- カードを初期化すると、カードに記録したデータは、すべて消えます。プロテクト[P90]したデータも消えますので、初期化をする前に大切なデータはパソコンのハードディスクなどに保存してください。

カードを廃棄／譲渡するときのご注意(初期化をしてもデータが復元できる?)

- カメラやパソコンの機能によるデータの削除やフォーマットをしても、カードの管理情報を変更するだけで、データはカードに残ったままで、完全には消去できません。
- フォーマットを行っても、データを復元するソフトを使うと、カード内のデータを復元できる場合があります。一方、本機で完全フォーマットを行うと、復元ソフトを使ってもデータの復元ができなくなります。
- カードを廃棄または他人に譲渡する場合は、カード本体を物理的に破壊するか、本機で完全フォーマットを実行するか、市販のデータ消去専用ソフトなどを使ってカード内のデータを完全に消去することことをおすすめします。カード内のデータは、お客さまの責任において管理してください。

ヒント

初期化を中止するには

- 操作4で[いいえ]を選び、セットボタンを押してください。

カメラの設定をリセットする

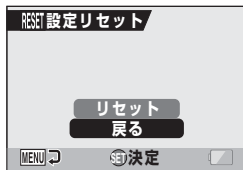
各設定画面で変更した設定を工場出荷時の設定に戻します。

1 OPTION MENU を出す [P114]

2 設定リセットアイコン RESET を選び、セットボタンを押す

- 設定リセット画面が出ます。

[リセット]：カメラの設定を工場出荷時の設定に戻します。

[戻る]：カメラの設定を変えず、オプション画面に戻ります。

3 [リセット] を選び、セットボタンを押す

- カメラの設定を工場出荷時の設定にしました。

- 設定をリセットしても、日付時刻の設定は保持します。

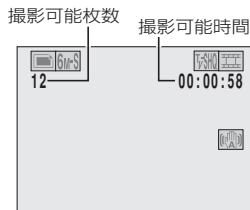
カードの空き容量をチェックする

カードの空き容量は、撮影可能枚数や撮影可能時間、録音可能時間で確認することができます。1 枚のカードに記録できる枚数や時間は、「撮影可能枚数 / 撮影可能時間 / 録音可能時間 [P193]」を参照してください。

撮影可能枚数/時間のチェック

1 電源を入れる [P26]

撮影可能枚数
撮影可能時間
6M-S
12
00:00:58

- モニターの左上に、撮影可能枚数を表示します。
- モニターの右上に、撮影可能時間を表示します。
- 撮影可能枚数や時間表示は、撮影画質の設定に応じて変わります。
- 撮影可能枚数または、撮影可能時間表示が[0]になると、撮影ができなくなります。新たに撮影する場合は、別のカードに取り替えるか、パソコンに画像を保存した後、画像を消去[P92]してください。
- 撮影可能枚数または撮影可能時間表示が[0]になっても、画質を変えると[P63]撮影が可能になる場合があります。

録音可能時間のチェック

1 録音可能状態にする [P50]

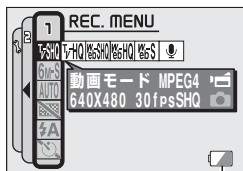
- 録音可能時間が出ます。

電池残量をチェックする

電池を使用している場合は、モニターで電池残量が確認できます。撮影の前には必ずチェックしてください。電池の使用可能時間は 192 ページを参照してください。

1 REC. または PLAY MENU を出す [P57・81]

電池残量表示

- モニターの右下に、電池残量を示すアイコンが出ます。
- 電池の特性により、低温時には表示が早い時点で点灯するなど、電池残量を正しく表示することができません。また、周囲の温度や使用状態などにより表示状態が変わるため、残量表示はおよその目安と考えてください。

電池残量表示	電池の残量
	ほぼいっぱいの容量があります。
	容量が少なくなりました。
	もうすぐ撮影や再生ができなくなります。
	撮影時、静止画撮影または動画撮影ボタンを押している間に点滅すると、撮影はできません。電池を充電してください。

ヒント

- 撮影画像がある場合は、インフォ画面[P113]でも電池残量が確認できます。
- 同じ種類の電池でも、電池の使用可能時間が異なることがあります。
- 電池の消耗は、撮影条件(フラッシュの発光回数、カードの種類)や周囲の温度(10℃以下の低温)によっても変わるため、撮影できる枚数は大きく異なります。
- 旅行や結婚式などの大切な撮影や、寒冷地など電池の消耗が早くなる環境で撮影する場合は、予備の電池を用意されることをおすすめします(スキー場など寒い屋外で使用する場合は、電池をポケットに入れるなどして保温したものをご使用ください)。

パソコンに接続する

カメラで記録したデータの形式やカード内のディレクトリ構造は、以下のとおりです。

外部ドライブとしての使用上の注意

- カメラ内のデータおよびフォルダに変更を加える操作は、行わないでください。カメラがデータを認識できなくなる場合があります。
  変更を加える場合は、パソコンのハードディスクにコピーしたものを使用してください。
- パソコン上でフォーマットしたカードは、カメラでは使用できません。カメラで使用するカードは、カメラ本体でフォーマットを行ってください。

動作環境

Windows

USB ポートを標準搭載し、Windows 2000 または XP 以降をプリインストールしたモデルに対応しています。Windows をアップグレードした環境での動作は、保証しません。

Macintosh

USB ポートを標準搭載し、Mac OS 9.0、9.1、9.2、Mac OS X10.1 以降をプリインストールしたモデルに対応しています。

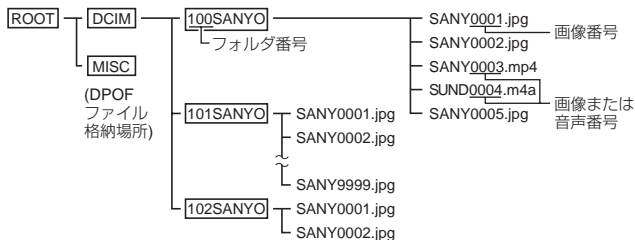
記録データの形式

カードに記録するデータの形式および、ファイル名を付ける規則は以下のようになります。

データの種類	データ形式	ファイル名命名規則
静止画データ	JPEG	SANYで始まる。拡張子は「.jpg」。 SANY****.jpg
動画クリップデータ	MPEG-4	SANYで始まる。拡張子は「.mp4」 SANY****.mp4
音声データ	MPEG-4 Audio（AAC圧縮）	SUNDで始まる。拡張子は「.m4a」。 SUND****.m4a*

*記録した順に続き番号が入る

カードのディレクトリ構造

※100SANYOフォルダ内には、9999枚までのファイルを保存し、さらに撮影/録音すると、新たに101SANYOフォルダを作り、この中に保存します。
フォルダ番号は順次102SANYO、103SANYO･･･となります。

ボリューム名について

- このカメラでフォーマットしたカードの場合は[XACTI CA6]、パソコンなどでフォーマットしたカードの場合は[リムーバブルディスク]になります。

カメラで撮影した動画クリップデータについて

- Apple社のQuickTime 6.3以降を使用して、パソコンで再生することができます。また、その他のISO標準MPEG-4(AACオーディオ)対応ソフトウェアで再生できる場合があります。
  付属のCD-ROM(SANYO Software Pack)にはWindows版のQuickTime 7.0を添付しています。

カメラで録音した音声データについて

- 音声データの拡張子(.m4a)を「.mp4」に変えると、ISO標準MPEG-4(AACオーディオ)対応ソフトウェアで再生できる場合があります。

カード入れ替え時のファイル名について

- ファイルNo.リセット機能を[OFF]に設定すると、カードを入れ替えてもフォルダ番号とファイル名は、前に装着していたカードの続きを付与します[P131]。

パソコンに接続する（つづき）

注意!

カメラで再生する場合はカードのデータをパソコンで書き換えないでください

● カメラで撮影した画像や音声のデータは上記の規則に基づき、ファイル名を付けたり、指定のフォルダに保存をしています。このため、パソコンから直接ファイル名を変更したりすると、画像をカメラで再生できなくなったり、カメラが正常に動作しなくなります。

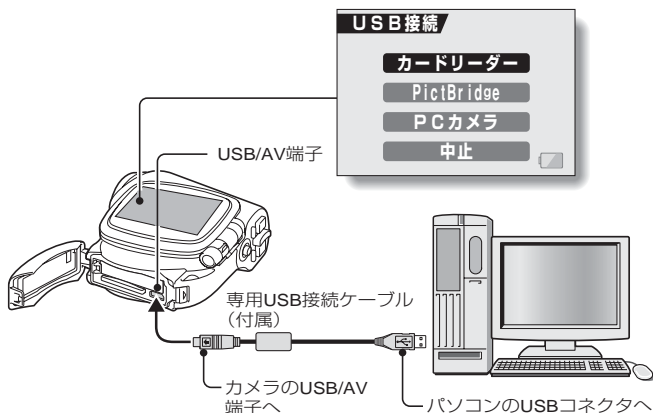
カードリーダーモードにする

1 パソコンを起動し、付属の専用 USB 接続ケーブルでカメラをパソコンに接続する

● カメラのUSB/AV端子とパソコンのUSBコネクタを接続します。

● カメラのモニターにUSB接続画面が出ます。

2 [カードリーダー] を選び、セットボタンを押す

注意!

ケーブルの抜き差しは、ていねいに

- 接続するときは、プラグの向きとコネクタの形状をよく確認し、まっすぐに接続してください。無理に接続すると、端子を破損するおそれがあります。
- ケーブルを強く引っ張ると、ケーブルやコネクタ部を破損するおそれがあります。
- 専用USB接続ケーブルは、パソコンのUSBコネクタに接続してください。モニターやキーボードのUSBコネクタ、USBハブには接続しないでください。ドライバソフトウェアをインストールする時は、特にご注意ください。ドライバソフトウェアが正常にインストールできない場合があります。

Windows XP

カメラの接続

1 カードリーダーモードにする[P141]

- カードをディスクとして認識（マウント）し、[XACTI CA6(E:)]ウィンドウが開きます。
  ※ドライブ名(E:)は、お使いのパソコンの環境によって異なります。

2 Windowsが実行する動作を選ぶ

- [XACTI CA6(E:)]ウィンドウから、目的の操作を選んでください。

カメラの取りはずし

注意！

- カメラの取りはずしは、必ず以下の操作で行ってください。この操作を行わずに取りはずすと、パソコンが誤動作したり、カードのデータが破損する場合があります。

1 [ハードウェアの安全な取り外し]アイコンを左クリックする

- パソコンのUSBコネクタに接続している機器の一覧が出ます。

2 カメラのドライブ(E:)を左クリックする

- カメラを取りはずすことができる状態になります。
  ※ドライブ名(E:)は、お使いのパソコンの環境によって異なります。

Windows MeおよびWindows 2000

カメラの接続

1 カードリーダーモードにする[P141]

- パソコンのモニターにWindowsのCD-ROMの装着を促すメッセージが出た場合は、メッセージに従ってドライバをインストールしてください。
- カメラをドライブとして認識し、[マイコンピュータ]に[XACTI CA6(E:)]アイコンが出ます。
  ※ドライブ名(E:)は、お使いのパソコンの環境によって異なります。
- カメラに装着したカードをドライブとして認識(マウント)します。
- [マイコンピュータ]の[XACTI CA6(E:)]アイコンをダブルクリックすると、他のドライブのメディアと同様、カメラに装着したカード内のファイルを操作することができます。

カメラの取りはずし

注意!

- カメラの取りはずしは、必ず以下の操作で行ってください。この操作を行わずに取りはずすと、パソコンが誤動作したり、カードのデータが破損する場合があります。

1 タスクトレイの[ハードウェアの取り外しまたは取り出し]アイコンを左クリックする

- パソコンのUSBコネクタに接続している機器の一覧が出ます。

2 カメラのドライブ(E:)を左クリックする

※ドライブ名(E:)は、お使いのパソコンの環境によって異なります。
- [ハードウェアの取り外し]ダイアログボックスが出ます。

3 [OK]ボタンをクリックする

- カメラを取りはずすことができる状態になります。

パソコンに接続する(つづき)

Mac OS 9.XX

カメラの接続

1 カードリーダーダーモードにする[P141]

- カメラをドライブとして認識し、デスクトップに[XACTI CA6]アイコンが出ます。
- [XACTI CA6]アイコンをダブルクリックすると、他のドライブのメディアと同様、カメラに装着したカード内のファイルを操作することができます。

カメラの取りはずし

注意!

- カメラの取りはずしは、必ず以下の操作で行ってください。この操作を行わずに取りはずすと、パソコンが誤動作したり、カードのデータが破損する場合があります。

1 デスクトップのカメラを示す[XACTI CA6]アイコンを[ごみ箱]にドラッグアンドドロップする

- デスクトップから[XACTI CA6]アイコンが消えます。
- カメラを取りはずすことができる状態になります。

Mac OS X

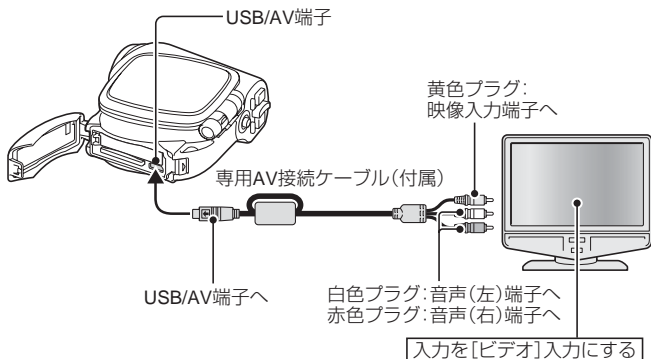
マウント／アンマウントは、Mac OS9.xxの場合と同じ操作で行えます。ただし、カメラの画像を自動認識するようにアプリケーションを設定している場合は、自動認識したアプリケーションが起動します。

注意!

Mac OS XのClassic環境でお使いの場合

- カメラに装着したカード内のデータを直接読み書きすることはできません。データはいったんハードディスクに保存してください。

テレビに接続する

カメラの USB/AV 端子と、テレビの音声・映像入力端子を付属の専用 AV 接続ケーブルで接続します。

再生のしかた

- 接続後、テレビの入力切り替えを[ビデオ]入力にしてください。
- AV接続ケーブルをつないだ時は、カメラのモニターの表示が消えます。
- カメラのモニターでの再生と同じ手順で再生できます。
- 音声を再生する時も、カメラで再生する時と同じ操作で再生できます。

音声の再生:P52

注意!

ケーブルの抜き差しは、ていねいに

- 接続するときは、プラグの向きとコネクタの形状をよく確認し、まっすぐに接続してください。無理に接続すると、端子を破損するおそれがあります。
- ケーブルを強く引っ張ると、ケーブルやコネクタ部を破損するおそれがあります。

ダイレクト印刷をする

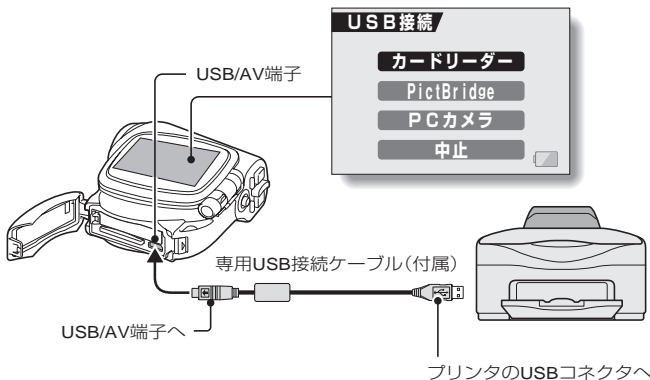
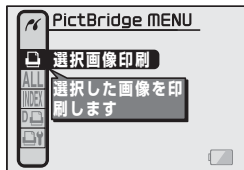
このカメラはPictBridge（ピクトブリッジ）に対応しており、PictBridge対応プリンタに直接接続し、カメラのモニターで写真選択や印刷開始を指定することができます（PictBridge印刷）。

印刷の準備

1 印刷する画像データが入ったカードをカメラに装着する

2 プリンタの電源を入れ、付属の専用USB接続ケーブルでカメラをプリンタに接続する

- カメラのUSB/AV端子とプリンタのUSBコネクタを接続します。
- カメラのモニターにUSB接続画面が出ます。

他の機器との接続 ダイレクト印刷をする

3 [PictBridge] を選んで、セットボタンを押す

- PictBridge MENU（ピクトブリッジ メニュー）が出ます。

注意!

ケーブルの抜き差しは、ていねいに

- 接続するときは、プラグの向きとコネクタの形状をよく確認し、まっすぐに接続してください。無理に接続すると、端子を破損するおそれがあります。
- ケーブルを強く引っ張ると、ケーブルやコネクタ部を破損するおそれがあります。

プリンタ接続時の注意

- 接続している状態でプリンタの電源を切ると、カメラが正常に動作しなくなる場合があります。カメラが正常に動作しなくなった場合は専用USB接続ケーブルを抜き、カメラの電源を切って、再度接続を行ってください。
- PictBridge印刷中は、ボタン操作に対する反応が遅くなります。
- 電池を使って印刷をする場合は、電池残量が十分あることを確認してください。

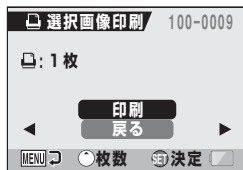
ダイレクト印刷をする(つづき)

1枚の画像を選んで印刷する(選択画像印刷)

静止画を選んで印刷します。

1 印刷の準備をする[P147]

2 選択画像印刷アイコン［🖨］を選び、セットボタンを押す

- 印刷画像の選択画面が出ます。

3 セットボタンを右または左に押す

- 印刷する画像を表示してください。

4 印刷枚数を設定する

❶セットボタンを上側に押して[枚数]を選び、セットボタンを押す
❷セットボタンを上または下側に押して、印刷枚数を設定する
❸セットボタンを押す
- [印刷]を選んだ状態になります。

5 セットボタンを押す

- 印刷を開始します。

印刷を中止するには

❶印刷中にセットボタンを下側に押す
・印刷中止の確認画面が出ます。
❷[はい]を選び、セットボタンを押す
・[戻る]を選んでセットボタンを押すと、印刷を続行します。

すべての画像を印刷する(全画像印刷)

カード内の画像をすべて印刷します。

1 印刷の準備をする[P147]

2 全画像印刷アイコン ALL を選び、セットボタンを押す

- 全画像印刷画面が出ます。

3 [印刷]を選び、セットボタンを押す

- 印刷を開始します。

注意!

静止画が1000枚以上ある場合は印刷できません

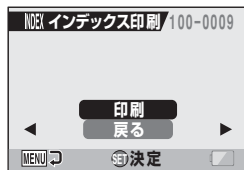
- 不要な画像を消去してから印刷してください。

一覧印刷をする(インデックス印刷)

カード内のすべての静止画を小さく一覧印刷します。

1 印刷の準備をする[P147]

2 インデックス印刷アイコン INDEX を選び、セットボタンを押す

- インデックス印刷画面が出ます。

3 [印刷]を選び、セットボタンを押す

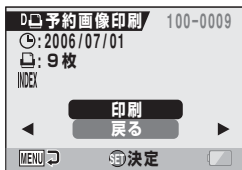
- 印刷を開始します。

プリント予約をした画像を印刷する（予約画像印刷）

プリントの予約をした静止画を印刷します。

1 プリントの予約 [P94] をし、印刷の準備をする [P147]

2 予約画像印刷アイコン [D🖨] を選び、セットボタンを押す

- 予約画像印刷画面が出ます。

3 [印刷]を選び、セットボタンを押す

- 印刷を開始します。
- セットボタンを押してから印刷を開始するまで、約1分ほどかかります。

ヒント

- 操作2で、セットボタンを右または左側に押すと、印刷する画像とプリントの予約内容を確認することができます。

注意!

- DPOFにプリンタが対応していない場合は、予約画像印刷[D🖨]はできません。

印刷設定を変えて印刷する（プリンタ設定変更）

用紙の種類やサイズ、レイアウトや印刷品質などをカメラ側で設定して印刷します。

1 印刷の準備をする[P147]

2 プリンタ設定変更アイコン[アイコン]を選び、セットボタンを押す

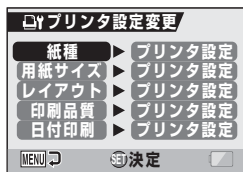
- プリンタ設定変更画面が出ます。

[紙種]：
印刷用紙の紙質を設定します。

[用紙サイズ]：
印刷用紙のサイズを設定します。

[レイアウト]：
印刷用紙への画像の配置を設定します。

[印刷品質]：
印刷画像の美しさを設定します。

[日付印刷]：
撮影年月日を印刷します。

ダイレクト印刷をする（つづき）

3 プリンタの設定をする

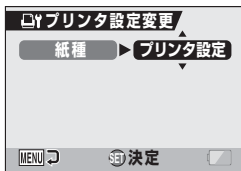
❶セットボタンを上または下側に押して設定する項目を選び、セットボタンを押す

・設定を選ぶ画面が出ます。

❷セットボタンを上または下側に押して設定を選び、セットボタンを押す

・選んだ項目を設定し、プリンタ設定変更画面に戻ります。
・同じ要領で、必要な項目を設定してください。
・各項目で設定できる内容は、プリンタによって異なります。

<[プリンタ設定]を選んだ場合>

・プリンタで設定している条件で印刷します。

<[紙種] を選んだ場合 >

4 [MENU] ボタンを押す

● PictBridge　MENUに戻ります。

ヒント

● プリンタ設定変更画面の設定項目は、接続するプリンタによって異なります。
● プリンタ設定変更画面に出ないプリンタ機能を使う場合は、[プリンタ設定]に設定してください。
● プリンタにない機能をカメラで設定した場合、カメラの印刷設定は自動的に[プリンタ設定]になります。

SANYO Software Packについて

SANYO Software Packには、以下のソフトウェアが入っています。
各ソフトウェアの概要は、158 ページをご覧ください。

- Quick Time 7.0：以降「QuickTime」と表記します。
- Photo Explorer8.5 SE Basic(Windows)/ Photo Explorer for Mac 2.0(Macintosh)：以降「フォトエクスプローラ」と表記します。
- MotionDirector SE 1.1(Windows)：以降「MotionDirector」と表記します。
- Ulead DVD MovieWriter 4.0 SE(Windows)：以降「MovieWriter」と表記します。

※フォトエクスプローラとMovieWriterは、MPEG-4に対応しています。これらのアプリケーションソフトウェアをインストールすると、MPEG-4ファイルを再生することができます。

CD-ROMのディレクトリ構造

SANYO Software Packのディレクトリ構造の概略は、以下のとおりです。

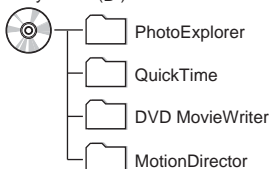
<Windowsの場合>

Sanyo Disc (D:)*

- PhotoExplorer
- QuickTime
- DVD MovieWriter
- MotionDirector

<Macintoshの場合>

Sanyo Disc

- PhotoExplorer

*：ドライブ名(D:)は、お使いのパソコンによって異なります。

動作環境

Windows

<table>
<tr><th>ソフトウェア</th><th>CPU</th><th>メモリー</th><th>ハードディスク</th><th>OS</th></tr>
<tr><td>QuickTime</td><td>Pentium以上</td><td>128MB以上</td><td>11MB以上</td><td>Windows 2000/XP</td></tr>
<tr><td>フォトエクスプローラ</td><td>Pentium Ⅲ 800MHz以上</td><td>256MB以上</td><td rowspan="3">950MB以上（5GB以上を推奨）</td><td rowspan="3">Windows Me/2000/XP</td></tr>
<tr><td>MotionDirector</td><td>Pentium Ⅲ 1GHz 以上</td><td>256MB以上（512MBを推奨）</td></tr>
<tr><td>MovieWriter</td><td>Pentium Ⅲ 800MHz以上</td><td>256MB以上（512MB以上を推奨）</td></tr>
<tr><td>その他</td><td colspan="4">Direct X9.0 以上</td></tr>
</table>

Macintosh

ソフトウェア	CPU	メモリー	ハードディスク	OS
フォトエクスプローラ	Power PC 以降	64MB以上	20MB以上	Mac OS 9.0 以降（CarbonLib 1.4以上）Mac OS X 10.1 以降

アプリケーションソフトウェアのインストール

SANYO Software Packには、以下のアプリケーションソフトウェアが入っています。
それぞれインストールし、お使いいただくことによって、カメラで記録したデータをより幅広く活用することができます。

●QuickTime＊1
動画クリップを再生します。音声も同時に再生できます。
このカメラで撮影した動画クリップを見る場合は、必ずインストールしてください(Windowsの場合）。

●フォトエクスプローラ＊2
カメラで記録したデータをグラフィカルな画面で、分かりやすく管理することができます。

●MovieWriter＊2
ビデオや音楽、写真、データなどパソコンで扱うさまざまなファイルをディスクに書き込む統合ツールです。

●MotionDirector
動画クリップ撮影時の手ぶれを取り除いたり、カメラを横方向に移動しながら撮影した動画クリップから、1枚のパノラマ静止画を作成するソフトウェアです。

*1：QuickTimeは、QuickTime Proにアップグレードできます。QuickTime Proは、QuickTimeムービーの編集などが可能です。QuickTime Proへのアップグレードは、アップルコンピューター･インクのホームページ(http://www.apple.com/jp/quicktime/)で行えます。
*2：フォトエクスプローラまたはMovieWriterをインストールすると、カメラで撮影した動画クリップ(MPEG-4)をWindows Media Playerで再生できます。
アップデートの情報は、下記のホームページで確認してください。
http://www.ulead.co.jp/

Windows

1 CD-ROM(SANYO Software Pack)を CD-ROMドライブにセットする

- しばらくすると、インストール画面が出ます。
- インストール画面が出ない場合は、マイコンピュータにある[Sanyo Disc(D:)]をダブルクリックし、[Sanyo Disc(D:)]ウィンドウの[Autorun]または[Autorun.exe]をダブルクリックしてください。

  ※ドライブ名(D:)は、お使いのコンピュータによって異なります。

2 インストールするアプリケーションソフトウェアの名称をクリックする

- インストール画面に出たアプリケーションソフトウェアの名称をクリックすると、インストールを開始します。
- [もっとムービーを撮ろう]をクリックするとインターネットに接続し、このカメラを楽しんでいただくためのヒントを紹介しているホームページを表示します。
- インストールプログラムは、各アプリケーションソフトウェアが正しくインストールできるよう、あらかじめ設定しています。パソコンに慣れていない方は、各ダイアロクボックスの[次へ]ボタンをクリックすることをお勧めします。
- アプリケーションソフトウェアのユーザー登録に関するダイアログボックスが出た場合は、何も入力せずに[次へ]ボタンをクリックしてください。
- パソコンの再起動を促すメッセージが出た場合は、パソコンを再起動してください。
- 各アプリケーションソフトウェアの詳細設定については、アプリケーションソフトウェアベンダーのホームページ、またはインストール後にオンラインヘルプを参照してください。

QuickTimeについて：
http://www.apple.com/jp/quicktime/

フォトエクスプローラ、MovieWriterについて：
http://www.ulead.co.jp/

3 [終了]をクリックする

Kodakオンラインサービスについて

- インストールが閉じると、Kodakオンラインサービスを紹介するホームページに接続するダイアログが出ます。このホームページを見る場合は[今すぐおすすめ情報を見る]、見ない場合は[あとでおすすめ情報を見る]オプションボタンをONにして、[OK]ボタンをクリックしてください。

Macintosh

フォトエクスプローラのインストール

1 CD-ROM(SANYO Software Pack)をCD-ROMドライブにセットする

- しばらくすると、CD-ROMのウィンドウが開きます。
- CD-ROMのウィンドウが開かない場合は、デスクトップのCD-ROMアイコン[Sanyo Disc]をダブルクリックしてください。

2 インストールする

- [Photo Explorer]フォルダの[Japanese]フォルダにある[Ulead Photo Explorer]フォルダをハードディスクにコピーします。
- コピーが終わったら、インストールは完了です。

ヒント

[Carbon Lib]フォルダについて

- お使いのパソコンのCarbonLibファイル(機能拡張ファイル)のバージョンが1.4未満の場合は、[Carbon Lib]フォルダにあるCarbonLibファイルを機能拡張フォルダにインストールしてください。

フォトエクスプローラの使いかた

カメラのデータをパソコンにコピーするには、マイコンピュータからカメラのドライブを開いて目的のデータをパソコンにコピーする方法と、フォトエクスプローラを使ってコピーする方法があります。ここでは、フォトエクスプローラでカメラのデータをパソコンにコピーする方法を説明します。フォトエクスプローラについての詳しい説明は、フォトエクスプローラのヘルプを参照してください。

環境を設定する

データのコピー元(カメラ内のデータの場所)を設定します。

Windows の場合

1 カメラをカードリーダーモードにする [P141]

- 「Ulead AutoDetector」ダイアログボックスが出ます。
- カメラに装着したカードの内容を示すウィンドウ(XACTI CA6(E:))が開いた場合は、クローズボックスをクリックして閉じてください。

2 「Ulead AutoDetector」ダイアログボックスの「常に選択されたプログラムで開く」チェックボックスを ON にし、[OK] ボタンをクリックする

- 「ファイルのコピー先･･･」ダイアログボックスが出ます。
- 「常に選択されたプログラムで開く」チェックボックスを ON にすると、次回から「Ulead AutoDetector」ダイアログボックスは開きません。

環境を設定する(つづき)

Windows の場合(つづき)

3 「Ulead Photo Explorer を開く」オプションボタンを ON にして [OK] ボタンをクリックする

4 ツールバーの [デジタルカメラウィザード] アイコンをクリックする

- 「デジタルカメラウィザード」ダイアログボックスが出ます。

5 「カメラドライブとカードリーダー」の右にあるドライブ名(A：¥)をクリックする

- 「イメージソースを選択」ダイアログボックスが開きます。

6 「カメラドライブまたはメモリーカードリーダー」オプションボタンを ON にし、「場所」リストボックスのカメラのドライブを選んで [OK] ボタンをクリックする

- 「カメラドライブとカードリーダー」の右側のドライブ名が、操作 6 で指定したドライブに変わります。
- このままカメラに装着したカードのデータを読み込む場合は、[開始]ボタンをクリックしてください。カードのデータは、My Documents¥SANYO_PEXにコピーします。
- 設定だけを行う場合は、[キャンセル]をクリックしてください。
- 「カメラウィザード」ダイアログボックスが閉じます。

フォトエクスプローラの使いかた(つづき)

環境を設定する(つづき)

Macintosh の場合

1 カメラをカードリーダーモードにする [P141]

- デスクトップに[XACTI CA6]アイコンが出ます。

2 フォトエクスプローラをインストールしたフォルダを開き、フォトエクスプローラのプログラムアイコンをダブルクリックする

- フォトエクスプローラが起動します。

3 ツールバーの [デジタルカメラウィザード] アイコンをクリックする

- 「デジタルカメラウィザード」ダイアログボックスが出ます。

4 「カメラフラッシュドライブ」欄のアイコンをクリックする

- 「取り外し可能なドライブを選択する」ダイアログボックスが開きます。

5 パソコンに接続したカメラのドライブ(XACTI CA6)をクリックし、[選択]ボタンをクリックする

- 「カメラフラッシュドライブ」欄のドライブ名が「XACTI CA6」になります。

6 「サブフォルダを作成」チェックボックスを ON にする

- このままカメラに装着したカードのデータを読み込む場合は、[開始]ボタンをクリックしてください。
- 設定だけを行う場合は、[キャンセル]をクリックしてください。

画像データをパソコンにコピーする

カメラに装着したカード内の画像データをパソコンにコピーします。

1 カードリーダーモードにする [P141]

2 フォトエクスプローラを起動する

3 ツールバーの [デジタルカメラウィザード] アイコンをクリックする

- 「デジタルカメラウィザード」ダイアログボックスが開きます。

4 [開始] ボタンをクリックする

- コピーを開始します。
- 以下のフォルダ内に日付と時間名のフォルダを自動的に生成し、その中にデータをコピーします。
  Windowsの場合：¥My Documents¥SANYO_PEX
  Macintoshの場合：Macintosh HD:Ulead Photo Explorer
- コピーが終わったら、コピーの完了を示すダイアログボックスが出ます。

5 コピーが終わったら、[OK] ボタンをクリックする

- コピーしたデータをサムネイルウィンドウに表示します。

フォトエクスプローラの使いかた(つづき)

フォトエクスプローラでできること

フォトエクスプローラは、デジカメ画像からDVカメラのビデオファイル、MP3･WAVなどの音声ファイルまでマルチファイルを視覚的に統合管理できるソフトです。

基本画面

階層表示ウィンドウ

フォルダツリー構造をリストで表示できます。

サムネイルウィンドウ

さまざまなファイル形式データを一度にサムネイルに表示することができます。
フォルダ内の指定した複数のファイル名を一括して変更できます。

プレビューウィンドウ

選択したファイルを表示することができます。
動画クリップ・音声データが再生できます。

スライドショー

画像をいろいろ並べながら、スライド形式で画像を見ることができます。

画像管理や編集ができます

再生機能

画像をフルサイズまたは全画面で表示することができます。
キーボード入力やツールバーボタンのクリック、メニュー選択で、画像の閲覧やスライドショー再生などの操作ができます。

画像管理・編集機能

画像データのコピーや削除、ファイル名の変更ができます。
また、回転やフリップなど、編集したデータを保存することもできます。

画像調整

切り抜きやコントラスト、明るさやカラーバランスなどの調整が簡単にできます。
作成したイメージを壁紙やスクリーンセーバーに利用できます。

豊富なスライドショー機能

スライドショー

静止画と動画クリップが混在したスライドショー再生ができます。
画面が切り替わる時のエフェクトパターン(切替効果)も、数多く用意しています。

動画クリップデータのデータ形式を変換できます

デジタルカメラで撮影した動画クリップ(Quick Time 形式)をAVI 形式や MPEG 形式などに変換することができます。

■フォトエクスプローラのお問い合わせは?

フォトエクスプローラに関するお問い合わせは、「ユーリードシステムズ株式会社」へお願いいたします。
お問い合わせ先は、以下のとおりです。

メールでのお問い合わせURL
http://www.ulead.co.jp/support/inquiry/techsupport.htm

テクニカルサポートページ
http://www5.ulead.co.jp/support/

TEL：045-226-1966
受付時間：月曜日～金曜日(土、日、祝、年末年始を除く)
10:00～12:00、13:00～17:00

<シリアル番号の見かた>
●フォトエクスプローラの[ヘルプ]メニューから[Ulead Photo Explorer バージョン8.5]を選んでください。製品情報を記載したダイアログボックスが出ますので、シリアル番号を確認してください。

PCカメラとして使うには

Windows XP をお使いの場合、カメラをパソコンに接続し、PC カメラとして使うことができます。カメラを PC カメラとして使う場合は、Windows XP SP2 をインストールしてください。
PC カメラ機能は、Windows messenger 5.0 以降または MSN messenger 7.0 以降上で使用できます。

パソコンに接続する前に

以下のアップデートを実行してください。

- WindowsXP を SP2 にする
  WindowsXP SP2 をインストールしてください。
- Windows messenger 5.0 以降をインストールする
  Windows messenger 5.0 以降をダウンロードし、インストールしてください。
- MSN messenger を使う場合は、MSN messenger 7.0 以降をインストールしてください。

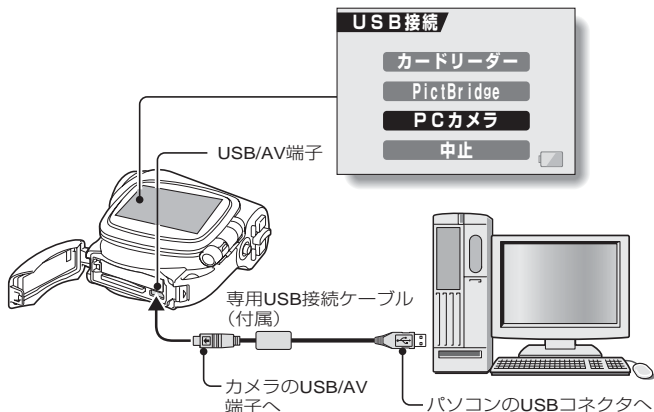
注意!

- PCカメラ機能が使えるのは、Windows　XPをプリインストールしたパソコンのみです。Windows XPにアップグレードした環境での動作は、保証しません。
- PCカメラでは、ズームはできません。また、撮影・配信できるのは画像のみです。音声を記録・配信することはできません。
- PCカメラ時、カメラは1秒間に最大15フレームの撮影ができますが、通信回線の状態やパソコンの処理速度によってはこれを下回る場合があります。

PCカメラとして使うには(つづき)

パソコンにカメラを接続する

1 パソコンを起動し、付属の専用 USB 接続ケーブルでカメラをパソコンに接続する

- カメラのUSB/AV端子とパソコンのUSBコネクタを接続します。
- カメラのモニターにUSB接続画面が出ます。

2 [PC カメラ] を選び、セットボタンを押す

注意!

ケーブルの抜き差しは、ていねいに

- 接続するときは、プラグの向きとコネクタの形状をよく確認し、まっすぐに接続してください。無理に接続すると、端子を破損するおそれがあります。
- ケーブルを強く引っ張ると、ケーブルやコネクタ部を破損するおそれがあります。

[マイコンピュータ]に[USB Video Device]アイコンが出ない場合は

- デバイスドライバのインストールに失敗している可能性があります。[コントロールパネル]の[プリンタとその他のハードウェア]を開き、[スキャナとカメラ]から[USB Video Device]を削除し、デバイスドライバを再度インストールしてください。

MotionDirector（モーション ディレクター）について

MotionDirector は、カメラで撮影した動画クリップの手ぶれを取り除いたり、カメラを横方向に移動しながら撮影した動画クリップから 1 枚のパノラマ静止画を作成するソフトウェアです。
以下にMotionDirectorの概要を紹介しますので、詳しくはMotionDirectorのオンラインヘルプを参照してください。

取り込み

MotionDirectorが読み込めるファイルの形式は
・MOV
・MP4
のいずれかです。
また、それぞれの圧縮コーデックは、以下のとおりです。

形式	動画コーデック	音声コーデック
MOV	Motion JPEG	WAVE
MP4	ISO MPEG-4	AAC

フレームサイズは、VGA(640x480画素)以下です。

書き出し形式と再生

MotionDirectorは、以下の形式でファイルを書き出すことができます。

手ぶれ補正の場合：MPEG-4、MOV
パノラマ合成の場合：JPEG、BMP、TIFF、QuickTimeVR

QuickTime VR形式で保存された画像は、Apple社のQuickTimePlayerを使用することでVR空間画像を見ることができます。

MovieWriterについて

MovieWriter は、ビデオや音楽、写真、データなどパソコンで扱うさまざまなファイルをディスクに書き込む統合ツールです。SANYO Software Pack には、機能をDVDのオーサリングに絞った機能限定版を格納しています。MovieWriter の使用方法については、[プログラム] → [Ulead DVD MovieWriter 4.0 SE for SANYO] → [ユーザーマニュアル] から [DVD MovieWriter ユーザーガイド] を選ぶと表示されるマニュアルを参照してください 。

MovieWriterの主な機能

●ビデオディスクの新規作成

新しくDVDまたはVideo CD形式のディスクを作成することができます。デジタルムービーカメラ、DVカメラ、デジタルカメラ、ビデオテープやテレビ番組などの映像を取り込み、効果をかけたり編集した映像データをディスクに書き込みます。

●スライドショーの作成

デジタルカメラで撮影した静止画などでスライドショーを作成し、DVDやCDディスクに書き込むことができます。写真の整理や管理に最適です。

●ディスクに直接録画

DVカメラやビデオテープ、テレビ番組などを再生しながら直接DVDディスクに書き込むことができます。

●ディスクコピー

ディスクからディスクへ、データをコピーすることができます。DVDディスクをはじめ、音楽CDやMP3ファイルを集めたディスク、データディスクのコピーができます。

注意!

- MovieWriterは、コピーガードやスクランブルなどの著作権保護を施している製品をDVDディスクに録画することはできません。

MovieWriter について(つづき)

その他の便利な機能

●**ディスクイメージから書き込む**
DVDビデオを作製する際に、同じ内容をハードディスクにイメージファイルとして保存することができます。このファイルを使用して、ディスクにデータを書き込みます。

●**ディスクラベルの作成**
DVDやCDディスクに張るラベルを作成することができます。市販のラベル用紙に印刷し、DVDやCDディスクに張ります。

■MovieWriterのお問い合わせは？

MovieWriterに関するお問い合わせは、「ユーリードシステムズ株式会社」へお願いいたします。
お問い合わせの先は、以下のとおりです。

メールでのお問い合わせURL
http://www.ulead.co.jp/support/inquiry/techsupport.htm

テクニカルサポートページ
http://www5.ulead.co.jp/support/

TEL：045-226-1966
受付時間：月曜日～金曜日（土、日、祝、年末年始を除く）
10:00～12:00、13:00～17:00

<シリアル番号の見かた>
MovieWriterの作業メニューから
[Ulead DVD MovieWriter]を選んでください。
製品情報を記載したダイアログが出ますので、シリアル番号を確認してください。

よくある質問

よくあるお問い合わせをまとめました。操作に疑問を感じた時などに、ご覧ください。

	質　問	原　因	このようにしてください
電源	電源が入らない?	寒さで電池の性能が一時的に低下した	電池をポケットなどで温めてから使用してください。
	充電しても、すぐに電池がなくなる?	周囲の温度が低すぎる	周囲の温度を10℃～40℃に保ってください。
	充電が終わらない?	電池の寿命が尽きた	新しい電池に交換してください。それでも充電が終わらない時は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	表示が出る?	電池残量が少なくなった	充電済みの電池に交換してください。
撮影	マルチインジケータが赤色に点滅している?	記録データをカードに書き込んでいる	故障ではありません。マルチインジケータが消灯するのを待ってください。
	フラッシュが光らない?	被写体が明るくて、カメラがフラッシュ発光の必要がないと判断した	故障ではありません。そのまま撮影してください。
	設定した内容は、電源を切っても記憶している?	—	セルフタイマーと露出補正の設定以外は、電源を切っても記憶しています。

	質　問	原　因	このようにしてください
撮影	画像の使用目的に合った画質とは？	—	6M-S 以上：サイズが A4 以上の印刷やトリミング（部分拡大）して印刷する場合に適しています。 2M 3M：通常の写真（サービス版）サイズで印刷する場合に適しています。 0.3M：ホームページに掲載したり、メールに添付して送信する場合に適しています。
	デジタルズームと光学ズームの使い分けは？	—	光学ズームはレンズの光学特性を利用するため、精細感を損なわずに撮影することができます。一方デジタルズームは CCD に写った画像の一部を拡大するため、撮影画像が粗くなる場合があります。
	遠景撮影時のピント外れをなくすには？	—	シーンセレクト機能を風景モード に設定して撮影してください。 または、フォーカスレンジをマニュアルフォーカス MF にして、焦点距離を∞に設定してください。
	屋外で撮影した動画クリップが真っ白になっている？	—	フリッカー軽減の設定を OFF にしてください。

	質　問	原　因	このようにしてください
モニター	寒い所で使用すると、画像が尾を引いて見えることがある？	モニターの性質による現象	故障ではありません。 輝点などはモニターにのみ現れるもので、記録することはありません。
	赤、青、緑などの輝点が点灯したままになることや、小さな黒点が見えることがある？		
再生画像	画像が明るすぎる？	被写体が明るすぎた	撮影時に、カメラの向きを変えるなどの工夫をしてください。
	ピントが合っていない？	フォーカスロックができていない	カメラを正しく構え、静止画撮影ボタンを半分押し、ピントを固定してから、さらに静止画撮影ボタンを静かに押してください。
	画像が出ない([?]表示が出る)？	このカメラ以外のカメラで撮影したカードを使用すると、誤動作することがある	このカメラで撮影したカードを再生してください。
	縦の縞模様が出る？	明るい被写体を動画クリップ撮影した時は、液晶モニターや撮影画像に縦の縞模様(スミア)が発生することがある	故障ではありません。

よくある質問（つづき）

	質　問	原　因	このようにしてください
再生画像	拡大表示した画像が粗い？	機能上、画像が粗くなる	故障ではありません。
	再生画像が粗い？	デジタルズームを使って撮影した	故障ではありません。
	パソコンで加工した画像や音声をカメラで再生したい？	―	パソコンで加工したデータの再生は保証しかねますので、ご了承ください。
	動画再生でモーター音のような音がする	カメラの動作音を録音した	故障ではありません。
テレビでの再生	音声が出ない？	テレビのボリュームが小さくなっている	テレビのボリュームを調整してください。
		カメラの再生音量設定が 0 になっている	カメラの再生音量を上げる。
印刷	PictBridge 印刷中にメッセージが出た？	プリンタの異常	プリンタの取扱説明書を参照してください。
その他	[動画編集できません] 表示が出る	異なる動画モードで撮影した動画クリップをつなぎ合わせようとした	同じ動画モードで撮影した動画クリップを選択してください。
	充電中、テレビやラジオからノイズが出る？	充電器からの電磁波が影響している	テレビやラジオから離れた場所で、充電してください。
	[カード残量がありません] 表示が出る？	カードに空き容量がない	不要なデータを消去するか、空き容量のあるカードを使用してください。

	質　問	原　因	このようにしてください
その他	「カードロックされています」表示が出る？	カードのロックスイッチが「LOCK」(書き込み禁止)の位置になっている	ロックスイッチをロック解除の位置にしてください。
	カメラの操作ができない？	カメラの回路が一時的に異常になった	電池を取りはずしてしばらく放置した後、電池を入れ直してください。
	記録や再生ができないなどの不調が発生する	カードに、このカメラ以外の機器で記録したファイルを格納している	大切なファイルを保存した後、カードをフォーマットしてください。
	海外で使用できる？	—	このカメラは日本国内仕様であり、海外ではアフターサービスも受けられません。ただし、テレビの方式は「PAL」と「NTSC」が切り替え可能です。充電器や電源コードについては、最寄のお客さまご相談窓口にご相談ください。
	[システムエラー]表示が出る？	カメラ内部やカードなどに異常が発生した	下記の項目をそれぞれ確認してください ①カードをカメラから取り出し、再度カードを入れる ②電池を取り出し、再度電池を入れる ③他のカードと交換し、確認する 上記を確認いただいても[システムエラー]表示が出る場合は、お買い上げ販売店にご相談ください。

困った状態になった時

故障かな？と思った時は、以下の項目をご確認ください。

カメラ

	困った状態	原　因	このようにしてください	参照ページ
電源	電源が入らない	電池が消耗している	電池を充電するか、充電済み電池と交換する	21・23
		電池が正しく入っていない	電池の向きに注意し、正しく入れる	
	なにもしていないのに電源が切れた	パワーセーブ機能が働いた	電源を入れる	26
撮影	静止画または動画撮影ボタンを押しても撮影ができない	電源が入っていない	電源を入れる	26
		撮影可能枚数/時間いっぱいに撮影している	カードを交換する	24
			不要な画像を消去してから撮影する	92
	フラッシュが光らない	フラッシュの設定が発光禁止になっている	強制発光または自動発光の設定にする	68
		電池が消耗している	電池を充電するか、充電済み電池と交換する	21・23
	デジタルズームが使えない	静止画モードを 10M に設定している	静止画モードの設定を 6M-H 以下にする	64
		デジタルズームの設定を [OFF] にしている	デジタルズームの設定を [ON] にする	124

	困った状態	原　　因	このようにしてください	参照ページ
撮影	操作音が短い周期でピピピと鳴り、セルフタイマー撮影ができない	電池が消耗している	電池を充電するか、充電済み電池と交換する	21・23
	ズームを操作した時、ズーム動作が一瞬止まることがある	光学ズームが最大倍率になった	故障ではありません ズームスイッチをはなし、再度押す	54
	撮影画像にノイズが出る	ISO感度が高すぎる	ISO感度を低く設定する	78
	蛍光灯照明の下での動画クリップ撮影時、撮影画像に激しいフリッカー(画面のちらつき)が発生する	シャッタースピードが速くなるための現象	ISO 感度の設定を 400 以外にする	78
モニター	再生画像が出ない	再生モードになっていない	[REC/PLAY] ボタンを押して、再生モードにする	39・44・52

困った状態になった時(つづき)

	困った状態	原　　　因	このようにしてください	参照ページ
再生画像	画像が暗い	フラッシュを指などで覆っていた	カメラを正しく構え、フラッシュに指などがかからないようにする	34
		被写体が遠くにあった	フラッシュ撮影可能範囲内で撮影する	191
		逆光で撮影した	フラッシュを強制発光に設定して撮影する	68
			露出補正をする	55
			スポット測光をする	77
		光量が不足していた	ISO 感度を設定する	78
	動画クリップ画像がちらつく	蛍光灯の下で撮影した	フリッカー軽減の設定をする	123
	画像が明るすぎる	フラッシュを強制発光に設定していた	強制発光以外のフラッシュモードにする	68
		被写体が明るすぎた	露出補正をする	55
		ISO感度の設定が正しくない	ISO感度の設定を ISO-A にする	78
	赤目補正ができない	赤目現象部分を認識できなかった	故障ではありません。	102

	困った状態	原　　因	このようにしてください	参照ページ
再生画像	ピントが合っていない	被写体との距離が近すぎる	撮影可能な範囲で撮影する フォーカスを正しく設定する	74
		フォーカスの設定が正しくない		
		静止画撮影ボタンを押すときにカメラが動いた(手ぶれ)	カメラを正しく構え、静止画撮影ボタンを半分押し、ピントを固定してから、さらに静止画撮影ボタンを静かに押す	34・42
		フォーカスロックができていない		
		レンズが汚れていた	レンズをきれいにする	—
	室内で撮影した画像の色がおかしい	照明の影響を受けている	フラッシュを強制発光に設定して撮影する	68
		ホワイトバランスの設定が正しくない	ホワイトバランスの設定を正しくする	79
	画像の一部が欠けている	レンズに指やグリップベルトなどがかかっていた	カメラを正しく構え、レンズに指やグリップベルトなどがかからないようにする	34
	[画像がありません]表示が出る	装着しているカードにデータがない	撮影または録音してから再生する	—
	音声が出ない	カメラの再生音量設定が小さくなっている	再生音量を調節する	89

困った状態になった時(つづき)

	困った状態	原　因	このようにしてください	参照ページ
テレビでの再生	画像の色が出ない 画像が乱れる	TV 方式の設定が違っている	TV 方式を正しく設定する	128
	画像・音声が出ない	カメラとテレビの接続がまちがっている	正しく接続する	146
		テレビの入力が[テレビ]になっている	テレビの入力を[ビデオ]にする	
	音声が出ない	カメラの再生音量設定が小さくなっている	再生音量を調節する	89
	画像の端が切れる	テレビの特性による	故障ではありません	—
画像編集	画像の加工や回転ができない	画像にプロテクトを設定している	プロテクトを解除してください。	90

	困った状態	原　　因	このようにしてください	参照ページ
その他	[カードを入れてください] 表示が出る	カードを装着していない	電源を切ってから、カードを装着する	24
	[プロテクトされています] 表示が出て、データを消去できない	消去しようとしているデータにプロテクトを設定している	プロテクトを解除する	90
	音声ガイドが出ない	[音声ガイド] を [OFF] にしている	[ON] にする	117
	「撮影可能枚数 / 撮影可能時間 / 録音可能時間 [P193]」に記載の記録ができない	記録容量が、カードに表示している数値より少ない	カードの仕様によっては、カードに表示している記録容量を持たない場合があります。詳しくは、カードの説明書をご覧ください。	193

シーンセレクト機能およびフィルター機能設定時の制限事項

シーンセレクト機能の制限事項

設定	注意点
スポーツ	フォーカスレンジ：[マクロ] は設定できません。
ポートレート	
風景	
夜景	
スノー＆ビーチ	
花火	フォーカスレンジ：[風景] に固定です。 フラッシュ：[発光禁止] に固定です。
ランプ	静止画モード：0.3M に固定です。 フラッシュ：[発光禁止] に固定です。 フォーカスレンジ：[マクロ] は設定できません 。 ISO 感度：ISO-A に固定です。 ノイズリダクション：[OFF] に固定です。

フィルター機能の制限事項

設定	注意点
コスメ	フォーカスレンジ： は設定できません 。
モノクロ	静止画モード：10M は設定できません 。 フォーカスレンジ： は設定できません 。
セピア	

シーンセレクト機能とフォーカスレンジ設定について

- フォーカスレンジを に設定すると、シーンセレクト機能はAUTOになります。
- フォーカスレンジを またはMFに設定しても、シーンセレクト機能をAUTO以外に設定すると、フォーカスレンジの設定は になります。
- に設定すると、フォーカスレンジの設定は になります。

仕　様

カメラの仕様

形式	デジタルムービーカメラ(記録・再生型)
記録画像ファイルフォーマット	**静止画像**：JPEG 形式 (DCF、DPOF、Exif Ver2.2 準拠) (注)DCF は(社)電子情報技術産業協会(JEITA)で主として、DSC 等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。ただし、「DCF 規格」は、機器間の完全な互換性を保証するものではありません。 **動画クリップ**：ISO 標準 MPEG-4 フォーマット準拠 **音声**：MPEG-4 オーディオ(AAC 圧縮)48kHz サンプリング、16 ビット、ステレオ
記録媒体	SDメモリーカード(4GB SDHC メモリーカードに対応)
カメラ部有効画素数	約 600 万画素
撮像素子	1/2.5 型 CCD、総画素数:約 637 万画素、インターレーススキャン、原色カラーフィルター
静止画撮影モード(記録画素数)	10M：3,680 × 2,760 ピクセル 6M-H：2,816 × 2,112 ピクセル(低圧縮) 6M-S：2,816 × 2,112 ピクセル(標準圧縮) 3M▯：1,536 × 2,048 ピクセル(縦位置) 2M：1,600 × 1,200 ピクセル 0.3M：640 × 480 ピクセル
動画クリップ撮影モード(記録画素数・フレームレート・ビットレート)	TV-SHQ：640 × 480 ピクセル 30fps　3Mbps TV-HQ：640 × 480 ピクセル 30fps　2Mbps Web-SHQ：320 × 240 ピクセル 30fps　640kbps Web-HQ：320 × 240 ピクセル 15fps　384kbps Web-S：176 × 144 ピクセル 15fps　256kbps ※このカメラの30fpsは 29.97fps、15fpsは 14.985fps です。
ホワイトバランス	フルオート TTL、マニュアル設定可能

レンズ	光学 5.0 倍 ズームレンズ	f = 6.3mm ~ 31.7mm (35mm フィルムカメラ換算 f = 38mm ~ 190mm) オートフォーカス、9 群 12 枚 (非球面 3 枚 5 面使用) ガルバノメータ方式絞り機構 ND フィルター内蔵
絞り	開放F=3.5(Wide)~4.7(Tele) 最小F=8.0(Wide)~10.7(Tele)	
露出制御方式	プログラムAE 露出補正機能あり(0±1.8EV 0.3EVステップ)	
測光方式	多分割測光、中央重点測光、スポット測光	
撮影範囲	全域モード:10cm ~∞(Wide 端) :80cm ~∞(Tele 端) 標準モード:80cm ~∞ スーパーマクロモード:1cm~80cm(Wide端のみ)	
デジタルズーム	撮影時:1~約12倍 再生時:1~約57.5倍(解像度により異なる)	
シャッタースピード	静止画撮影モード:1/2~1/2,000秒 (最長約4秒:シーンセレクト機能ランプ時) (フラッシュ発光時:1/30~1/2,000秒) 動画クリップ撮影モード:1/30~1/10,000秒	
感度	静止画撮影モード: オート(ISO50~200相当)/ISO50、100、200、400相当(REC. MENUによる切り替え) (最大ISO感度3,600相当まで増感:シーンセレクト機能ランプ時) 動画クリップ撮影モード: オート(ISO450~3,600相当)/ISO450、900、1,800、3,600相当(REC. MENUによる切り替え)	
手ぶれ補正	電子式(動画クリップ撮影モードのみ)	

仕　様（つづき）

<table>
<tr><td>モニター</td><td colspan="2">2.0 型アモルファスシリコン TFT カラー液晶透過型
約 8.6 万画素（視野率約 100%）</td></tr>
<tr><td>フラッシュ撮影範囲</td><td colspan="2">GN=3 ｛約10cm〜1.2m（Wide）
約80cm〜90cm（Tele）</td></tr>
<tr><td>フラッシュモード</td><td colspan="2">自動発光、強制発光、発光禁止</td></tr>
<tr><td>フォーカス</td><td colspan="2">TTL方式AF（5点測距AF：静止画撮影モード・コンティニアスAF：動画クリップ撮影モード）・マニュアルフォーカス</td></tr>
<tr><td>セルフタイマー</td><td colspan="2">作動時間：約2秒/10秒</td></tr>
<tr><td rowspan="2">使用環境</td><td>温度</td><td>0〜40℃（動作時）、
−20〜60℃（保管時）</td></tr>
<tr><td>湿度</td><td>30〜90%（動作時、非結露）
10〜90%（保管時、非結露）</td></tr>
<tr><td>防水機能</td><td colspan="2">JIS 保護等級 4 相当（当社試験方法による）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">電源</td><td>電池</td><td>リチウムイオン電池
（DB-L20：付属）×1本</td></tr>
<tr><td>ACアダプター
（別売）</td><td>VAR-G8
DC アダプター VAR-A2（別売）使用</td></tr>
<tr><td>消費電力</td><td colspan="2">3.1W（リチウムイオン電池使用・記録時）</td></tr>
<tr><td>大きさ（突起部含まず）</td><td colspan="2">77（幅）×100（高さ）× 36（奥行き）mm（最大寸法）
容積：約 163cc</td></tr>
<tr><td>質量</td><td colspan="2">約 155g（本体のみ（電池・カード別））</td></tr>
</table>

カメラ各端子の仕様

USB/AV（通信 / 音声・映像出力）端子	専用ジャック	
	音声出力	265mVrms（− 9dBs）・12kΩ以下・ステレオ
	映像出力	1.0Vp-p・75 Ω不平衡・同期負・コンポジットビデオ 日米標準 NTSC カラー TV 方式 /PAL カラー TV 方式（OPTION MENU による切り替え）
	USB	USB 2.0 High-Speed

電池寿命

撮影時	静止画撮影モード	170枚：CIPA 規格によります（東芝製128MB SDメモリーカード使用時）
	動画クリップ撮影モード	80分：TV-SHQモード（640×480ピクセル、30fps）で撮影した場合
再生時		200 分：モニターを点灯し、連続して再生した場合

- 十分に充電した付属の電池を使い、常温（25℃）で当社測定条件のもと、電池が切れるまでのおおよその値です。
- 電池の状態や測定条件により、使用可能時間が変わります。特に10℃以下の低温状態で使用したときは、電池の特性により使用可能時間が極端に短くなります。

撮影可能枚数/撮影可能時間/録音可能時間

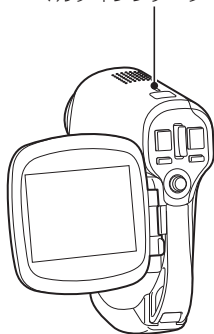
市販品のSDメモリーカード（512MB、2GB、4GB）を使用した場合の撮影可能枚数と撮影可能時間は以下のとおりです。

撮影/録音モード設定	画質設定	SDメモリーカードの種類		
		512MB使用時	2GB使用時	4GB使用時
静止画撮影モード	10M	151枚	596枚	1,190枚
	6M-H	171枚	674枚	1,340枚
	6M-S	257枚	1,010枚	2,030枚
	3M	483枚	1,870枚	3,760枚
	2M	766枚	2,950枚	5,900枚
	0.3M	3,920枚	15,500枚	31,000枚
動画クリップ撮影モード	TV SHQ	20分59秒	1時間22分	2時間45分
	TV HQ	30分34秒	2時間	4時間
	Web SHQ	1時間20分	5時間17分	10時間36分
	Web HQ	1時間56分	7時間39分	15時間18分
	Web S	2時間29分	9時間50分	18時間3分
音声記録モード	（マイク）	8時間32分	33時間40分	67時間24分

- Web SHQの連続撮影時間は、最大5時間30分です。また、Web HQとWeb Sの連続撮影時間は、最大7時間です。
- 音声の連続記録時間は、最大13時間です。
- 2GB、4GBはSandisk製SDメモリーカードを使用した値です。
- 同じ容量のカードでも、メーカーや種類、撮影条件が違うと撮影枚数など数値が異なることがあります。
- 連続撮影（録音）時間は、カードの種類・容量・性能などによって、異なります。

マルチインジケータについて

カメラのマルチインジケータは、さまざまな動作状態によって点灯、点滅、消灯します。

色	点灯/点滅状態		状態
緑	点灯		パソコン/プリンタ（USB）接続状態
	点滅		パワーセーブ中
赤	点滅	遅い	セルフタイマー撮影中
		速い	データアクセス中
オレンジ	点灯		テレビ/ビデオ（AV）接続状態

仕　様（つづき）

付属の充電器の仕様

品番		VAR-L20N
電源		AC100-240V・50/60Hz、10VA
定格出力		DC4.2V、650mA
適合電池		付属または別売のリチウムイオン電池(DB-L20)
使用環境	温度	0～40℃(充電時)、－20～60℃(保管時)
	湿度	10～90%(非結露)
大きさ		46(幅)×21.2(高さ)×92(奥行き)mm
質量		約55g

付属のリチウムイオン電池の仕様

品番		DB-L20
電圧		3.7V
定格出力		720mAh
使用環境	温度	0～40℃(機器使用時・充電時) －10～30℃(保管時)
	湿度	10～90%(非結露)
大きさ		39.4(幅)×6.0(高さ)×35.5(奥行き)mm
質量		約19g

その他

電波障害自主規制について

- この製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用すると、受信障害を引き起こすことがあります。
- 取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本機の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCIルールの限界値を超えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

ご注意

- この説明書の内容の一部、または全部を無断転載することは固くお断りします。
- この説明書に掲載している写真やイラストは、説明のため実物と多少異なりますが、ご了承ください。また内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本製品は日本国外では販売せず、保証書は日本国内でのみ有効です。
- 付属品は、日本仕様です。
- 本製品がお客さまにより不適当に使用されたり、この説明書の内容に従わずに取り扱われたり、または当社および当社指定外の第三者により、修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 当社純正品および、当社品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、修理その他の理由により生じたデータの消失による、損害および逸失利益等に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 運用した結果の影響については、上項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品で撮影した画像の質は、フィルム式カメラの写真の質とは異なります。

CD-ROM の使用許諾について

・本CD-ROMを無断で複製することはできません。
・本CD-ROMに収納されているソフトウェアのインストールにあたっては、インストール時に表示されるソフトウェアの使用許諾契約内容を確認の上、同意された内容において使用することができます。
・本CD-ROMで紹介する他社製品およびサービス内容につきましては、供給メーカーにお問い合わせください。

Macintosh、QuickTimeは米国Apple Computer, Inc.の商標または登録商標です。
MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
IntelおよびPentiumは、米国インテル社の登録商標です。
その他の社名、および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

本文中では、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system日本語版、Microsoft® Windows® 2000 operating system日本語版、 Microsoft® Windows® XP operating system日本語版を単にWindowsと表記しています。

ソフトウェア Red Eye by FotoNation™ 2003-2005 は、FotoNation®社の商標です。

Red Eye software© 2003-2005 FotoNation In Camera Red Eyeは、米国特許(No. 6,407,777)および申請中特許を使用しています。

その他の社名、および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

索　引（50音順）

名称・用語

あ行

か行

さ行

た行

は行

ま行

や行

ら行

索　引（50音順）（つづき）

操作

あ行

か行

さ行

付録

索引

た行

は行

ま行

ら行

用語集

あ

赤目
目の血管にフラッシュの光が反射して、瞳孔部分が赤く写ってしまう現象。夜の屋外などの暗い場所で、目の瞳孔が開いているときに生じやすい。

か

解像度
ある一定の範囲内に点または線が何個あるかを示すことによって、その画像のキメの細かさを表す尺度。たとえば、dpi（ドット・パー・インチ）という場合は、1インチ平方内に含まれるドットの数を表す。

光学ズーム
従来は単に「ズーム」といっていたが、デジタルカメラの普及でデジタルズームと区別するために使う。実際にレンズを動かして焦点距離を変えることで、レンズに入った光がCCDに像を結ぶまでの距離が変わる。レンズの焦点距離を短くすると広い範囲が写り広角となり、焦点距離を長くすると写る範囲が狭くなるが遠くのものが大きく写り、望遠となる。
参照：焦点距離

さ

絞り
目の瞳のようにレンズの開口部を大小調節し、光の量を制限する機構。絞りによって調整される値を「絞り値」または「F値」といい、「F1、F1.4、F2、F2.8、F4……」と表記される。この数値を大きくすることを「絞る」、小さくすることを「開ける」という。絞りの数値が大きくなると、それだけCCDに当たる光の量が少なくなる。

シャッタースピード（シャッター速度）
時間によってCCDに当たる光の量を制限する機構。メカニカルシャッター搭載機の場合は、機械的な遮断幕を使い、電子シャッター搭載機の場合は、CCDのON/OFFによって時間を制御する。 シャッタースピードを速くすると、それだけCCDに光が当たる時間が短くなる。

焦点距離
レンズの中心点からレンズが像を結ぶ点（焦点）までの距離をmmで表したもの。同じ位置から撮影する場合、この数値が長いほど被写体は大きく写り（望遠）、短いほど小さく写る（広角）。なお、同一の焦点距離であっても、CCDのサイズが異なれば、画面に写る範囲は違ってくる。そのため、デジタルカメラの場合は35mmフィルムの焦点距離に換算して表記する。

シーンセレクトショット
スポーツモード、ポートレートモード、夜景ポートレートモードなど、撮りたいシーンに合わせてモードを選ぶだけで、絞りやシャッタースピードを自動で設定できる機能。カメラに詳しくなくとも、簡単に綺麗な写真が撮れる。例えば、スポーツモードは高速シャッターをきりたいとき、ポートレートモードは（ぼけを引き出すために）できるだけ開放F値に近い絞り値で撮影したいときに使う。

スポット測光
画面内の狭い一部分だけを測光する方式。画像の特定の部分に正確な露出が必要な場合に適している。舞台照明（スポットライトを浴びている人物の撮影）や逆光での撮影など、主要被写体と背景との間に大きな明るさの差がある場合に役立つ。

スミア
太陽などの強い光源を画面中に入れて撮影した場合に発生する光の筋で、

CCDを使用する機器で起こる現象(強い光源を撮影したときに、垂直転送路に電荷が流れ込んで発生する)。

スローシンクロ
低速シャッターを使いながら、同時にストロボを発光させること。通常のストロボ発光モードの場合は、手ブレの生じにくいシャッタースピードに自動設定される。ところが、スローシンクロモードの場合は、その自動設定が解除され、低速シャッターを使うことができるので、意図的にブレを表現したり、ストロボ光の届かない背景まで明るく写し出すことができる。

た

デジタルズーム
撮影時に画像の1部分を切り取って拡大し、望遠レンズを使ったようにみせる機能。この場合、焦点距離を変える通常の光学式ズームに比べて画質は劣る。デジタルズームが登場したため、レンズを動かして実際の焦点距離を変えるズームを「光学ズーム」と呼んで区別するようになった。

テレ
望遠のこと。ズームレンズの望遠側、つまり焦点距離の長い側を指す。

な

ノイズ
撮影時に入るゴミのようなドットのこと。画像を拡大すると分かるが、本来ないはずの色が、ドット単位で点在する。発生原因はいくつかあるが、CCDはシャッター速度が一定以上遅くなるとノイズが増加する傾向にある。

ノイズリダクション
撮影時に入るノイズを取り除くこと。パソコン上でソフトを使って行うことができる。撮影時(主にスローシャッター時)にノイズリダクションを行えるデジタルカメラもある。

は

被写界深度
ピントが合っているように見える範囲。レンズはCCD上に面として被写体を結像させるが、ピントを合わせた面の前後の範囲内もピントが合っているように見える。この範囲のことを指す。なお、被写界深度は、レンズの焦点距離が長いほど浅く(ピントのあう範囲が狭く)、短いほど深い(ピントのあう範囲が広い)。また、絞りを開けるほど浅くなり、絞るほど深くなる。

フラッシュ
シャッターと同時に瞬間的な光を発する照明装置。ストロボやスピードライトともいう。デジタルカメラに内蔵されたフラッシュは自動調光式なので、最適な露光値になるように瞬間的に発光量を制御するセンサーが搭載されている。

ホワイトバランス設定
様々な光源の下で白い色を決めること。また、さまざまな色温度を持った光源下で白い被写体を白く写すための機能。白はすべての色の基準となるので、白を決めれば自然な色合いで撮影することができる。人間の眼には高性能のホワイトバランス機能があるので普段意識することはないが、CCDやフィルムでは、電球下では赤く写ったり、蛍光灯下では緑色に写る(色の補正がされない)。機種によってオート・固定・マニュアルの違いはあるが、デジタルカメラやビデオカメラには必ず搭載されている。

ら

露出
CCDに光を当てること。もしくは、その量を示す。光を当てすぎると写真が白く(明るくなり過ぎに)なり、少ないと写真が黒く(暗くなり過ぎに)なる。白くなり過ぎる場合はオーバー(露出オーバー)と呼び、黒くなり過ぎる場合はアンダー(露出アンダー)と呼ぶ。

露出補正
カメラに内蔵された露出計は、その被写体状況を十分に判断できないことがままある。特に白い被写体や黒い被写体は、アンダーやオーバーになりやすい。そこで、カメラの判断した露出に対して、より明るく、または暗く写るように補正を加えること。また、意図的に明るく写したり、暗く写したりする場合にも使用する。

A

AE
「Auto Exposure(自動露出)」の略。被写体の明るさをカメラが判断して、自動的に露出を決めてくれる機能のこと。大別すると、プログラムAE、絞り優先AE、シャッタースピード優先AEの3タイプがある。 プログラムAEでは、状況に合わせて最適な絞りとシャッタースピードの組み合わせをカメラが自動的に判断してくれる。

C

CCD
「Charge Coupled Device」の略。レンズから入った光を感じて電気信号に変換するセンサーのこと。画像を取り込む、銀塩カメラでいうフィルムに相当する部分。トンボの複眼のように小さな目が並んでおり、その数が画素数(総画素数)となる。そこから出力される情報のうち、静止画データとして有効に反映される画素の数を「有効画素数」と呼ぶ。CCDを日本語で「電荷結合素子」ともいう。

E

EV
「Exposure Value」の略。露光量を表す単位で、絞り値F1.0でシャッタースピード1秒の露光量を「EV0」と定め、そこから絞り値またはシャッタースピードが1段上がるごとに「EV1、2、3･･･」と増えていく。

F

F値
絞りの数値。カタログのスペックを見る場合、大文字の「F」の場合はレンズの明るさ（開放絞り値）を表し、数値が小さいほど暗い場所でも比較的速いシャッタースピードを使うことができる。小文字の「f」の場合はレンズの焦点距離を表す。

fps
「Frame Per Second」の略。1秒間に何枚の画像を表示しているかを示しており、動画のなめらかさを表す。

I

ISO感度
フィルムの光に対する敏感さを数値化したもので、最適な再現をするために必要な露光量の目安数値にもなる。ISOとは国際標準化機構のこと。デジタルカメラの場合はこのような基準がないため

「ISO100相当」のように目安として数値が大きいほど、暗い場所での撮影に強いことを示す。

J

JPEG

画像を効率よく圧縮アルゴリズムを使った画像ファイル形式を指す。容量を小さくできるので多くのデジタルカメラに使われている。非可逆圧縮なので、圧縮率を高くすればするほど元画像クオリティは損なわれてノイズが生じる。

P

PictBridge(ピクトブリッジ)

デジタルカメラとプリンタを直接つないで印刷するための業界標準規格。CIPA(カメラ映像機器工業会)によって策定された。デジタルカメラと対応プリンターを付属のケーブルで接続するだけで、パソコンを介さず直接写真のプリント指示ができる。メーカーが違っても、双方がPictBridge対応ならばUSBケーブルで接続して印刷可能。カメラの液晶モニターでプリントしたい写真を選ぶことができ、プリントメニューも表示される。

お客さまご相談窓口

■まずはお買い上げの販売店へ…

家電製品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げの販売店へお申し出ください。

転居や贈答品でお困りの場合は、下記の相談窓口にお問い合わせください。

家電製品についての全般的なご相談　三洋電機(株)お客さまセンター

受付時間：9：00〜18：30(365日)

総合相談窓口　☎ **050−3116−3434**

※上記番号をご利用できない場合は ☎ **大阪(06)−6994−9570** におかけください。

※郵便またはFAXでご相談される場合

三洋電機(株)お客さまセンター

〒570-8677　大阪府守口市京阪本通2―5―5

FAX：大阪(06)6994―9510

修理サービスについてのご相談　三洋コンシューママーケティング(株)

受付時間：月曜日〜金曜日　9：00〜18：30

土曜・日曜・祝日　9：00〜17：30

修理相談窓口

◆東コールセンター

地区	都市	電話番号
関東・甲信越地区	東京	☎ 050−3116−2222 ☎ 東京(03)5302−3401
	福島	
	新潟	
	長野	
北海道地区	札幌	☎ 050−3116−2333
東北地区	宮城	☎ 050−3116−2444

◆ 西コールセンター

地区	拠点	電話番号
近畿・北陸・四国地区	大　阪	☎ 050−3116−2555 ☎ 大阪(06)4250−8400
	金　沢	
	高　松	
中部地区	名古屋	☎ 050−3116−2666
中国地区	広　島	☎ 050−3116−2777
九州地区	福　岡	☎ 050−3116−2888

地区	拠点	電話番号
沖縄地区	沖　縄	☎ 098−9444−5018

受付時間：月曜日～土曜日　9:00～12:00、13:00～17:30
（日曜、祝日および当社休日を除く）

持込み修理および部品についてのご相談　三洋コンシューママーケティング(株)

受付時間：月曜日～土曜日　9：00～17：30(日曜、祝日を除く)

持込み修理および部品については、各地区サービスセンターで承っております。

☆上記のお客さまご相談窓口の名称、電話番号は変更することがありますのでご了承ください。

お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き第三者への開示は行いません。

<利用目的>

- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品･サービスに関わるご相談･お問合せおよび修理の対応のみを目的として用います。
  なお、この目的のために三洋電機(株)および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

<業務委託の場合>

- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせると共に、適切な管理･監督をいたします。

個人情報のお取扱いについての詳細
ホームページ http://www.sanyo.co.jpをご覧ください。

お客さまご相談窓口（つづき）

北海道地区

北海道

札　幌　☎(011)831−9201
〒003-0013　札幌市白石区中央三条4−1−36

函　館　☎(0138)48−8301
〒041-0824　函館市西桔梗町 589−295

苫小牧　☎(0144)57−8707
〒059-1364　苫小牧市沼ノ端230−1034

旭　川　☎(0166)22−2421
〒070-0073　旭川市曙北三条7−3−3

北　見　☎(0157)23−4871
〒090-0037　北見市山下町4−7−14

釧　路　☎(0154)22−1576
〒085-0035　釧路市共栄大通3丁目1番6号青木ビル

東北地区

宮城県

仙　台　☎(022)287−8351
〒984-0032　仙台市若林区荒井字丑ノ頭43−1

青森県

青　森　☎(017)729−3401
〒030-0141　青森市大字上野字山辺29−5

八　戸　☎(0178)28−9225
〒039-1121　八戸市卸センター1−6−7

岩手県

盛　岡　☎(019)623−1600
〒020-0824　盛岡市東安庭2−12−1

水　沢　☎(0197)23−6621
〒023-0003　奥州市水沢区佐倉河字羽黒田45

山形県

山　形　☎(023)641−1769
〒990-2331　山形市飯田西4−5−35

酒　田　☎(0234)23−3817
〒998-0842　酒田市亀ケ崎6−7−16

東北地区

秋田県

秋　田　☎(018)862−6551
〒011-0901　秋田市寺内イサノ93−1

福島県

郡　山　☎(024)945−6793
〒963-0107　郡山市安積3−120

関東・甲信越地区

埼玉県

さいたま　☎(048)778-3095
〒362-0025　上尾市上尾下780−1

坂　戸　☎(049)284−8900
〒350-0214　坂戸市千代田5−3−17

栃木県

栃　木　☎(028)614−3883
〒321-0111　宇都宮市川田町字免ノ内765−5

茨城県

茨　城　☎(0298)64−4751
〒300-3261　つくば市花畑2−15−3

水　戸　☎(029)251−4125
〒311-4152　水戸市河和田3−2386−1

群馬県

群　馬　☎(0270)40−7611
〒372-0003　伊勢崎市華蔵寺町87−1

新潟県

新　潟　☎(025)285−2431
〒950-0942　新潟市小張木2−16−43

長　岡　☎(0258)46−8065
〒940-2127　長岡市新産2−9−4

上　越　☎(025)543−3535
〒942-0081　上越市五智1−11−8齊藤オフィス

関東・甲信越地区

東京都

城　東　☎(03)5697−8160
〒120-0005　足立区綾瀬7−22−15
綾瀬7丁目ビル

城　北　☎(03)5914−3413
〒174-0051　板橋区小豆沢(アズサワ)
1−23−10

城　西　☎(03)5347−0761
〒167-0032　杉並区天沼3丁目12番12号
テック杉並

武蔵野　☎(042)364−7721
〒183-0033　府中市分梅町5−9−1

相模原　☎(042)788−2760
〒194-0012　町田市金森851−3

神奈川県

戸　塚　☎(045)827−2831
〒224-0806　横浜市戸塚区上品濃9−14

京　浜　☎(044)740−3530
〒211-0041　川崎市中原区下小田中
5−11−21

平　塚　☎(0463)55−3926
〒254-0014　平塚市四之宮3−20−60

千葉県

千　葉　☎(043)208−3800
〒260-0842　千葉市中央区南町3−7−15

鎌ケ谷　☎(047)441−0111
〒273-0105　鎌ケ谷市鎌ケ谷7−6−59

山梨県

山　梨　☎(055)226−2561
〒400-0035　甲府市飯田4−8−23

中部・北陸地区

愛知県

名古屋　☎(052)979−3455
〒461-0025　名古屋市東区徳川1−901
サンエース徳川ビル1F

中部・北陸地区

名古屋西　☎(052)485−3620
〒453-0816　名古屋市中村区京田町2−1

岡　崎　☎(0564)23−3418
〒444-0860　岡崎市明大寺本町1−20

岐阜県

岐　阜　☎(058)246−3417
〒501-6006　岐阜県羽島郡岐南町伏屋
1−35

静岡県

静　岡　☎(054)236-0691
〒422-8034　静岡市駿河区高松2丁目
26−10

沼　津　☎(055)935−0501
〒410-0822　沼津市下香貫七面1152−2

浜　松　☎(053)461−8685
〒430-0812　浜松市本郷町123

長野県

松　本　☎(0263)40−3411
〒390-0852　松本市島立1064−1

長　野　☎(026)299−9501
〒388-8006　長野市篠ノ井御幣川字東松島
1000−2

石川県

金　沢　☎(076)292−2060
〒921-8005　金沢市間明町2−100

富山県

富　山　☎(076)422−7020
〒939-8211　富山市二口町1−13−8

福井県

福　井　☎(0776)53−7134
〒910-0834　福井市丸山1−1002

三重県

三　重　☎(059)236− 5195
〒514-0111　津市一身田平野285−2

お客さまご相談窓口（つづき）

近　畿　地　区

大阪府

大　阪　☎(06)6992－6235
〒570-0086　守口市竹町4－13

大阪南　☎(06)6761－4600
〒543-0001　大阪市天王寺区上本町5－1－14　三洋ビル2F

大阪東　☎(072)965－1811
〒578-0903　東大阪市今米2－3－29

阪　和　☎(072)221－8571
〒590-0026　堺市向陵西町2－1－24

京都府

京　都　☎(075)645－1434
〒612-8427　京都市伏見区竹田真幡木町26－1

三　丹　☎(0773)24－3405
〒620-0062　福知山市和久市町290番地　和久市岩堀ビル2F

奈良県

奈　良　☎(0744)22－7888
〒634-0817　橿原市寺田町113－1

滋賀県

滋　賀　☎(077)514－2221
〒524-0021　守山市吉身4丁目1－24　南井産業第3ビルB棟

和歌山県

和歌山　☎(073)473－7112
〒640-8301　和歌山市岩橋1636－1

田　辺　☎(0739)22－7520
〒646-0051　田辺市稲成町南江原318

兵庫県

神　戸　☎(078)641－1251
〒653-0038　神戸市長田区若松町2－1－9　ピアザビル3Ｆ

阪　神　☎(06)6432－3401
〒661-0026　尼崎市水堂町4－17－6

姫　路　☎(0792)82－7892
〒670-0943　姫路市市之郷町1－9

淡　路　☎(0799)42-6015
〒656-0478　南あわじ市市福永536－1

中　国　地　区

広島県

広　島　☎(082)293－6511
〒733-0012　広島市西区中広町2－1－2

福　山　☎(084)954－4101
〒721-0952　福山市曙町4－22－10

岡山県

岡　山　☎(086)245－1634
〒700-0973　岡山市下中野703－101

津　山　☎(0868)22－6133
〒708-0002　津山市上河原239－10

鳥取県

鳥　取　☎(0857)24－2930
〒680-0843　鳥取市南吉方3－107

島根県

浜　田　☎(0855)22－7883
〒697-0023　浜田市長沢町3049

松　江　☎(0852)23－1183
〒690-0044　松江市浜乃木2－15－3

山口県

山　口　☎(083)973－3391
〒754-0024　山口市小郡若草町2－6

四　国　地　区

愛媛県

愛　媛　☎(089)979－3486
〒799-2655　松山市馬木町274番地

四　国　☎(0896)23－3416
〒799-0404　四国中央市三島宮川2丁目732－4

香川県

香　川　☎(087)843－1840
〒761-0101　高松市春日町片田1657－1

高知県

高　知　☎(088)831－2570
〒780-8007　高知市仲田町6－12

徳島県

徳　島　☎(088)699－4131
〒771-0219　徳島県板野郡松茂町笹木野字八北開拓189－1

九　州　地　区	九　州　地　区
福岡県 **福　岡　☎(092)928−3414** 〒818-8534　筑紫野市紫6−1−1 **北九州　☎(093)521−5286** 〒802-0004　北九州市小倉北区鍛冶町2−4−7 **中九州　☎(0942)37−3934** 〒830-0038　久留米市西町105−18 **長崎県** **長　崎　☎(095)813−3545** 〒851-0101　長崎市古賀町1006−5 **佐世保　☎(0956)31−7635** 〒857-1162　佐世保市卸本町17−1 **熊本県** **熊　本　☎(096)388−3434** 〒861-8045　熊本市小山3丁目2番11号 熊本トラックターミナル内 **八　代　☎(0965)35−3483** 〒866-0871　八代市田中東町12−7 **大分県** **大　分　☎(097)543−3454** 〒870-0829　大分市椎迫5−6組	**宮崎県** **宮　崎　☎(0985)29−3441** 〒880-0022　宮崎市大橋3−224 **鹿児島県** **鹿児島　☎(099)251−4615** 〒890-0068　鹿児島市東郡元町11−10

沖　縄　地　区
沖縄県 **沖　縄　☎(098)944−5018** 〒903-0103　沖縄県中頭郡西原町小那覇1303 沖縄三洋販売(株)サービス部

☆住所・電話番号は、ご通知なしに変更することがありますので、ご了承ください。

アフターサービスについて

■この商品は保証書を別途添付しております。
保証書は販売店でお渡しいたしますから、所定事項の記入および記載内容を確認いただき、大切に保管してください。

保証期間はお買い上げ日から１年間です

- 保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。その他の詳細は保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により、有料修理いたします。
- 当社は、このカメラの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後、8年保有しています。
- なお保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ販売店へお申し出ください。転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、もよりの「お客さまご相談窓口[P205]」にお問い合わせください。

修理を依頼される時は…

下記の事項をお買い上げ販売店に、ご連絡ください。

1. 故障の状況(できるだけくわしく)
2. 品番(DMX-CA6)
3. 製造番号(保証書に記入)
4. お買い上げ年月日(保証書に記入)
5. おなまえ、おところ、電話番号

総合相談窓口　受付時間：9：00〜18：30(365日)

修理のご依頼やご相談は、まずはお買い上げ販売店へお申し出ください。
家電製品についての全般的なご相談は下記にお問い合わせください。

☎ 050−3116−3434

※上記番号をご利用できない場合は **☎大阪(06)−6994−9570** におかけください。

※郵便またはFAXでご相談される場合

三洋電機(株)お客さまセンター

〒570-8677　大阪府守口市京阪本通2−5−5
FAX：大阪(06)6994−9510

修理や部品に関するご相談は、お買い上げ販売店、または三洋コンシューママーケティング(株)の「修理相談窓口 [P205]」にお問い合わせください。

この商品に関するご相談は下記にお問い合わせください。

受付時間：月曜日〜金曜日（祝日および当社の休日を除く）

9:00〜12:00、13:30〜17:00

DIカンパニー　**お客さま相談係**

電話　大東（072）870-4184（**直通**）

お客さまメモ

お買い上げの際にご記入ください。お問い合わせなどの時に便利です。

品　　番	DMX-CA6
お買い上げ年月日	年　　月　　日
お買い上げ販売店	電話（　　）　―
もよりのお客さまご相談窓口	電話（　　）　―

以下の項目をご確認のうえ、お問い合わせください。

お客さまチェックシート		
カードの種類	容量：	
	メーカー名：	
	お買い上げ年月日：　年　月　日	
パソコンのOS	□Windows 2000 □Windows Me □Windows XP	□Mac OS 9.x □Mac OS X以降

撮影のヒント

難しく思える被写体でも、少し工夫をすると、より上手に撮影できます。

基本的な撮影

■オートフォーカスなのにピントが合わないのはなぜ？

このカメラはオートフォーカス機能を搭載しており、オートフォーカスを使った撮影では、カメラがピントを自動的に合わせます。しかし、それでもピントが合わないのはなぜでしょうか？

●オートフォーカスの動作

このカメラのオートフォーカスは、静止画撮影ボタンを半分押した時点で動作します。
オートフォーカスが働いてピントが合うと、モニターにターゲットマークが出ます。
そして、そのまま静かにシャッターボタンを押し込むとシャッターが切れます。
このようにして撮影をすると、ピントが合います。

●ピントが合わない原因

1：静止画撮影ボタンを一気に押した

2：ピントを合わせた後に、被写体が動いた

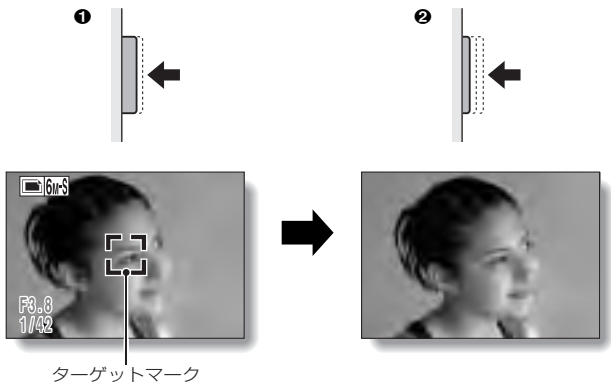
- 一度オートフォーカスでピントを合わせても、被写体や撮影者が動いて撮影距離が変わると、ピントが合わない場合があります。

3：フォーカスの設定が、撮影距離に合っていない

- スーパーマクロモード[P74]で遠景を撮影したり、通常モードで至近距離の被写体を撮影するとオートフォーカスが働かないので、ピントが合いません。

●ピントをしっかり合わせるには

①フォーカスの設定が正しいことを確認してください。
②カメラを正しく構えて静止画撮影ボタンを半分押してください。
③モニターにターゲットマークが出るのを待ち、ひと呼吸おいて静止画撮影ボタンを静かに押し込んでください。

このように、落ち着いて静止画撮影ボタンを操作すると、ピントが合った美しい写真を撮影することができます。

撮影のヒント(つづき)

■動きのある被写体の撮影は？

運動中のお子さまやペットなどの写真は、オートフォーカスでピントを合わせても被写体までの距離が刻々と変わるため、ピンボケになる可能性があります。特に、カメラに対して前後に動く被写体には、なかなかピントが合いません｡動きのある被写体に、うまくピントを合わせる方法はないのでしょうか？

●ピンボケの原因

オートフォーカスは、静止画撮影ボタンを半分押した時点の距離にピントを合わせるため、被写体が動くとピントがはずれてしまいます。また、オートフォーカスが動作するのを待っていては、シャッターチャンスを逃してしまう場合もあります。逆に、シャッターチャンスに静止画撮影ボタンを一気に押すとピントが合わず、やはりピンボケの原因になります。

●ピンボケを防ぐには(マニュアルフォーカスモードを活用する[P75])

このカメラのフォーカス機能には、マニュアルフォーカスモードがあります。

静止画撮影ボタンを押した時に被写体までの距離を測ってピントを合わせるオートフォーカスに対し、マニュアルフォーカスモードでは、あらかじめピントを被写体までの距離に設定しておいて撮影します。

●撮影のしかた

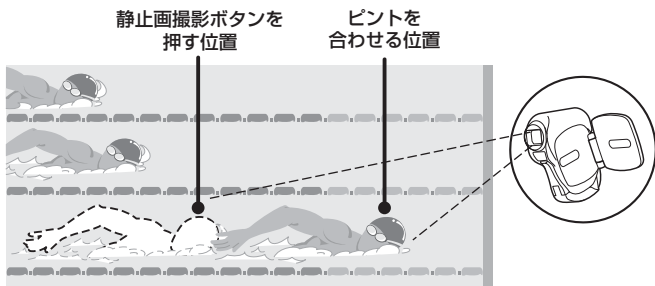
①フォーカスモードをマニュアルフォーカスに設定し、焦点距離を被写体までの距離に設定します。

②被写体が設定した焦点距離にきたら、静かに静止画撮影ボタンを押し込みます。

<マニュアルフォーカスの利点>

- ピント合わせに要する時間を省くことで、素早く撮影ができます。
- あらかじめ焦点距離を設定しているので、ピントをより正確に合わせることができます。

<マニュアルフォーカスの有効な使いかた>

- 動きが速い被写体を撮影する場合は、被写体が撮影距離に達する少し前に静止画撮影ボタンを押すと、被写体が撮影距離に達した時にシャッターを切ることができます。
- 被写体の手前にある物にピントが合ってしまうようなトラブルを防ぐことができます。

撮影のヒント（つづき）

シーンセレクト機能を使った撮影

■人物を撮影しよう（ポートレートモード ）

ポイント：

- 目立つものが背景にないように注意する
- なるべく被写体に近づく
- 人物に当たる照明に注意する

解説：

- 背景に目立つものがある場合は、人物が引き立ちません。そこで、被写体に近づいたりズームアップして、背景が目立たないように撮影すると良いでしょう。
- ポートレート撮影では人物が主役になるので、人物が引き立つように撮影します。
- 逆光では顔が暗く写るので、フラッシュを使ったり露出を補正して撮影しましょう。

■動きのあるものを撮影しよう（スポーツモード ）

ポイント：

- 被写体の動きにカメラを合わせる
- ズームはWide（広角）側に
- チャンスには、ためらわずに静止画撮影ボタンを押す

解説：

- シャッターチャンスを逃さないように、カメラを正しく構え、常に被写体をレンズに捉えておきましょう。カメラとともに自分の体を動かしながら撮影してみるのも良いでしょう。
- 手ぶれは、Wide側よりTele側の方が出やすいので、ズームはできるだけWide側にして撮影します。
- シャッターチャンスが来たら、すばやくスムーズに静止画撮影ボタンを押しましょう。

■夜景を撮影しよう（夜景ポートレートモード [icon]）

ポイント：

- 手ぶれに十分気を使う
- ISO感度を上げる

解説：

- 夜景撮影では、シャッタースピードが遅くなるため、手ぶれが起きる可能性が高くなります。カメラを固定して撮影してください。
- 夜景を背景にして人物を撮影する場合は、フラッシュで人物の顔が明るくなり過ぎないよう、人物に近づき過ぎない距離で撮影してください。
- フラッシュ発光後、約2秒間は、カメラを動かしたり被写体の人物が動かないようにしてください。

■風景を撮影しよう（風景モード [icon]）

ポイント：

- 高画質で撮影する
- ズーム撮影する場合は、光学ズームを使う
- 構図に配慮する

解説：

- 広角で撮影する場合や引き伸ばして写真にする場合は、なるべく高い解像度で撮影してください。
- 遠くの風景をアップで撮影する場合は、なるべく光学ズームで撮影してください。デジタルズームを使うと、画像が荒れます。また、わきを締めてしっかりとカメラを構え、手ぶれしないように気をつけてください。カメラを固定すると良いでしょう。
- 遠近感や風景の中のポイントとなる被写体の配置など、構図に注意しましょう。